

平成18年度SV秋募集
分野別要請集
《農林水産》

COLOR CHOICE
LION FLAT FILE A4S

12-0

15262
11.7.21

平成18年度SV秋募集 分野別要請一覧
3. 農林水産

通番	指導科目	国名	頁
農林水産 : 84件			
118	穀類生産振興	ブータン	1
119	園芸教育	タイ	2
120	小豆栽培	アルゼンチン	3
121	稲作	パナマ	4
122	農業教育(首都)	パプアニューギニア	5
123	稲作(レイ)	パプアニューギニア	6
124	稲作(マダン)	パプアニューギニア	7
125	果樹	ブータン	8
126	果樹栽培	カンボジア	9
127	熱帯果樹	アルゼンチン	10
128	果樹栽培(マカダミア)	ポリビア	11
129	果樹(アンバト)	エクアドル	12
130	果樹(コトパクシ)	エクアドル	13
131	植物組織培養	スリランカ	14
132	組織培養	タイ	15
133	組織培養	パラオ	16
134	菌類(キノコ)	ブータン	17
135	キノコ栽培	ネパール	18
136	キノコ栽培	アルゼンチン	19
137	食用キノコ栽培	コスタリカ	20
138	キノコ栽培	メキシコ	21
139	植物検疫(ダニ分類)	スリランカ	22
140	病虫害	ドミニカ共和国	23
141	野菜病害	ニカラグア	24
142	病虫害防除	パナマ	25
143	病害防除	パラグアイ	26
144	土壌肥料	カンボジア	27
145	残留農薬分析	ドミニカ共和国	28
146	微生物農薬・肥料開発	メキシコ	29
147	農業機械	ドミニカ共和国	30
148	農業機械	パプアニューギニア	31
149	農機具	パプアニューギニア	32
150	プロポリス加工	アルゼンチン	33
151	飼料製造	パプアニューギニア	34

通番	指導科目	国名	頁
152	ワクチン製造	シリア	35
153	胚子生産	アルゼンチン	36
154	畜産（受精卵移植）	パナマ	37
155	畜産衛生	セントルシア	38
156	協同組合研修	ネパール	39
157	協同組合運営強化	ホンジュラス	40
158	農産物流通普及	ニカラグア	41
159	一村一品開発	ラオス	42
160	村落開発普及員	ドミニカ共和国	43
161	農産品加工	ブータン	44
162	商品開発（乾燥イチジク）	チュニジア	45
163	農産物加工（保守）	チュニジア	46
164	品質管理	ニカラグア	47
165	乳清加工	アルゼンチン	48
166	牛乳衛生管理	ニカラグア	49
167	魚油抽出技術	タイ	50
168	水産物加工	チュニジア	51
169	水産物加工	ペルー	52
170	水産物加工	フィジー	53
171	水産物加工	パプアニューギニア	54
172	森林資源活用	パナマ	55
173	木材加工	サモア	56
174	漁業技術教育	フィジー	57
175	養殖	マレーシア	58
176	海水魚養殖（貝類）	アルゼンチン	59
177	淡水養殖	コロンビア	60
178	養殖	ドミニカ共和国	61
179	養殖（タイ）	メキシコ	62
180	養殖（ニジマス）	メキシコ	63
181	養殖	フィジー	64
182	淡水養殖	パプアニューギニア	65
183	養殖	パプアニューギニア	66
184	水産資源管理	アルゼンチン	67
185	水産開発	トンガ	68
186	農業生化学分析	カンボジア	69
187	植物検疫（植物病理）	スリランカ	70
188	分子遺伝学	タイ	71
189	農業指導	タイ	72
190	養液栽培	タイ	73
191	微生物研究	タイ	74
192	プロテオミクス	チュニジア	75
193	生物資源探査	チュニジア	76

通番	指導科目	国名	頁
194	細胞分子生理学	チュニジア	77
195	植物資源超低温保存	アルゼンチン	78
196	発酵（微生物）	コスタリカ	79
197	バイオテクノロジー	コスタリカ	80
198	有機農業	パナマ	81
199	農業普及	パラグアイ	82
200	育種	パラグアイ	83
201	農業教育（ゴロカ）	パプアニューギニア	84



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV ES)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 118

記入日: 平成18年7月14日

調査者名: 臼井 太二

要請番号 (SL 004 - 06 - 1 - 01)		○ JV⇔SV振替可		記入日: 平成18年7月14日		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ブータン	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 穀類生産振興			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度 次隊	
Field Crops Research	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 農業・農村開発		プログラム名: 農業技術開発・普及		
中・小分類: 農業一般		課題: 農業技術開発・普及および人材育成				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 (現地公用語) Ministry of Agriculture (MOA)					
	2) 配属先名 (日本語) バジョー自然資源研究センター (現地公用語) RNR-RC Bajo (Renewable Natural Resource Research Center)					
	3) 配属先所在地 首都(テンブー)から 南東 方向 70 Km バジョー 主要都市(ウオンディ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農畜産業振興の調査研究組織としてRNR-RCが全国4ヶ所に設けられており、配属先はその一つである。事業内容は、①米を中心とした穀類生産振興での全国規模の調査研究を行い、農業戦略の策定と技術サポートの指針を他のRNR-RCに与える、②近隣4県の農畜産業全般の調査と農家への技術指導、の二点である。年間予算は4000万円。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 全国のRNR-RCを指導して穀類(米、トウモロコシ、麦、豆類)の生産振興策を立案し、実施を指導しているが、調査データの解析や、新品種の実験・評価といった分野での人材不足のために必ずしも十分な成果が得られていない。また、全ての穀類をカバーすることも出来ていない。これらの点から調査研究を強化するために、SVの派遣要請となった。					
	2) 期待される具体的業務内容 1) 穀類生産振興政策(計画)の立案に協力して助言する。 2) 新品種のフィールド評価の計画から実験・評価をスタッフに指導する。 3) 特に実験調査データの解析・評価を行い、スタッフにも指導する。 4) 管轄下の支所、各県担当者、農家への巡回指導・助言する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 育苗用恒温槽、マイクロ天秤等、一般実験器具					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・穀物類調査研究スタッフは6名(男3名、女3名) ・修士1名(米育成専攻)、学士1名(穀類育成専攻)、専門学校卒4名(穀類育成アシスタント)		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 現場穀類研究経験5年 理由: 調査結果の解析(特に統計)・評価のため ・ 大卒(農業分野) 理由: 振興策立案で総合的な農業技術知識が要る					
概 地 況 域	気候(温暖(冬季は寒冷)) 気温(-5~30 ℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 119

記入日: 平成17年11月23日

調査者名: 島口 秀男

要請番号 (SL 055 - 06 - 0 - 04)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
タイ	職種 食用作物・稲作 (コード 101) 指導科目 園芸教育 (現地公用語[タイ 語]) Agriculture	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	JOCV 年度 次隊
				2	SV/短期等 年度 次隊
			3	年度 次隊	19年 3月 から
大分類: 農林水産		分野: 持続的成長のための競争力強化		プログラム名: 農業生産性向上	
中・小分類: 農業一般		課題: 農業生産性向上			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ウボンラチャタニ大学農学部園芸学科 (現地公用語) Department of Horticulture, Faculty of Agriculture, Ubon Rachathani University				
	3) 配属先所在地 首都(バンコク)から 西 方向 Km ウボンラチャタニ市 主要都市(バンコク)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ウボンラチャタニ大学は1990年に設立され、農学部、工学部、教養学部、理学部、薬学部、経営学部からなる。学生数約4000人で半数はイサン(タイ東北部)出身である。園芸学科は、学生約350人、教職員42名である。園芸学科の年予算約50万円(卒論研究分)。1997-1999(JOCV食品加工)、2003/4-2006/1(JOCV日本語)が派遣。 www.ubu.ac.th 所在地: Warin Chamrap, Ubon Rachathani				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 園芸学科では、花卉栽培、観葉植物栽培、造園などを教えているが、タイでは農業分野大学の卒業生がかなり多いこと、そして園芸科講師陣や学生のレベルが相対的に低いことなどから、就職先は限られ70%程度の就職率である。このため園芸学科のレベルアップの必要性を痛感しており、カリキュラム改善、講義と卒論研究、栽培技術等の指導など、花卉園芸分野で豊かな経験のあるSVを要請してきたものである。同時に近隣の園芸農家(電照菊、マリゴールドなど)への技術指導も要請されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ① 園芸学科カリキュラムの改善についてアドバイスをする。 ② 3、4年学生に花卉栽培、観葉植物栽培等の講義(1~2時間/週)、卒論「問題研究」について指導とアドバイスをする。 ③ 園芸科農場でスタッフ、学生に花卉栽培技術(電照菊、観葉植物等)の指導とアドバイスをする。 ④ 近隣の園芸農家約60軒(電照菊、マリゴールドなど)への栽培技術等の指導を行なう。				
要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 園芸科農場の電照菊、観葉植物等の栽培施設。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ: 42名(Ph.D 7名) 指導対象者: 女性 1名 50歳代、園芸科科长、花卉栽培技術は低い。 3年、4年の学生: 57名(男16名、女41名) 農場の技師: 40歳代 男性、基本的な花卉栽培技術はある。(園芸学科卒)			6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ タイ 語 (レベル: C) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 学士 理由: 活動に必要なため ・ 実務経験10年 理由: 活動に必要なため				
概 地 況 城	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 120

記入日: 平成17年12月22日

調査者名: 中野直美

要請番号 (SL 301 - 06 - 0 - 08)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
アルゼンチン	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 小豆栽培			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
Cultivo de Porotos Adzuki	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 経済開発		プログラム名: 小規模農家支援		
中・小分類: 農業一般		課題: 地域経済の活性化				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 北部穀物生産者協会 (現地公用語) Asociacion de Productores de Granos del Norte(PROGRANO)					
	2) 配属先名 (日本語) 北部穀物生産者協会 (現地公用語) Asociacion de Productores de Granos del Norte(PROGRANO)					
	3) 配属先所在地 首都(ブエノスアイレス)から 北西 方向 1540 Km サルタ州サルタ市 主要都市(サルタ市(州都))までの交通手段及び所要時間(約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、当国最北部であるサルタ、フイ州の豆類生産者に対し、指導員を通じて栽培技術、流通等に関する普及活動を展開しており、各地に支所が設置されている。現在は110農家から会員が構成され、両州の豆類生産面積である70万haのうち、約40万haを占めている。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サルタ州は海拔1100mに位置する人口約100万人の当国北西部の州である。年間平均気温は約20度、年間降雨量は630mm。主な産業は農牧業、鉱業、観光業となっている。粗放農業の可能面積は約75万haであり、ここに菜豆類、大豆、とうもろこし、落花生などを栽培している。菜豆類栽培面積は約20万haであり、本地域での生産量は当国総生産である30万トンの80%を占め、そのうち90%は輸出されている。特にインゲン豆、黒豆、赤豆等が生産されており、豆類生産種の多様化を目指し、かつ国際的に注目されている小豆の栽培に強い関心を持っている。当国では日系人が小面積で栽培した他、栽培経験がほとんどない作物であるため、技術者もノウハウも存在しない状況にある。配属先では試験栽培を開始したが、風土に適した品種、農法、土壌・気候などの条件についてほとんど知識がないため、本要請があげられた。					
	2) 期待される具体的業務内容 - 各地域の土壌・気候に適した小豆の品種選別 - 栽培に関わる技術指導(播種、栽培管理、収穫及び乾燥)					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験栽培に要する農機具類等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 指導員		6) 業務で使用する言語 ● 英 又は 語 (レベル:A) ● 西 語 (レベル:B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(農学) 理由: ・ 小豆栽培経験 理由: 小豆栽培全般にわたる指導が求められているため					
概況	気候(温暖) 気温(5~35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 121

記入日: 平成17年12月23日

調査者名: 定免 調整員

要請番号 (SL 361 - 06 - 0 - 07)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
パナマ	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	
	指導科目 稲作			派遣希望時期
	(現地公用語[西 語]) Agrometeorologia			JOCV SV/短期等 1 年度 次隊 2 年度 次隊 3 年度 次隊 19年 3月 から
大分類: 農林水産	分野: 経済社会の持続的成長		プログラム名: 経済振興及び経済基盤整備	
中・小分類: 農業一般	課題: 地域間経済格差の是正、対外競争			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧研究所 (現地公用語) Instituto de Investigacion Agropecuaria de Panama (IDIAP)
	2) 配属先名 (日本語) 農牧研究所ペノノメ実験所 (現地公用語) IDIAP, Sub-centro de Penonome
	3) 配属先所在地 首都(パナマ市)から 南西 方向 150 Km ペノノメ市 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧研究所は国内の小規模農家の生産量増加を目指して、これに係る調査・研究および生産者への指導を行う農牧省下部機関である。ペノノメ実験所では当地の主要産業である稲作(水稲、陸稲)栽培に係る栽培研究・技術指導を主としながら、農家の単一栽培による弊害対策の改善を目指した調査・研究が進めている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ペノノメ地区では稲作が主要農産物であり、長年にわたり栽培技術の改善と普及を行ってきた。1990年代には協力隊員による稲作指導も行われており、同地域では水稲栽培の技術も一部定着している。ところが近年の気候の変化、および外国からの病害虫(現時点でホコリダニが確認)の進入により収穫減が発生しており、地域農民に大きな打撃となっている。同研究所ではこれまでの経験では適切な対応が難しいこと。特に小規模農家では対策に係る経費負担が困難となっているため、当地の気候を最大限に利用した栽培技術を模索しているが、専門知識を持った人材が存在しないため本要請があげられた。	
	2) 期待される具体的業務内容 当地の主要産業である稲作のほか、当地の気候を利用した新規の農産物生産を視野に入れた以下の農業指導が望まれている。なお、ペノノメ地区はパナマ国内では最も雨量の少ない(年間900ml程度)、熱帯半乾燥地区に分類される。 ①稲作における、気候の変化と栽培サイクルの調査・栽培実施の指導 ②稲作における、病虫害の発生と栽培サイクルの調査・栽培実施における助言・指導 ③当地気候に適応する新規農作物の調査・導入	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室、執務机、顕微鏡などの簡単な検査器具	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 3名の農業技師: 男性2名女性1名(内2名は修士)、年齢は30才台後半から50才台年間数回の研修会を開き、地域プロモータに技術指導を実施	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西語 又は 語 (レベル: C) <input checked="" type="radio"/> 英語 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> 大学卒(農業系) 理由: 同僚が大卒のため 経験年数10年 理由: いずれの同僚も経験豊富である
------	---

概況	気候(熱帯) 気温(25-35 ℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 122

記入日: 平成17年12月4日

調査者名: 谷村 啓匠

要請番号 (SL 413 - 06 - 0 - 09)

JV⇔SV振替可

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
パプアニュー ギニア	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	◎新規 ○交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	年度 次隊
	指導科目 農業教育(首都) (現地公用語[英 語]) Agriculture Teacher			2	年度 次隊
				3	年度 次隊
大分類: 農林水産		分野: 農村開発		19年 3月 から	
中・小分類: 農業一般		課題: 収入の向上		プログラム名: 収入の向上	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Department of Education
	2) 配属先名 (日本語) 初等教育教員養成所 (現地公用語) PNG Education Institution
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から 東 方向 1 Km ポートモレスビー 主要都市()までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、職業訓練の教員養成の他に、幼少教育教員養成と、1994年から始まった教育制度改革に伴う初等教育教員の再教育を行っている。配属先は職業訓練の中でも家政および農業に関する職業教育を行っており、卒業生は主に日本でいう中学校卒業程度を対象にした約120ほどの各地の職業訓練センターの教員となる。職業訓練ユニットの年間予算は、約2000万円程度となっている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任国では、日本でいう中学校を卒業する生徒の数は約2割にも至らず、学年を追うごとに小中学校の就学者数は減少している。これに対し、学校や教師の量・質両面におけるご入れが、政府及び海外ドナーによって行われているものの、中退者に対する実務的な教育が十分に行われていないのが実状である。そのため、職業訓練の教育の場も量及び質の両面で問題を抱えており、学年を追うごとに増える中退者をより多く巻き込めるように、新しいアイデアや工夫を取り入れたより新鮮な教育授業が求められ、今回の要請に至った。任国では、85%もの人口が自給自足の小規模農家であることを反映し、職業訓練センターおよび小中学校では農業の授業は必須となっており、その質の向上は重要課題となっている。
	2) 期待される具体的業務内容 職業訓練ユニットの農業科では、養鶏、野菜栽培を中心に授業を行っている。しかし、授業内容はこの数十年間改編されておらず、陳腐化が懸念されている。また、米の消費の増加に伴い、稲作(陸稲、水稲)の教育も必要とされ、そのために学内の3haほどの土地の利用も勘案している。したがって、得意分野にのみ絞りを絞る、授業で新しい創意工夫を取り入れるために、同僚教師に対して以下のような支援が期待されている。なお、机上授業と実習授業の比は3対7程度である。 1) 実習授業(ワークショップ)の計画と準備、2) ワークショップおよび机上授業の実務支援(副担当として)、3) 実習授業を効果的に取り入れたカリキュラムの作成、4) 授業に関する生徒の評価、5) 機材や備品の管理方法の確立、6) 可能であれば英語による机上授業の実施(主担当として)
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プリンター、ファックス、電話、コピー、およびフォーク、鍬、ショベル、スプリンクラー、養鶏用フィーダーなど
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業科の実務授業(一般教育担当を除く)を担当する教師は2名で、大学卒ではあるが専攻は農業ではない。約40歳前後の教師で、創意工夫および体系立てた授業を苦手とする。
	6) 業務で使用する言語 ◎ 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) * JVIは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	<ul style="list-style-type: none"> 男性 理由: 任国の治安安全上のため 運転免許 理由: 通勤・生活で車両を利用するため

概 地 況 域	気候(熱帯雨林) 気温(28~34 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 123

記入日: 平成17年8月25日

調査者名: 谷村 啓匠

要請番号 (SL 413 - 05 - 0 - 01)

JV⇔SV振替可

国名	職種 / 指導科目 (コード 101)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
パプアニュー ギニア	職種 食用作物・稲作 指導科目 稲作(レイ) (現地公用語[英 語]) Rice Crop	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	年度 次隊
	2			年度 次隊	
				3	年度 次隊
大分類: 農林水産		分野: 農村開発		プログラム名: 食糧自給改善プログラム	
中・小分類: 農業一般		課題: 食糧自給改善			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Office of Higher Education, Department of Education
	2) 配属先名 (日本語) パプアニューギニア工科大学農学部 (現地公用語) Papua New Guinea University of Technology, Department of Agriculture
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から北方向 200 Km レイ 主要都市(レイ)までの交通手段及び所要時間(車で約0.4時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同大学は当国にある4国立大学のうちの1つであり、オーストラリア・ニュージーランドを除く大洋州内で唯一の4年生工科大学である。大学は1965年に設立、農学部は首都のパプアニューギニア大学の農学部が1992年に移管されたものである。13学部、学生総数約2000人、農学部の教授陣は11名、テクニシャン8名、農場スタッフ5名、農学部生は110名、院生は6名で、試験農場32haを所有する。大学予算は2,500万キナ(約8億3000万円)で、農学部予算は約52万キナ。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 米食が普及し、国内消費量は15万トン/年ほどに達しているが、そのほとんどは輸入に頼っており、米の購入は自給自足に頼っている農民の経済的負担となっている。このような状況を踏まえ、JICAでは稲作振興を開発重点課題と位置付け、米の自給率向上のため、稲作分野で様々な協力を行っている。同大学では、当国の農業の将来を担う農技術者・研究者・指導者等の人材の育成を行っているが、米は当国に導入されて間もない新しい作物であることから、稲作を指導できる教官がいない。現SVは、3年生対象の講義「1年性作物」、また4年生対象の講義「作物学・イネ」及び「種子生産技術」を行っており、イネに対する関心が高まっているが、専門の講師が育っていないことから、後任要請に至った。	
	2) 期待される具体的業務内容 大学生および院生を対象に、①稲の遺伝子・育種学基礎の講義、②稲人工交配・育種法等に係る実験指導、③院生の論文指導、と同時に、④稲および他の作物、種子、収穫後の処理等の研究、が求められている。 生物学全般の知識、中でもイネ科作物に関する知識が求められる。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農学部には実験室が3箇所あり、基本的な機材は整っている。また、院生建屋内にBiology Centerがあり、遺伝子分析に必要な基本的な機材がある。個室、電話回線、インターネット、ファックス、コピー機等の設備も整備されている。	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学部生1~4年生、および院生1~2年生を対象とする。	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 任国の治安安全上のため ・ 運転免許 理由:
------	--

概地域	気候(熱帯雨林) 気温(28~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
-----	--



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 124

記入日: 平成17年12月6日

調査者名: 谷村 啓匠

要請番号 (SL 413 - 06 - 0 - 10)

JV⇔SV振替可

国名	職種 / 指導科目 (コード 101)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
パプアニュー ギニア	職種 食用作物・稲作 指導科目 稲作(マダン) (現地公用語[英 語]) Rice Culture	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	年度 次隊
	2			年度 次隊	
	3			年度 次隊	
大分類: 農林水産 分野: 農村開発		プログラム名: 食糧自給の改善			
中・小分類: 農業一般		課題: 食糧自給の改善			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Department of Education
	2) 配属先名 (日本語) ダニップ農業工科職業訓練学校 (現地公用語) St. Benedict's Agricultural & Technical School
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から 北東 方向 350 Km マダン 主要都市(マダン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 任国では、日本でいう小学3年から高校3年までの間、修学人口が逆比例して減少し、高校を卒業する学生は3%に満たない。ドロップアウトした学生は、特殊な技術を習得するために主に職業訓練センターに再入学するが、その教師の質と量共に充足されていない状況である。配属先は全国120校余りある職業訓練センターの中の1つで、中学中退者を主な対象に、農業、自動車整備、板金、木工を教える。教師数11名、生徒数は130名ほどの規模である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任国では、電気普及率が低く、特にテレビによる新しい情報の入手は非常に困難である。加えて、本屋は任国全体で数軒程度しかなく、専門的な知識を得る方法としてはほとんど書籍が利用できない環境にある。もともと、厳格に作成されたシラバスや教育教材が整っていない中で職業訓練教育がなされており、近代的な手法や新しい技などが取り込まれないまま古い教育が継続されてきている。一方で、庶民の趣向がイモから米に代わりつつあり、さらに任地ではJICAの小規模農家のための稲作普及技術協力プロジェクトが展開され、稲作への関心が高まってきていることもあり、米を中心とした農作物栽培のための新しい手法を日本から学びたいとの意向から今回の要請に至った。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先の農業科では、野菜栽培、家畜飼育、換金作物栽培、稲作など農業一般に広く教育を行っているが、中でも稲作は比較的導入が最近で、教員自身も十分な知識と経験を持ち合わせていない。このような環境の中で、担当する教員と共にいかの活動が期待されている。 1) 稲作(陸稲・水稲いずれか)教育方法を考案 2) 考案教育方法に則り、理論・実習の両授業を実施(主に補佐役として) 3) 近隣農家などの教育を兼ねて生徒の給食向けに敷地内の農園(10ha)で米の生産を技術指導 4) 可能であれば他に野菜栽培などの技術指導を実施
資 格 条 件	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 共有コンピュータ、プリンター、ファックス、電話、コピーや、トラクター、すき、くわ、ローターなど
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業科の教員は3名で、年齢は共に30歳前後である。稲作の担当者は最も積極的で、先導的な立場におり、学校だけでなく地域社会の活性化のためにも農業をさらに普及させたいとの意向を持っている。稲作は、国内研修所での研修を受けた程度で、より技術を磨きたいという希望を持つ。
概 地 況 域	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 任国の治安安全上のため ・ 運転免許 理由: 通勤・生活で車両を利用するため

概 地 況 域	気候(熱帯雨林) 気温(28~34 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------------------	---



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 125

記入日: 平成18年2月10日

調査者名: 臼井 太二

要請番号 (SL 004 - 05 - 1 - 15)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ブータン	職種 果樹 (コード 106)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 果樹			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語]) Horticulture			2	年度 次隊	
	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産 分野:		プログラム名: 人材育成及び雇用促進				
中・小分類: 農業一般 課題:						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 (現地公用語) Ministry of Agriculture					
	2) 配属先名 (日本語) ジャカル自然資源研究センター (現地公用語) RNRRC (Renewable Natural Resource Research Center), Jacker					
	3) 配属先所在地 首都(テンブー)から 東 方向 250 Km ブータン県ジャカル 主要都市(テンブー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 8 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ジャカル・センターは1996年に設立され、温帯及び亜熱帯園芸作物(柑橘類、リンゴ、胡桃、人参、馬鈴薯、野菜類など)に関する研究を行っている。センターの任務は4県をカバーし、この地域に適した作物の試験・研究・普及を行うことにある。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)各種試験は試験場レベルのみならず農家レベルでも実施されているが、園芸開発上の阻害要因は以下の点にある。 1) 主要農作物の生産技術が未熟 2) 収穫後の管理不備 3) 園芸作物の遺伝子バンクが限定されている(品種が少ない) 今回、園芸作物、特に果樹(リンゴ、柑橘類など)に関する試験・研究・普及を強化するために、本ボランティアの派遣要請となった。					
	2) 期待される具体的業務内容 1) 園芸作物(特に果樹)の生産・管理技術に関するアドバイス 2) 上記1)に関する職員の指導・訓練 3) 収穫後管理に関するアドバイス 4) 高収量品種の導入 5) 管轄下の支所、各県担当者、農家への巡回始指導・助言					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 直接の指導対象者は研究センター職員。園芸分野専攻の学士。				6) 業務で使用する言語 ● 英語 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大学卒(農学部) 理由: スタッフへの講義で基礎知識が必要 ・ 果樹試験栽培の経験 理由: 経験に基づく生産技術の指導が必要					
概況	気候(四季/雨期(7-8)) 気温(0~30 ℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 126

記入日: 平成18年6月2日

要請番号 (SL 010 - 06 - 1 - 06)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		調査者名:		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
カンボジア	職種 果樹 (コード 106)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目 果樹栽培			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度 次隊	
Fruits Growing	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 経済・産業振興	プログラム名: 民間セクター振興支援				
中・小分類: 農業一般	課題: 民間セクター開発					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働職業訓練省 (現地公用語) Ministry of Labor and Vocational Training					
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練センター (現地公用語) Prey Kon Kla Vocational Training Center					
	3) 配属先所在地 首都(プノンペン)から 北西 方向 300 Km バタンバン 主要都市(バタンバン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1992年にSVAの支援で訓練センターとして設立された後、1997年には閉鎖・放置、2000年に教育青年スポーツ省の職業訓練センターとして再開され、2004年に労働職業訓練省に移管され現在に至っている。農業が中心の訓練コースを運営しながら、縫製・美容コースも運営している。運営資金は、PAPからの資金と、きのこ販売などの資金を運用して行っている。バタンバンは一村一品プロジェクトの対象地域に指定されているため、今後農業プロジェクトが注目されている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) バタンバン州はザボン・オレンジの産地で有名であるが、同センターは敷地内にある畑(6ha)を使用して、果樹苗木の生産、モデル果樹園の造成を行い、独立採算経営を目指している。また、熱帯果樹のマンゴー、グアバ、ランブータン、竜眼などを栽培して農家の現金収入につなげ、果物生産により農家の収入増、貧困削減へ導こうとしている。現在センターでは農家の青年男女を対象とした農業訓練コースの運営を行っており、2005年まで活動した「きのこ栽培」シニアボランティアの成果が高く評価されていて、果樹においても同様の成果を期待している。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・苗木生産(台木生産、接木、苗圃場管理) ・果樹幼木・若木・成木管理、施肥等の果樹園管理 ・熱帯果樹(マンゴー、グアバ、ランブータン、竜眼、タマリンドウ、バナナ、パパイヤなど)のモデル園造成 ・新種柑橘・ブドウ等の導入・栽培指導					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な農具、資材はある。					
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート、副センター長、40歳代、男性 他農業科教師数名			6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒(農学部) 理由: カウンタパートに指導する ・果樹栽培経験10年 理由: カウンタパートに指導する ・柑橘類栽培経験 理由: 柑橘産地のため					
概 地 況 域	気候(熱帯モンスーン)	気温(28-40 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: 通番: 127
--------	-------------------------------

記入日: 平成18年7月13日

調査者名: 山本パトリシア

要請番号 (SL 301 - 06 - 1 - 13)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
アルゼンチン	職種 果樹 (コード 106)	◎新規 ○交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 熱帯果樹			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語 [西 語])			2	年度 次隊	
Fruticultura	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 経済開発		プログラム名: 小規模農家支援		
中・小分類: 農業一般		課題: 地域経済の活性化				

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) フォルモサ州 (現地公用語) Minist. de Planif., Inversion, Gobierno de la Provincia de Formosa
	2) 配属先名 (日本語) 有用農業技術センター (現地公用語) Centro de Validacion de Tecnology, Agropecuarias
	3) 配属先所在地 首都 (ブエノスアイレス) から 北 方向 1200 Km フォルモサ州フォルモサ市(首都) 主要都市 (ミシオン・ヌカアグレ市) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 州政府は、州内各地に適した農法が確立されたことにより、フォルモサ中西部開発計画を立案した。その計画は、州内3ヶ所に農業技術確認センターを設置し、各センター所管地域の生産者を対象に良品種の導入にかかわる人材育成、試験栽培、加工と流通および普及に関連する技術指導を目的としている。予算: 900千ドル

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は2005年に設立され、現在インフラ(実験室、圃場、倉庫など)を整備中である。所管地域はフォルモサ市から北へ200kmの地域であり、バナナおよびマンゴ栽培地域に位置しているが、十分な栽培技術とポストハーベスト・包装に係る技術を有していないため生産品の競争力は低いと言わざるを得ない状況にある。本地域は亜熱帯地域であり、雨量は年間1000mmであることから、州政府は気候条件を考慮しながら新たな付加価値のある熱帯果樹(パパイヤ、パイナップル、ピワ、グアバなど)の生産地域に改革することを優先的政策として取り組んでいることから、協力が求められた。	
	2) 期待される具体的業務内容 ① 地域の立地条件に適した作物の選択に関する助言 ② 各作物による試験栽培の計画立案 ③ 各種の栽培方法、灌水法、害虫のコントロール法、収穫法等に関する技術指導 ④ ポストハーベストに関する技術指導 ⑤ マニュアル作成にかかる指導	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農機具類	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大卒2名(男性、40~50代)	6) 業務で使用する言語 ◎ 西 語 (レベル:C) ◎ 又は 英 語 (レベル:B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 熱帯果樹栽培経験10年 理由: ・
------	---

概況	気候 (亜熱帯) 気温 (5~40 ℃位) 電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
概況	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 128

記入日: 平成18年7月7日

調査者名:

要請番号(SL 310 - 06 - 1 - 13)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		調査者名:		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 果樹 (コード 106)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 果樹栽培(マカダミア)			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
Fruticultura	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野:	プログラム名: プログラム外				
中・小分類: 農業一般	課題: 日系社会支援					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農村開発・農牧・環境省 (現地公用語) Ministerio de Desarrollo rural, Agropecuario y Medio Ambiente					
	2) 配属先名 (日本語) サンファン村役場 (現地公用語) Gobierno Municipal de San Juan					
	3) 配属先所在地 首都(ラパス)から 南東 方向 560 Km サンタクルス県サンファン市 主要都市(サンタクルス)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンタクルス市近郊の農業地帯に位置する地方自治体で、日系移住地を中心に発展してきた。人口比1割の日系社会(約800人)とそれ以外の非日系社会との間には大きな経済格差が存在し、格差の是正と共存が今後の大きな課題とされている。これまで、こうした観点から非日系社会も視野に入れて協力隊の派遣(保健、教育など)等を行ってきた。年間予算約75万ドル。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サンファン市の経済を支えるサンファン農牧総合協同組合(CAISY)は、当国では数少ない経営基盤が確立された協同組合である。CAISYでは、90年代より新規戦略商品として従来の農産物に加え、マカダミア栽培に力を入れ、現在対米輸出を行うまでになっている。今後も継続して、栽培規模の拡大、品質改善に取り組む必要があるが、特殊な作物であるために専門知識、経験を有する技術指導者の存在は不可欠である。2004年～2006年にかけて、日系社会シニアボランティアの指導を受けたが、同地域の農産品として定着させるには、長期的な改善指導が必要とされ、村の経済を支えるCAISYに対する技術指導及び非組合員である非日系住民に対する然るべき技術指導者を得るべく本件要請に至った。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・サンファン農牧総合協同組合(CAISY)試験場において、スタッフに対しマカダミア栽培に関わる下記技術指導を行う。 (接木繁殖技術、母樹の選抜、優良台木選抜、急性立ち枯れ病対策、栽植地選抜法、マカダミア園造成、その他栽培技術) ・CAISY組合員農家に対するマカダミア栽培技術指導を配属先スタッフと協力して実行する。 ・非CAISY組合員農家に対するマカダミア栽培技術指導を配属先スタッフ及び市スタッフと協力して実行する。 ・日常活動はCAISY試験場で行い、定期的に村役場に対して活動状況報告を行う。非組合員への技術指導活動は市役所と協議の上、実行する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 巡回用車両、試験所及び各種検査機器					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフは全員男性、責任者およびスタッフの年齢は20代～40代 配属先スタッフ及びCAISY組合員農家はマカダミア栽培経験を有するが、非組合員農家には全く経験のない者が多い。					
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 語 (レベル:C) <input checked="" type="radio"/> 又は 英 語 (レベル:C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概 地 況 域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・マカダミア栽培指導経験 理由: 活動に不可欠 ・専門学校卒(農学系) 理由: 配属先スタッフが大卒のため					
	気候(亜熱帯)	気温(20-35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

通番: 129

記入日: 平成18年7月4日

調査者名: 仲間 和男

要請番号 (SL 331 - 06 - 1 - 19)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
エクアドル	職種 果樹 (コード 106)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目 果樹(アンバト)			1	年度 次隊	19年3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
Fruticultura	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 貧困対策	プログラム名: 農漁村開発				
中・小分類: 農業一般	課題: 地域社会開発の推進					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家工科大学学校審議会 (現地公用語) Consejo Nacional de Educacion Superior (CONESUP)
	2) 配属先名 (日本語) アンバト技術大学 (現地公用語) Universidad Tecnica de Ambato
	3) 配属先所在地 首都(キト市)から 南 方向 136 Km トウングラワ県アンバト市 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.0時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同大学は1000名の学生を有し、農学部、食品加工部、環境部、自然観光部に分かれている。 農学部には学生400名が在籍している。年間予算は214,490.64米ドル/23,594,000円となっており、外国の援助は受けていない。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地域は温帯果樹(桃、梨、林檎等)に適しており、果樹生産農家が多いが、病害虫の対応が遅れ、果樹生産に悪影響を与えている。同大学では耐病性の温帯果樹を母樹として選定し、バイオテクノロジーにより試験的に苗作り(ウイルスフリー苗の生産導入)をしたいが、母樹の選定に関する知識・経験が十分ではなく、ボランティアの助言を仰ぎたい。 ボランティアには農業一般の知識に加え、温帯果樹の受粉作業工程及び耐病性の温帯果樹(母樹)選定に協力して頂きたい。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・果樹生産農家に対する基本指導(土壌肥料、病害虫防除、剪定、受粉等)に協力する。 ・耐病性の温帯果樹調査に協力する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 同校にある農園(桃園)、農器具、教材、バイオテクノロジー試験室、その他	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 果樹専門教師25名、年齢層30~50歳代 指導対象者の技術レベル: 初心者~中級クラス(学生約400名、及コミュニティー5箇所)	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: C) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> 実務経験5年 理由: 実践的な技術指導の必要性
------	---

概地域	気候(高原乾燥) 気温(5~25 ℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
-----	--



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 130

記入日: 平成18年7月4日

調査者名: 仲間 和男

要請番号 (SL 331 - 06 - 1 - 18)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
エクアドル	職種 果樹 (コード 106)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年	1	JOCV 年度 次隊
	指導科目 果樹(コトパクシ)		<input type="radio"/> 1年	2	年度 次隊
	(現地公用語[西 語]) Fruticultura		<input type="radio"/> 2ヶ月	3	年度 次隊
				SV/短期等 19年 3月 から	
大分類: 農林水産		分野: 貧困対策		プログラム名: 農漁村開発	
中・小分類: 農業一般		課題: 地域社会開発の推進			
配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家工科大学学校審議会 (現地公用語) Consejo Nacional de Educacion Superior (CONESUP)				
	2) 配属先名 (日本語) コトパクシ技術大学 (現地公用語) Universidad Tecnica de Cotopaxi				
	3) 配属先所在地 首都(キト市)から 南 方向 89 Km コトパクシ県ラタクンガ市 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.0時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ・同大学は1000名の学生を有し、農学部、食品加工部、環境部、自然観光部に分かれている。 農学部には学生約200名が在籍している。年間予算は214,490.64米ドル/23,594,000円となっており、外国の援助は受けていない。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地域は温帯果樹(桃、梨、林檎等)に適しており、果樹生産農家が多く、同大学に通っている学生の多くは零細農家出身であり、実家で実践的な農業経験を積んでいる。同僚教師は学生やコミュニティ指導に対し、病害虫や土壌肥料等に関する知識が十分とは言えず、ボランティア要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・同僚や学生、コミュニティ農家に果樹の樹木管理(土壌肥料、病害虫対策、剪定、等)に関する技術指導に協力をする。 ・同地域の果樹園で発生している主な病害虫の調査と防除対策に協力する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 大学内にある農園(約40Ha)、農器具、教材等				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 果樹専門教師60名、年齢層30~50歳代 指導対象者の技術レベル: 初心者~中級クラス(学生: 1000名、コミュニティー: 5箇所)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: C) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験5年 理由: 実践的な技術指導の必要性				
概況	気候(高原乾燥)	気温(5~25 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 131

記入日: 平成17年7月25日

調査者名: 井坪 豊明

要請番号(SL 052 - 05- 1 - 03)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		記入日: 平成17年7月25日		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
スリランカ	職種 組織培養 (コード 107)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 植物組織培養			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度 次隊	
Plant Tissue Culture	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野:	プログラム名: 産業人材育成				
中・小分類: 農業一般	課題: 外貨獲得能力向上					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education					
	2) 配属先名 (日本語) コロンボ大学理学部植物学科 (現地公用語) University of Colombo, Faculty of Science, Department of Plant Sciences					
	3) 配属先所在地 首都(コロンボ)から 方向 0 Km コロンボ中心部 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同大学理学部植物学科には植物科学と植物バイオテクノロジーの2コースがある。また理学修士コースは植物病理学、植物組織培養学、雑草学の専攻がある。植物学科の年間予算は約150万円。分析機器、実験設備等に関して日本の援助が供与された。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同植物学科では、植物組織培養が長年研究されてきており、バナナの種苗生産など実用的面でも利用され始めている。果樹や薬用植物への応用、コンタミ率やコスト削減を目指し現在も研究が継続して実施されている。本シニア海外ボランティアには、コンタミ率の削減、果樹や薬用植物への応用的研究指導、特にウィルスフリー化技術に関する協力が求められている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・学生、院生等への組織培養技術の実験・実習を担当するとともに、カウンターパートへの技術支援を行う。 ・ウィルスフリー化技術に関する実技指導及び講義。 ・コンタミ率削減、コスト削減等周辺問題解決へのアドバイス。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 走査電子顕微鏡、撮影装置付位相差顕微鏡、オートクレーブ、シャーレ、試験管等基本的な実験器具・設備は整備されている。					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・教授及び講師(4名、35~49歳、全員博士の学位あり) ・技官(6名、30~48歳、5~15年の経験) ・実習助手(12名、28~30歳、1~2年の経験) ・学生及び院生			6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: A) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 修士(理学、農学系) 理由: カウンターパートは博士号を持つ者も多いため。 ・ 実務、指導経験10年 理由: 応用的指導力が必要なため。					
概 況 域	気候(熱帯モンスーン)	気温(28 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 132

記入日: 平成17年6月8日

調査者名: 島口 秀男

要請番号(SL 055 - 05- 1 - 22)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		記入日: 平成17年6月8日	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
タイ	職種 組織培養 (コード 107)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input type="radio"/> 2年	1	年度 次隊
	指導科目 組織培養		<input checked="" type="radio"/> 1年	2	年度 次隊
	(現地公用語[タイ 語]) Tissue Culture		<input type="radio"/> ヶ月	3	年度 次隊
大分類: 農林水産 分野:		19年 3月 から			
中・小分類: 農業一般 課題:		プログラム名: 科学技術振興			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ラチャモンコン大学タンヤブリ (現地公用語) Rajamangala University of Technology Thanyaburi, Pathumtani Campus				
	3) 配属先所在地 首都(バンコク)から 北 方向 30 Km パツタニ市パホンヨーティン通り8 主要都市(バンコク)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.6時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ラチャモンコン大学タンヤブリ、パツタニキャンパスは、学生数約1,400人、教職員約197人、8学科からなる農業分野に重点をおいた小規模校である。予算(業務): 30百万円、韓国ボランティア(獣医、作物、食品加工など5名赴任予定) www.pathum.rit.ac.th、http://www.rit.ac.th/(Regional Campuses)				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ラチャモンコン大学タンヤブリ、パツタニキャンパス植物科学学科(学生数140人)では、作物生産と病害管理技術の修士課程(定員約5名)を開設する予定である。特に組織培養技術は、①病害感染を防ぐために有効、②小面積で効率的生産が可能なる技術であることから農業の生産性向上には欠かせない。組織培養の履修を希望する学生は多いが(約30名)、担当教員は僅か2名であり(担当教員1名、助手1名)技術内容も充実していない。技術レベルの向上には、組織培養技術の基礎から応用までを指導できる豊富な経験のある人材が必要であるため、SVを要請してきたものである。				
	2) 期待される具体的業務内容 ①組織培養にかかる技術レベル向上(培地研究開発など)のための支援 ②学生の組織培養研究へのアドバイス ③組織培養技術による商業生産可能な植物の開発支援				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Balances, pHmeter, Autoclave, Hot air oven, Transferred Hood, Shaker, Shelves, Stirring heating plate, Gas stove, Microwaves, Micropipet, Refrigerator				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ5名: 20~40歳代 同僚1名: 女性、20歳代、 指導対象者の技術レベル: 修士、園芸、組織培養の経験は浅い。		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 語 (レベル: B) <input type="radio"/> タイ 語 (レベル: C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 修士(農学) 理由: 活動に必要なため ・ 実務経験10年 理由: 活動に必要なため				
概地域況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				

要請番号 (SL 436 - 05- 1 - 03)		● JV⇄SV振替可		記入日: 平成18年7月17日		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
パラオ	職種 組織培養 (コード 107)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目 組織培養 (現地公用語[英 語])			1	年度 次隊	19年 3月 から
	Tissue Culture			2	年度 次隊	
	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 産業振興	プログラム名: 小規模産業振興				
中・小分類: 農業一般	課題: 小規模企業の起業振興					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) パラオコミュニティカレッジ (現地公用語) Palau Community College (PCC)					
	2) 配属先名 (日本語) 研究技術普及所 (現地公用語) Cooperative Research and Extension (CRE)					
	3) 配属先所在地 首都(コロール)から 北 方向 30 Km アルモノグイ州 主要都市(コロール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.8 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) パラオ・コミュニティ・カレッジ(PCC)は2年制の短期大学で、パラオ唯一の最高教育機関。研究・技術普及所(CRE)はPCCの1部門であり農業、環境、食物、人間科学における研究を行い、技術を普及させることを目的としている。 CREの年間予算は40万ドルであり、内3/4は米国の資金援助で賄われている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任シニア海外ボランティア(SV)は、タロイモ、ノニ、ラン等の組織培養を同僚と実践し、組織培養技術の向上を図ってきた。現在、PCC-CREではタロイモを原料とした加工農産品(タロイモ焼酎等)の開発・研究も行っており、原材料となるでんぷん含有量の高いタロイモの組織培養実験の継続が求められている。この組織培養の研究・技術普及を続行するためにSVの要請になった。					
	2) 期待される具体的業務内容 下記業務をとおして同僚への技術協力を行う。 1. 高品質(でんぷん含量の高い)のタロイモ系統の選抜と組織培養による増殖 2. 上記タロイモの安定供給をとおして、パラオ商品開発委員会の「タロイモ焼酎商品化プロジェクト」を支援する 3. ラン類等パラオにとって経済価値のある植物の組織培養					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 電子天秤、PHメーター、マグネチックスターラー、電子レンジ、乾熱滅菌器、オートクレーブ、冷蔵庫、インキュベーター、クリーンベンチ、植物培養棚、純水製造機。					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 1. 男性、32歳、短期大学卒		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 根菜類での実務経験 理由: 即戦力が求められている ・ 大学卒 理由:					
概 況 域	気候(海洋性熱帯気候)	気温(23~30 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 134

記入日: 平成18年2月10日

調査者名: 臼井 太二

要請番号 (SL 004 - 05- 1 - 16)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ブータン	職種 きのこ (コード 112)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目 菌類(キノ)			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度 次隊	
Mushroom Culture	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野:	プログラム名: 人材育成及び雇用促進				
中・小分類: 林業・森林保全	課題:					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 (現地公用語) Ministry of Agriculture					
	2) 配属先名 (日本語) 国立茸センター (現地公用語) National Mushroom Centre (NMC)					
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km ティンブー 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国立茸センターはUNDP(国連開発計画)の援助で1985年に設立され、現在は農業省農業局傘下の政府機関である。現在、茸の種菌生産・販売、生産技術指導・普及活動、研究活動等を行っている。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブータンにおける茸生産の歴史は浅く、採集量も少ない。配属先のNMCでは全国の農民に茸の種菌販売を行っているが、研究体制が整っていないため、菌類学のシニア海外ボランティアの派遣要請となった。また、ブータンでは未知の茸や有毒茸もあり、野生種の分類も期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 1) 茸生産全般に関する技術指導 2) 種菌生産に関する指導 3) ブータン国内に自生する天然茸の分類					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 指導対象者はセンターのスタッフ。			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 語(レベル: B) <input type="radio"/> 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(菌類・茸分野) 理由: スタッフへの理論的な技術指導が必要					
概地域	気候(四季/雨期(7-8))	気温(0~30 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 135

記入日: 平成17年12月20日

調査者名: 児島 盛之

要請番号 (SL 040 - 06 - 0 - 01)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期	派遣希望時期		
ネパール	職種 きのこ (コード 112)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 キノコ栽培			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度 次隊	
Mushroom Cultivation	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 農業生産及び収入増大による生活水準向上		プログラム名: 農業収入向上プログラム		
中・小分類: 林業・森林保全		課題: 農業収入の向上				

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・協同組合省 農業局 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Cooperatives, Department of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) 産業昆虫課 (現地公用語) Directorate of Industrial Entomology
	3) 配属先所在地 首都(カトマンズ)から 南 方向 隣接 Km ラトプール市 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 産業昆虫課では養蚕、養蜂、キノコ栽培の3分野に重点を置き、農業収入向上のための普及活動を行っているが、同課では人材・設備共に不足していることから、外国の支援を求めている。JICAでは養蚕分野に対して専門家等を長年派遣して技術協力を行ってきた。近年、キノコも換金作物として注目されるようになり、徐々にニーズも高まりつつあることから、2004年4月よりキノコ栽培のSVを派遣している。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ネパールにおいてはキノコ栽培の試験研究は国立農業研究所が行っており、農業局産業昆虫課は民間への栽培普及を担っているが、同課にはキノコ専任者も設備もない状態である。一方、民間レベルでは種菌の生産や普及活動、研修、栽培試験などが活発に行われていることから、同課としては民間組織や生産者と協力してキノコの栽培・普及を図ることが重要であると認識している。SVは同課担当者と活動内容・日程を検討しつつ、民間組織や生産者の現場を巡回(あるいは出向)して栽培技術の指導を行う。なお、ネパールでは稲ワラを利用したヒラタケやボタン・マッシュルームの栽培は盛んであるが、シイタケは数年前に原木栽培が始まったばかりであり、特にシイタケの栽培技術が必要とされている。	
	2) 期待される具体的業務内容 (1)シイタケの栽培指導と普及活動 (2)各種キノコの種菌生産技術の指導 (3)各種研修会の企画と実施 (4)栽培試験に対する指導と助言 (その他)主要な活動先はキノコの種菌生産や研修事業を行っている民間組織となるが、可能な範囲で関連団体(農業研究所など)や生産者との協力関係を築いて、キノコ栽培の全般的な普及に貢献することが期待される。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、オートクレーブ、クリーンベンチ、冷蔵庫、インキュベーター、ガラス器具等	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 産業昆虫課: 職員(技術者、オフィサーレベル) 民間組織: 職員(高卒~博士) 民間個人: 種菌生産者(高卒~大卒程度) 農業研究所: キノコ研究者(大卒以上) 年齢は25~50歳程度。大卒以上では栽培技術の科学的理解が可能であるが、それ以外は基礎知識はあるが経験に頼る処が大きい。	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> キノコ栽培経験5年 理由: 指導上、最低限の経験・知識が必要なため
------	--

概地域	気候(温帯) 気温(0 - 35 ℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
-----	---



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度:
通番: 136	

記入日: 平成17年12月26日

調査者名: 中野直美

要請番号 (SL 301 - 06 - 0 - 10)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
アルゼンチン	職種 きのこ (コード 112)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年	1	JOCV 年度 次隊
	指導科目 キノ栽培		<input type="radio"/> 1年	2	年度 次隊
	(現地公用語 [西 語]) Cultivo de Hongos Shiitake		<input type="radio"/> ヶ月	3	年度 次隊
				SV/短期等 19年 3月 から	
大分類: 農林水産		分野: 経済開発		プログラム名: 小規模農家支援	
中・小分類: 林業・森林保全		課題: 地域経済の活性化			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 中小企業開発振興センター (現地公用語) Centro de Promocion y Desarrollo para la Pequena y Mediana Empresa				
	2) 配属先名 (日本語) 同上 (現地公用語) Centro de Promocion y Desarrollo para la Pequena y Mediana Empresa				
	3) 配属先所在地 首都 (ブエノスアイレス) から 南西 方向 1180 Km ネウケン州ネウケン市 主要都市 (バリローチェ) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、中小企業の競争力強化、施設及び機材の更新、並びに組織化と戦略立案に関わる資金支援と技術指導を実施している。また、人材育成については企業と大学及び研究機関との連携を促進している。分野は養蜂、芳香植物・野菜・果樹栽培、みみず生産、ワイン製造及びきのこ栽培の各生産者への技術普及と支援を実施している。2005年度年間予算は約180万ドルとなっている。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国パタゴニア地域に位置するネウケン州の主要産業は、農業、特に果樹栽培、アグロインダストリー、林業となっており、これらの産業は大量の廃棄物 (特に木材) を産出している。州政府は、生産システムの多様化と未利用資源の有効利用の観点から1995年にきのこ栽培の振興計画を開始し、特にヒラタケ栽培については生産性向上に向けた基本的な技術移転ができた。しかし、生産きのこ種類の多様化を目指し、シイタケ栽培を導入したが、十分な情報及び栽培技術がないため、競争力が低い現状にある。配属先は約40の中小規模農家へ標準的な生産法をマニュアル化し、技術移転を図りたいとして、本要請があげられた。				
	2) 期待される具体的業務内容 - 適正用土の選択と殺菌法の試験 - 用土の化学的分析及び比較栽培試験 - 集約栽培に関する管理技術 (照度、温度、湿度等) ・マニュアル作成				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 細菌学的な施設及び資機材				
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル - 農学技師 男性2名、20~40歳代、大学卒 (農学系) - 土木技師 男性1名、50歳代、		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 又は 語 (レベル: B) <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ シイタケ開発・研究経験 理由: 指導法の確立が求められているため ・				
概地域	気候 (温暖) 気温 (0~30 ℃位)	電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 137

記入日: 平成18年1月30日

調査者名: 佐野 雄一

要請番号 (SL 322 - 05 - 1 - 12)

 JV⇄SV振替可

国名	職種 / 指導科目 (職種きのこ (コード 112) 指導科目 食用キノコ栽培 (現地公用語[西 語] Cultivo de Hongos Comestibles	区分 (長期のみ) ● 新規 ○ 交替 1 代目	派遣希望期間 ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
コスタリカ				1	年度 次隊
				2	年度 次隊
				3	年度 次隊
				19年 3月 から	

大分類: 農林水産

分野: 環境保全

中・小分類: 林業・森林保全

課題: 環境保全技術の向上

プログラム名: 国内産業競争力強化

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) コスタリカ大学 (現地公用語) Universidad de Costa Rica (UCR)
	2) 配属先名 (日本語) 同大学・農業調査研究所 (現地公用語) Centro de Investigaciones Agronomicas, Universidad de Costa Rica (UCR)
	3) 配属先所在地 首都(サンホセ)から 方向 Km サバニージャ・サンベドロ 主要都市(サンホセ中心街)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) コスタリカ大学は、各種の科学、農学、人類学、社会学などに係る教育、調査研究、啓発普及などの全国的活動を行っている。同大学内にある農業調査研究所は、各種農業分野に関するバイオテクノロジー、天然資源、有用生物、土壌、栽培技術、農産物栄養価、ポストハーベスト管理などの分析・検査・調査・研究を行っており、その成果や活動プロセスを大学の教育活動、学生の実習、社会での啓発普及活動に反映・適用させている。同配属先の年間予算は約US\$702,300で、職員数は46名である。外国の援助機関としては、過去、栽培遺伝学、ポストハーベスト、農業に係る微生物、有機資材分野において、国際原子エネルギー機構、EU、IDB、オランダ、メキシコ、スペイン、カナダなどから技術・資金協力を受けたことがある。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) コスタリカ大学農業調査研究所において、現在、有機資材の開発・活用を通じたキノコ栽培が主な調査研究内容の一つになっている。今まで、コスタリカの商業レベルにおいて、国外から輸入された食用キノコ(マッシュルーム、オスター等)の流通が行われてきているが、国内における独自の調査・研究を通じ、食用キノコに係る適性品種の特定、資材開発、種菌の生産、栽培技術の開発・普及が課題となっている。特に、地方女性農民を対象とした生産技術・生活水準の向上、有機資材を活用した栽培が、大学農学部の一教育テーマとなっている。また、キノコは、環境に優しくマッチした有機栽培に適し、栄養作物、薬用作物(抗癌作用)として注目されている。このような状況の下、日本のキノコ栽培に係る技術と経験が勸業され、主に、農業調査研究所の検査室におけるキノコ栽培の調査・研究に係る技術協力が要請されている。
------	---

要請概要	2) 期待される具体的業務内容 食用キノコ栽培に関し、主にコスタリカ大学・農業調査研究所の検査室において、配属先スタッフ及び学生と共に、 ①コスタリカの条件に合う食用キノコ適性品種の調査・検討(しいたけ、ナメコ、マッシュルーム、オスター、Pleurotus ssp, Lentinus, Flamulina, Agaricus, Ganoderma, Volvariela等)。 ②キノコの種菌生産、栽培、ポストハーベスト、加工、品質管理、有機資材に係る調査・研究・指導、技術開発・普及の促進。 ③キノコ栽培技術マニュアルの作成。 ④キノコ栽培技術の啓発普及に係る支援、 などを行う。
------	---

要請概要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 スペクトロフォトメーター、計量器、オートクレーブ、トランスファーチャンパー、冷蔵庫、試薬、等
------	---

要請概要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚 女性1名/農学部卒・栽培修士号を有し高い技術レベルを持っている。 学生 卒業学年にあり農学一般、食用キノコに係る知識を有す。	6) 業務で使用する言語 ● 西 または 語 (レベル: B) ● 英 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
------	--	---

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(農学) . 理由: 大学の研究室のレベルが高いため ・ きのこ栽培経験5年 . 理由: 大学の研究室のレベルが高いため
------	---

概地域	気候(亜熱帯気候) 気温(18~30℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 138

記入日: 平成17年12月26日

調査者名: 長谷川 辰雄

要請番号 (SL 355 - 06 - 0 - 15)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		記入日: 平成17年12月26日		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
メキシコ	職種 きのこ (コード 112)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		SV/短期等
	指導科目 キノコ栽培			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語]) Hongos Comestibles			2	年度 次隊	
	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 人間の安全保障の向上と貧困削減		プログラム名: 貧困集落の総合的な開発		
中・小分類: 林業・森林保全		課題: 農村地域社会支援				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) チアパス州科学技術高校協会 (現地公用語) Colegio de Estudios Cientificos y Tecnologicos del Estado de Chiapas(CECYTECH)					
	2) 配属先名 (日本語) 同上 (現地公用語) Colegio de Estudios Cientificos y Tecnologicos del Estado de Chiapas(CECYTECH)					
	3) 配属先所在地 首都(メキシコシティ)から 南東 方向 1000 Km トクストラ・グッティエレス市 主要都市(メキシコシティ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約1.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同州の先住民族支援の一環として先住民子弟の就業機会拡大と貧困撲滅をねらいとして活動している中高等教育機関。一般科目(国語、数学、理科)の他に「キノコ栽培」「有機肥料」「コンピュータープログラム操作」等の職業訓練を通し人材育成を実施している。州内に32校、約3万人の生徒を抱えている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 先住民比率の高い同州は、アメリカ市場から最も遠い南部に位置するなどの地理的要因等により産業開発が立ち遅れており州別のGDPが最下位に位置する最貧州である。そうした中で州政府は、マージナル指数の高い先住民族支援の一環として、中高等教育における職業訓練を充実させるべく1999年に本協会を設立した。これまで州立大学等の協力を得て「キノコ栽培」技術の導入を図ってきたが、今般、学内のみならず地域(父兄)への普及を拡大すべく、より高度な技術導入を目的にシニア海外ボランティア(SV)への協力要請がなされた。JICA事務所としても、重点課題の一つである「貧富格差の是正、貧困撲滅」の対象重点地域と位置づけており、積極的に協力を推進していく予定である。					
	2) 期待される具体的業務内容 州都近郊のモデル工業高校にて、下記のような活動を行う。 業務内容 ①マイタケを主とした菌床栽培技術支援(とうもろこしの芯を利用した培地の殺菌、菌摂取法等、栽培全般にわたる技術)。 ②学内における子弟のみならず、地域村落の父兄レベルでの適正技術開発(より経済的で効率的な栽培技術の模索)。 ③モデル校にとどまらず、同プロジェクトを推進している関連校への巡回をとおした普及。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 主な対象者は、高校生及びその父兄、高校教官。 学生及び父兄は基本的に初心者。 教官は経験約5年の男性。			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 語 (レベル: C) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験5年 理由: 商業ベースでの栽培技術指導が求められる					
概 況 地 域	気候(熱帯) 気温(10~40 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 139

記入日: 平成17年7月25日

調査者名: 井坪 豊明

要請番号 (SL 052 - 05 - 1 - 05)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可					
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期			
スリランカ	職種 病虫害 (コード 115)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV			
	指導科目 植物検疫(ダニ分類)			1	年度	次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度	次隊	
Plant Quarantine (Mites Taxonomy)	3	年度	次隊				
大分類: 農林水産		分野:		プログラム名: 農林水産			
中・小分類: 農業一般		課題: 貧困対策支援					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・土地・灌漑省 (現地公用語) Ministry of Agriculture, Livestock, Land and Irrigation
	2) 配属先名 (日本語) 国立植物検疫所 (現地公用語) National Plant Quarantine Service
	3) 配属先所在地 首都(コロンボ)から 北 方向 30 Km ガンパハ県カトゥナヤケ 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 種苗の輸入時における病虫害の侵入を未然に予防するとともに、輸出される農産物の病理検定、害虫検定、消毒処理等を適切に実施し、証明書を発行することが主要業務である。年間予算は約500万円。1994～1999年までJICAの技術協力プロジェクトが実施され、長期専門家6名、短期専門家24名が派遣され、効率的に援助が行われた。現在はUSAIDによる援助が行われている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国において農業は基幹産業であり、中でもEU諸国や日本等への観葉植物の輸出は大きな割合を占めている。輸出に際し、ウイルス、細菌、菌類等の病理検定や線虫、昆虫、ダニ類等の害虫検疫とその証明が必要となるが、現状ではダニ類に関する専門知識を持った職員がおらず、観葉植物の検疫に支障をきたしている。そこで植物検疫、特にダニ類の分類同定が可能な本シニア海外ボランティアによる支援が求められている。
	2) 期待される具体的業務内容 ・植物検疫、特に観葉植物の輸出時検疫において、ダニ類の分類・同定を行う。 ・現地職員に対し、ダニ類の分類・同定技術を指導する。 ・ダニ類の防除に関する助言を行う。

資格条件	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実体顕微鏡、システム生物顕微鏡など必要な設備・機材は揃っている。
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・リサーチアシスタント(1名、男性、40歳、経験10年以上) ・インストラクター(2名、女性、35歳前後、経験5年以上)
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒(理学、農学) 理由: 専門知識を必要とするため ・実務経験10年 理由: 現場に応じた技術指導が必要なため
------	--

概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(28 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----	--



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 140

記入日: 平成17年7月10日

調査者名: 池田 昭調整員

要請番号 (SL 328 - 05 - 1 - 29)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可					
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期			
ドミニカ共和国	職種 病虫害 (コード 115)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV			
	指導科目 病虫害			1	年度	次隊	19年3月から
	(現地公用語 [西 語])			2	年度	次隊	
Control de Enfermedades y Plagas	3	年度	次隊				
大分類: 農林水産	分野:	プログラム名: 地方農村貧困撲滅					
中・小分類: 農業一般	課題:						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ドミニカ農牧林研究庁 (現地公用語) Instituto Dominicano de Investigaciones Agropecuarias y Forestales (IDIAF)						
	2) 配属先名 (日本語) パニ果樹試験場 (現地公用語) Estacion Experimental de Frutales						
	3) 配属先所在地 首都 (サントドミンゴ) から 南西 方向 65 Km パニ市 主要都市 (サントドミンゴ) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 1 時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) IDIAFは、1985年農務省の一機関として設立され、農産物・畜産・林業に関する調査・研究を目的とする。主たる業務は、新しい農業技術の導入、開発及び普及、生産農家への技術研修などである。サントドミンゴ本部の下に、北部事務所、南部事務所、中央畜産センターがあり、各事務所の管理下に各産物ごとの試験場がはいちされておられ、パニ果樹試験場は南部事務所に属する。人員は、作業員を含め約30名、年間経費は6万5000ドル(2004実績)程度。						
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1990年代半ばより本配属先機関は、熱帯果樹の分野で日本の専門家によるミニプロジェクトによる技術協力を受けた。2001年4月には初代SVが派遣され、熱帯果樹遺伝子バンクを開設。現在2代目のSVが、果樹の生育管理指導を中心に活動している。米国及び中米諸国との自由貿易協定 (CAFTA-RD) の批准を間近に控え、IDIAFでは、マンゴ等熱帯果樹の輸出を重要課題と位置づけている。したがって、検疫にたいする対策技術の導入が喫緊の課題として浮上し、今回「病虫害」の要請に至った。						
	2) 期待される具体的業務内容 (1) 害虫毎に技術的な駆除方法を確定し、果樹栽培計画を策定する。 (2) 果樹栽培における害虫情報の提供を行う。 (3) 害虫防除を取り入れた生産活動に関連する各種技術支援を行う。						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 トラクター、バイク、噴霧器、刈払い機						
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 果樹研究の責任者 大学院卒 (修士) 女性 44歳 研究者 5名 (PhD: 1名、修士: 3名、学士: 1名) ラボの技師 (tecnicos) 2名		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン又は 語 (レベル: B) <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 大卒 理由: 配属先スタッフの学歴・職歴に配慮 ・ ミバエ類の防除知識 理由: マンゴの輸出が重要課題であり不可欠 ・ 経験10年 理由: 栽培全般を見渡せる知識・経験が求められる						
概地域	気候 (亜熱帯海洋性) 気温 (18 ~ 33 ℃位)	電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)						



平成 18 年度 秋 募集 ボランティア 要望 調査 票

長期 (JOCV 日青 SV 日 S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 141

記入日: 平成 18 年 7 月 11 日

調査者名: 近藤 恵美

要請番号 (SL 358 - 06 - 1 - 19)

JV⇄SV振替可

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
				JOCV	SV/短期等	
ニカラグア	職種 病虫害 (コード 115)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	年度 次隊	19 年 3 月 から
	指導科目 野菜病害			2	年度 次隊	
	(現地公用語 [西 語]) Control de Enfermedades y Plagas			3	年度 次隊	
大分類: 農林水産		分野: 農業・農村開発		プログラム名: 持続的農牧水産業生産技術支援		
中・小分類: 農業一般		課題: 農畜産物の生産性向上				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 (現地公用語) Ministerio de Relaciones Exteriores
	2) 配属先名 (日本語) 国立自治大学 レオン校 農環境科 (現地公用語) Universidad Nacional Autonoma de Nicaragua de Leon
	3) 配属先所在地 首都 (マナグア) から 北西 方向 90 Km レオン県レオン市 主要都市 (マナグア) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含む JICA 専門家、ボランティア) 国立自治大学の科学部農環境科は、教育・研究・技術普及を目的とし、生徒数は 245 名で予算は 8,500 米ドルである。科学部には '00-' 03 まで土壌分析・改良の技術協力専門家を始め、過去に野菜栽培・農業土木・病虫害の隊員も派遣している。その他生物防除プロジェクトでは研究室の機材などの援助もあった。その他ドイツ・スイスなどからも援助を受けている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 全体的に病虫害の分野が弱く、 1. 病片の採集から病気を突き止めるまでの研究分野の実習。 2. 病害の予防と防除の研究と指導。 3. 農家に対する研修とカビ・バクテリア・ウイルスによる農産物被害の防除などについて、学科全体で取り組んできたところであるが、特に病原を突き止めることが技術的に不足していることから、今回シニア海外ボランティア (SV) の経験に基づく知識の提供が求められた。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 研究分野では、培地の調整・病片の採集・病原菌の分離と同定の指導。 2. 病害の予防と防除の研究と指導では、実習の効果的手法及び病虫害のデータベース作成に関わるアドバイスと指導。 3. 大学として農家向けに、トマト・ピーマン・キャベツ・タマネギなどの野菜の病気の予防と対策の指導もする。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 クリーンベンチ、オートクレーブ、インキュベータ、顕微鏡 (オリンパス)
4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 農環境科全体の人員は 21 名 ・土壌専門 博士 女性 ・生物学教授 修士 9 名 (内病理学 男性 30 歳代 経験 2 年が C/P) ・その他スタッフ 学士 11 名	6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル: C) ● 又は 英 語 (レベル: B) * JV は派遣前訓練指定言語をチェック * SV は選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 60 歳以下 理由: 任地は国内でも年間を通じて暑さが厳しい。 ・ 修士 理由: 同僚が修士修了であるため
------	--

概況	気候 (亜熱帯) 気温 (25 ~ 35 ℃ 位) 電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----	---



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 142

記入日: 平成17年12月23日

調査者名: 定免 調整員

要請番号 (SL 361 - 06 - 0 - 08)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種 / 指導科目		区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
	職種 病虫害 (コード 115)	指導科目 病虫害防除 (現地公用語[西 語]) Control de Enfermedades y Plagas			<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月
大分類: 農林水産		分野: 経済社会の持続的成長		プログラム名: 経済振興及び経済基盤整備		
中・小分類: 農業一般		課題: 地域間経済格差の是正、対外競争				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧研究所 (現地公用語) Instituto de INvestigacion Agropecuaria de Panama (IDIAP)					
	2) 配属先名 (日本語) 農牧研究所ディビサ研究所 (現地公用語) IDIAP, Centro Regional de Divisa					
	3) 配属先所在地 首都(パナマ市)から 南西 方向 270 Km ディビサ 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧研究所は国内の小規模農家の生産量増加を目指して、これに係る調査・研究および生産者への指導を行う農牧省下部機関である。ディビサ研究所は農牧研究所では国内最大の研究所であり、全国からサンプルを取り寄せて、土壌、病虫害、品種改良等の研究を行うと共に、この研究結果を基にして農牧省農業普及員への技術研修等を行っている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ディビサ農牧研究所ではこれまでの、全国から集められたサンプルにより、様々な農産物の病虫害対策にかかる研究・指導を行っているが、近年の農産物輸出において化学農薬の使用規制への対応が難しくなっている。このため、同国では低農薬による病虫害対策が重要視され同研究所でもこの対応が急務となっているが、豊富な経験と知識を持ち合わせた人材が不足していることより今回の要請があげられた。					
	2) 期待される具体的業務内容 輸出農産物であるパイナップル、メロン等が主対象であるが、その他国内生産・消費される様々な野菜類も対象として以下の業務が期待されている。 ①化学薬品に頼らない病虫害対策の研究・普及にかかる助言。指導。 ②他センターも含めた病虫害対策の指導: 対象者は農牧省普及員など					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室、執務机、基本的な検査器具					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ディビサ研究所には17名の技術社が勤務、大半が大卒、年齢は30才~50才 病虫害研究室には5名の職員、内2名が博士号所有(化学)				6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西語 又は 語 (レベル: C) <input checked="" type="radio"/> 英語 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大学卒(農業系) 理由: 同僚が大卒以上のため ・ 経験年数10年 理由: いずれの同僚も経験豊富である					
概地域	気候(熱帯) 気温(25-35 ℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: 通番: 143
--------	-------------------------------

記入日: 平成18年6月11日

調査者名: 松本博富

要請番号 (SL 364 - 06 - 1 - 06)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 病虫害 (コード 115)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 病害防除			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
Control de Enfermedades y Plagas	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 貧困層への社会サービス	プログラム名: 小農自立化支援				
中・小分類: 農業一般	課題: 農産物の多様化・付加価値化					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura y Ganaderia
	2) 配属先名 (日本語) 国立農業研究所 (現地公用語) Instituto Nacional de Agronomia
	3) 配属先所在地 首都 (アスンシオン) から 東 方向 45 Km カアクペ市 主要都市 (アスンシオン市) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) 同研究所では、1997年から2002年まで、JICAによって「小農野菜生産技術改善」プロジェクトが実施された。同プロジェクトでは育種、栽培、病害防除、虫害防除の各分野の実験室が整備され、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の活動と、これら栽培技術の普及が行われてきた。2005年4月から虫害防除のSVが1名派遣されていたが既に帰国済み。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイでは人口の半数近くが農村部に分布しているものの、小農対策は最も対応が遅れており、国内では30%弱にものぼる土地なし農民が存在する。これら小農の生産基盤および生産技術強化、生産物の多様化や付加価値の向上は農業セクター強化の支柱になる。当研究所ではこれら背景を踏まえ、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の開発と合わせてこれら適正技術の普及を行ってきた。プロジェクト終了後は独自に活動を継続してきたが、従来は問題になっていなかった病害の発生 (ステビアに寄生するネコナガイガラムシ他) に対応する必要が発生したところ、ボランティアの派遣が要請された。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 野菜 (トマト、ナス、メロン等) の病害の実態調査 2. 病害 (ウイルス病、細菌病) の同定 3. これら病害の防除方法の開発 4. 病害防除にかかる技術指導と普及活動	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 光学顕微鏡、クリーンベンチ、恒温器、オートクレーブ、乾熱滅菌器、冷蔵庫、実体顕微鏡	
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 植物生理研究員 (男性、30歳後半)、大学農学部卒、プロジェクトの日本人専門家のカウンターパート経験・本邦技術研修経験有り。	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: C) <input checked="" type="radio"/> 又は 英 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 病害防除の研究経験 理由: 研究指導が必要不可欠である ・
------	---

概況	気候 (亜熱帯) 気温 (5 ~ 40 ℃位) 電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

要請番号 (SL 010 - 06 - 1 - 11)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
カンボジア	職種 土壤肥料 (コード 116)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		19年 3月 から
	指導科目 土壤肥料			1	年度 次隊	
	(現地公用語 [英 語])			2	年度 次隊	
Soil and Fertilizer		3	年度 次隊			
大分類: 農林水産	分野: 農業・農村開発	プログラム名: 灌漑農業・営農改善				
中・小分類: 農業一般	課題: 農業生産の振興					
配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林水産省 (現地公用語) Ministry of Agriculture, Forestry and Fishery					
	2) 配属先名 (日本語) 王立農業大学 (現地公用語) Royal University of Agriculture					
	3) 配属先所在地 首都(プノンペン)から 南 方向 12 Km プノンペン市郊外 主要都市(プノンペン市街地)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国の農業教育機関としては最高位にあり、学長以下常勤スタッフ約100名、非常勤講師約50名が従事している。農学、農業経済、農業工学、食品加工、畜産、水産、林学、土地管理の学士8学科に加えて、2005年度に第一回修了生を送り出した6コースの修士課程がある。学生総数は、学部、大学院、週末コース、訓練課程を含めて約2,000名。JICAは短期専門家派遣の後、2001年よりシニアボランティアの派遣が開始され、現在は1名(食品微生物検査)が活動中。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 内戦により知識層の多くが失われたカンボジアでは、各分野での人材育成が急務である。前任となるシニアボランティア(土壌分析)は、主に教官を対象に農耕地土壌の調査・分析・診断技術について指導、うち数名については、土壌pH、電気伝導度、土壌硬度、全炭素、全窒素、アンモニア態窒素、有効態りん、塩基置換容量、および置換態カルシウム・マグネシウム等の測定・分析ができるようになる等、一定の成果を挙げている。一方、昨今カンボジアでは近隣国からの輸入肥料の乱用が問題となっているが、検定体制は未整備である。そのため今後は土壌に関する上記の技術の定着に加え、分析の対象を肥料にも拡大するための支援が期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 - 土壌分析技術の定着化 - 肥料等の分析にかかる環境整備、手法の指導 - 実験室整備および運用に関する助言 - 研究業務全般に対するアドバイス - 外部からの依頼分析サービス体制の確立					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 全農型土壌分析器(ZA-II)、カートリッジ純粋器(オルガノB-5型)、携帯pHメータ(東亜電波HM-20P)、携帯用ECメータ、窒素分解・蒸留装置、化学天秤、乾燥機、ガラス器具類、比色計、土壌硬度計、セミクロ窒素蒸留装置、等					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル - 大学内フンセン研究所副所長(修士、50代男性) - 教授、助手、研究生(男女20~50代) いずれも当配属先大学卒であり、英語の意思伝達は可能。化学・数学に関する基礎学力が不足する傾向がある。			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 土壌又は肥料分析実務5年 理由: 講義や実習指導に必要であるため ・					
概況	気候(熱帯モンスーン)	気温(25~40 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 18 年度 秋 募集 ボランティア 要望 調査 票

長期 (JOCV 日青 SV 日 S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 145

記入日: 平成 17 年 7 月 4 日

調査者名: 池田 昭調整員

要請番号 (SL 328 - 05 - 1 - 23)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ドミニカ共和国	職種 土壤肥料 (コード 116)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV	
	指導科目 残留農薬分析 (現地公用語 [西 語]) Análisis de Químicas Agrícolas			1	年度 次隊
大分類: 農林水産	分野:	2	年度 次隊		
中・小分類: 農業一般	課題:	3	年度 次隊		
プログラム名: 地方農村貧困撲滅					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) サントドミンゴ自治大学 (現地公用語) Universidad Autonoma de Santo Domingo				
	2) 配属先名 (日本語) 理学部 化学研究所 (現地公用語) Facultad de Ciencias, Instituto de Quimica				
	3) 配属先所在地 首都 (サントドミンゴ) から 方向 Km サントドミンゴ市 主要都市 () までの交通手段及び所要時間 (時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含む JICA 専門家、ボランティア) サントドミンゴ自治大学は、1538 年創立の新大陸で最も古く、任国で唯一の国立総合大学である。また、全国にある分校を含めると、正規登録学生数は約 12 万人を数える。化学研究室では、大学課程だけでなく、公的機関や私企業からの依頼による分析業務、各種調査やプロジェクトの企画を実施している。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サントドミンゴ自治大学では、「コンスタンサ、ハラバコア地域における農作物の残留農薬測定」プロジェクトに取り組んでいる。同 2 地域はドミニカ共和国最大の野菜生産地であるが、農薬の過度な使用、好ましくない成分を含む農薬の使用により作物の安全性や農民の健康が危惧されるとともに、環境汚染も問題となっており現 SV が要請された。 現 SV の活動状況に関しては、約 1 年かけて農薬分析に必要な装置や薬品類が揃い、分析技術の移転を始めたところであるが、1 代で完結する見込みは立たず後任を要請するに至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 (1) 分析技術の移転: 現在、スーパー等で購入した野菜を使用して指導中 (現 SV の指導で完了する可能性もある) (2) コンスタンサ及びハラバコア地域に出張し、採取した作物サンプルの残留農薬を分析し、適正な農薬使用のための検査結果を導き出す。 (3) 環境汚染防止に関する助言・提言を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ガスクロマトグラフィー (GC)、高速液体クロマトグラフィー (HPLC)、原子吸光光度計、分光光度計、赤外分光光度計、エバポレータ、パソコンなど				
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 所長 50 歳代 男性 大学院卒 京都大学 理学部留学 (文部省) 経験あり 研究主任 60 歳代 男性 大学卒 (理学部) 技術者 30 歳代 男性 大学卒 (理学部)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: C) <input type="radio"/> 語 (レベル:) * JVI は派遣前訓練指定言語をチェック * SV は選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 大卒 理由: 配属先スタッフの学歴から出来れば大学院卒 ・ 経験 10 年 理由: 劇薬・毒薬類の取扱を指導する立場である				
概況	気候 (亜熱帯海洋性) 気温 (18 ~ 33 ℃位) 電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 146

記入日: 平成18年1月27日

調査者名: 長谷川 辰雄

要請番号(SL 355 - 05 - 1 - 06)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
メキシコ	職種 土壤肥料 (コード 116)	● 新規 ○ 交替 初代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 微生物農薬・肥料開発			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
Biopesticida y Abono Organico	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 産業開発と地域振興	プログラム名: 農水産業の生産性向上支援				
中・小分類: 農業一般	課題: 農水産業の生産性向上支援					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ベラクルス州立大学 (現地公用語) Universidad de Veracruz					
	2) 配属先名 (日本語) 高等科学技術研究所 (現地公用語) Laboratorio de Alta Tecnologia de Orizaba (LATO)					
	3) 配属先所在地 首都(メキシコシティ)から 東 方向 350 Km ベラクルス州オリサバ市 主要都市(メキシコシティ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当研究所は、州の主要産業である農業分野の振興のため、大学/州政府/民間が連携して、微生物の培養による有機農薬の研究、土壌の分析、食品の分析、植物の試験管培養、DNA解析等の事業を実施している。研究員8名、年間予算は約1,500万円。2003年から2年間JICAシニア海外ボランティア(SV)が活動している。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当研究所は8年前に設立されおり、上記の業務が主であるが、最終的目標は、自然界に害の少ない生物農薬及び有機肥料の開発・普及にある。前任SVが生物農薬BT剤開発についての技術支援(Bacillus Thuringiensisの分離培養及び殺虫試験)を行い、Pseudomonasの分類・培養がなされ、その土壌中での作用解明まで進められた。また、食品廃棄物(トウモロコシ、米、鶏肉等の残さ)を利用した、安価な培地を利用した培養技術についての研究も一定の成果を収めている。しかしながら、微生物農薬については、まだ、技術の集積が少ないため、今後より当地に適した土壌細菌の抽出等課題が残っている。また、微生物を活用した有機肥料開発は、まだ、着手されておらず本要請に至った。					
	2) 期待される具体的業務内容 ① MetarhiziumとBeauveria菌株の大量培養(数リットル単位)技術と殺虫効果試験。 ② VerticilliumとTrichodermaの菌株は保有していないため、当分野の分離及び大量培養技術についての研究。 ③ Vacillus Thuringiensisの分離と大量培養技術は、前任が一定の成果を収めている。よって、その他の有効微生物についての研究。 ④ 微生物を活用した有機肥料開発(対象作物は、サトウキビ、柑橘、コーヒー、ジャガイモ等)。 ⑤ 2005年から換金作物開発の一候補として、こんにやく芋の研究を行っている。対応可能であれば、こんにやく芋の栽培及び製品化へ向けた模索も期待される。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 クリーンベンチ、オートクレーブ、位相差顕微鏡、DNA解析装置、液体クマトグラフ、ガスクロマトグラフ、原子吸光装置、孵卵器					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性1名45歳、修士、経験約20年 微生物培養技術、液体クロマトグラフィー、化学分析について習熟している。		6) 業務で使用する言語 ● 英 又は 語 (レベル: B) ● 西 語 (レベル: C) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験10年 理由: 現地に適した菌の研究等応用力が求められる ・ 理由:					
概 地 況 概	気候(亜熱帯)	気温(18~33 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成 18 年度 秋 募集 ボランティア 要望 調査 票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度:
通番: 147	

記入日: 平成18年7月8日

調査者名: 丸田隆弘調整員

要請番号 (SL 328 - 06 - 1 - 13)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ドミニカ共和国	職種 農業機械 (コード 125)	○新規 ●交替 2代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 農業機械			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語 [西 語])			2	年度 次隊	
Maquinaria Agricola	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 農業・牧畜・水産		プログラム名: 地方農村貧困撲滅		
中・小分類: 農業機械		課題: 地方貧困農村における農民の収入				

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農地庁 (現地公用語) Instituto Agrario Dominicano
	2) 配属先名 (日本語) 国際協力課 (現地公用語) Oficina de Cooperacion Internacional
	3) 配属先所在地 首都 (サントドミンゴ) から 方向 Km サントドミンゴ市 主要都市 (サントドミンゴ) までの交通手段及び所要時間 (で約 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) 農地庁は今日までに、507カ所・62万haの入植地を建設し、10万8000家族の入植を行っている。入植地開発及び入植者支援を行う政府組織である。今後も引き続き、①新規入植地の建設、②入植地の農道、かんがい施設などの農業基盤整備、③入植者に対する農業生産活動の支援などを行う。日本以外の外国からの援助はない。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 上記事業の支援やハリケーン災害の復旧などを目的に、日本政府は00年に8億5000万円、04年に5億5000万円にのぼる農用地整備用建設機械や井戸掘削機などの供与を行った。供与された機材の円滑な稼働を促進するため、SVは活動を続けてきたが、経年変化によって老朽化が進むこれらの機材を長期間良好な状態で稼働させるために、引き続きSVの派遣が要請された。	
	2) 期待される具体的業務内容 ①多種・多様な建設機械、井戸掘削機などの適正な運用・管理の技術的な調査・助言および財源確保についての助言 ②それらの機材の適正なメンテナンスおよび故障修理の技術的助言 ③オペレーター、整備士等に対する技術レベル・アップに必要な講座の運営。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 [利用できる機材] 工作車2台、手工具多数 [取扱う機材] 米国製ブルドーザー、モーター・グレーダー、ダンプトラック、日本製ブルドーザー、モーター・グレーダー、バックホー、振動ローラ、ダンプトラック、井戸掘削機など多数	
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 工務部、メンテナンス・修理部、井戸・ポンプ部の部長、次長など (30~40歳代 すべて男性) 技術レベル: すべて大卒、経験10年以上 (2部長は米国のフルーツ会社「Dole」に10年以上勤務した経験を持つ)	6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由	
	<ul style="list-style-type: none"> 大卒 理由: 各部の部長等と活動とするため。 2級整備士 (G・D) 理由: 各部の部長等と活動とするため。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験15年 理由: 各部の部長等と活動とするため。

概況	気候 (亜熱帯海洋性気候)	気温 (22 ~ 35 °C)	電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 148

記入日: 平成17年8月11日

調査者名: 渡部 健彦

要請番号 (SL 413 - 05 - 1 - 15)

JV⇔SV振替可

国名	職種 / 指導科目 (コード 125)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
				JOCV	SV/短期等	
パプアニュー ギニア	職種 農業機械	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	年度 次隊	19年 3月 から
	指導科目 農業機械 (現地公用語[英 語]) Agricultural Machinery			2	年度 次隊	
				3	年度 次隊	
大分類: 農林水産		分野: 農村開発		プログラム名: 食糧自給の改善		
中・小分類: 農業機械		課題: 食糧自給の改善				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業畜産省 (現地公用語) Department of Agriculture and Livestock (DAL)
	2) 配属先名 (日本語) 州産業支援部北部地域事務所 (現地公用語) Northern Regional Office, Division of Provincial and Industry Support Services
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から 北 方向 200 Km レイ 主要都市(レイ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) DALは、地区農業技術サービス局、共通事業協力局、政策計画整備局からなる。地区農業技術サービス局の下、州産業支援サービス部は4つの地域事務所を有し、配属先の北部地域事務所は本島北側の4州を管轄。主な業務は、DAL関係業務の他、国際協力機関との事業の実施、技術指導のワークショップ開催など。稲作関係では、モデル農家の育成、種子の配布等を実施。予算約30万キナ(約1億円)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 米食が普及し、国内消費量は15万トン/年ほどに達しているが、そのほとんどは輸入に頼っている。そのため、DALでは食糧安全保障部が中心となり、「稲と穀物」補完事業を実施している。同事業では、適正な機械導入による米の生産性の向上が重要目標となっており、同分野での支援のため、JICAは2003年4月から農業機械のシニア海外ボランティアを派遣している。また、2003年12月から北部地域の3州を対象とする「小規模稲作振興計画プロジェクト」を開始した。当国の稲作振興には、特に精米の機械化が重要な要素となっている。同プロジェクトと連携し、適正な農業機械の導入、利用、維持管理、更新等にかかる人材育成や制度作りの点でさらなる協力が求められていることから、後任要請に至った。	
	2) 期待される具体的業務内容 ① 当国の稲作普及と地域の栽培状況に適した精米機の選定と導入及び運転マニュアルの作成 ② 精米機を中心とした農業機械の運転、整備技術者の養成 ③ 精米事業の運営の基準作りと指導 が求められている。農業機械一般の知識・経験、特にポストハーベストを含む精米機の経験が必要となる。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 初すり精米機3台(サタケ・イセキ各1台、フィリピン製1台)、穀物水分測定器(サタケ)、機械工具一式、その他50キロ程離れた食糧安全保障部イーラップ農場にトラクター、耕運機がある。	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長以下技術アドバイザーは7名、事務職員3名。対象者は、この中の農業技術アドバイザー、国・州・村の農業畜産省担当者、およびモデル農家。	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) * JVIは派遣前訓練指定言語をチェック * SVIは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	<ul style="list-style-type: none"> • 男性 理由: 任国の治安安全上のため • 運転免許 理由: 	

概 地 況 域	気候(熱帯雨林) 気温(25~33 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

要請番号 (SL 413 - 06 - 1 - 08)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		記入日: 平成 18 年 6 月 15 日	
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
パプアニュー ギニア	職種 農業機械 (コード 125)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目 農機具 (現地公用語 [英 語]) Agricultural Machinery			1 年度 次隊	SV/短期等
大分類: 農林水産		分野: 村落開発		19 年 3 月 から	
中・小分類: 農業機械		課題: 食料自給改善		プログラム名: 食料自給改善プログラム	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Department of Education				
	2) 配属先名 (日本語) パプアニューギニア工科大学農学部 (現地公用語) Department of Agriculture of The PNG University of Technology				
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から北方向 200 Km レイ 主要都市(レイ)までの交通手段及び所要時間(車で約 0.4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含む JICA 専門家、ボランティア) UNITECH は 当国にある 4 国立大学のうちの 1 つであり、オーストラリア・ニュージーランドを除く大洋州内で唯一の 4 年生工科大学である。設立は 1965 年。13 学部、学生数約 2,000 人、農学部院生は現在 6 名。農学部関連施設として試験農場 32ha、UNITECH Biology Centre を持ち、大学全体の予算は 2,500 万キナ(約 9 億円)程度である。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任地を中心に、外国資本を基盤とした資本集約型の一次産品加工産業が形成されてきているものの、今も任国人口の 85 % が小規模農家で自給自足に近い生活を営んでいる。しかも、任国では採取農業が一般的であるため、栽培農業に必要とされる技術(育成、刈り取り、保存など)、特にこれらの工程で利用されるべき農機具が発展していない状況である。配属先は生徒に対して農学を教えるだけでなく、地元官庁と協力し農業技術向上に向けたプロジェクトを発足し、効果的な農機具の開発、製造、普及のための活動を行っている。特に、任国では米の自給率の向上が大きな課題となっており、稲作を対象とした最適な農機具の普及が求められ、今回の要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 配属先は主に農機具の開発を担当し、提携先である州政府農業局が普及を担当するが、ボランティアは全体を通じたプロジェクトリーダー的な役割が求められる。具体的には、大学担当者および農業局職員と共に以下の活動が期待される。 1) 小規模農家が利用している農機具の実態調査 2) 小規模農家でも持続的に使用可能な農機具の提案や試作(特に稲作で利用する農機具) 3) 農業局職員や学生に対して農機具作成および運用方法に関する実務指導などを通じた普及支援 中でも、ハーベスト/ポストハーベスト(手動脱穀、ふるい、動力・手動精米機など)に関わる農機具の需要は高い。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 耕運機、トラクター、精米機、すき、のこぎり、パイプカッター、発電機、電動のこぎりなどの他に、電話、コンピュータ、Fax、コピー等(執務室は大学、農業局の両方に用意されるが、主に市内の農業局で執務を行う)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同大学の担当講師はバングラデッシュ、フィリピンの農業大学などで学位を取得し机上論は理解しているものの、実務的な知識は無い。年齢は 30 歳前半。農業畜産局のスタッフは、地元大学を卒業してはいるが、農機具に関する知識は欠如。			6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) * JV は派遣前訓練指定言語をチェック * SV は選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 任国治安上のため ・ 運転免許 理由: 通勤・生活上で車両を利用するため				
概況	気候(熱帯雨林) 気温(28~34 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 150

記入日: 平成17年12月26日

調査者名: 中野直美

要請番号 (SL 301 - 06 - 0 - 11)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		調査者名: 中野直美			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期			
アルゼンチン	職種 養蜂 (コード 144)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV			
	指導科目 プロポリス加工			1	年度	次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度	次隊	
Apicultura - Procesamiento de Propoleos	3	年度	次隊				
大分類: 農林水産		分野: 経済開発		プログラム名: 小規模農家支援			
中・小分類: 畜産		課題: 地域経済の活性化					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 中小企業開発振興センター (現地公用語) Centro de Promocion y Desarrollo para la Pequena y Mediana Empresa						
	2) 配属先名 (日本語) 同上 (現地公用語) Centro de Promocion y Desarrollo para la Pequena y Mediana Empresa						
	3) 配属先所在地 首都(ブエノスアイレス)から 南西 方向 1180 Km ネウケン州ネウケン市 主要都市(パリローチェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、中小企業の競争力強化、施設及び機材の更新、並びに組織化と戦略立案に関わる資金支援と技術指導(養蜂巣箱の管理と検疫)を実施している。また、人材育成については企業と大学及び研究機関との連携を促進している。分野は養蜂、芳香植物・野菜・果樹栽培、みみず生産、ワイン製造及びきのこ栽培の各生産者への技術普及と支援を実施している。2005年度年間予算は約180万ドルとなっている。						
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ネウケン州政府は、経済活動の活性化を目的とした様々な計画を実施しているが、そのひとつとして2000年に養蜂生産者支援計画が立案された。現在、州内には約340の養蜂生産者が登録されており、州の計画には272生産者が加盟しているが、昨年の生産量は約365トンであった。多くの生産者は組合などを構成し、組織化されているが、採取する花蜜種あるいはトレーサビリティ(生産・流通過程の追跡)の記録不足のため、付加価値の低い製品に留まっている。中小規模生産者にとって、プロポリス、花粉、アピトクシン等の採取により販売製品の多様化に係る研究開発することが急務となっている。特に、近々プロポリスの価格がフラボノイドの含有量によることが想定され、現在その採取プロセスのノウハウが不十分であるため、本要請があげられた。						
	2) 期待される具体的業務内容 - プロポリスの物理・化学的検査手法の指導 - ガスクロマトグラフィー分析によるデータ確認 - プロポリス等の生産プロセス及び他の成分との配合に関する助言						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 化学実験室(ガスクロ、マス検出機、分光光度計、天秤、pHメーター、顕微鏡、実体顕微鏡、ストープ等)						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル - 圃場の普及員 男性7名(うち4名は臨時雇用)、30~40歳代 - 研究室の食品加工技術者、生物学者、化学者 男女4名、30~50歳代		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 又は 語 (レベル: B) <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 有機化学者 理由: ・						
概地域	気候(温暖) 気温(5~30 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度:
通番: 151	

記入日: 平成17年7月13日

調査者名: 谷村 啓匠

要請番号 (SL 413 - 05 - 1 - 14)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
パプアニュー ギニア	職種 飼料作物 (コード 146)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目 飼料製造 (現地公用語[英 語]) Foodstuff Manufacturing Specialist			1 年度 次隊	19年 3月 から
大分類: 農林水産		分野: 農村開発	2 年度 次隊	3 年度 次隊	
中・小分類: 畜産		課題: 調査研究/普及強化	プログラム名: 調査研究/普及強化プログラム		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 西ハイランド州政府 (現地公用語) Western Highlands Provincial Administration				
	2) 配属先名 (日本語) 農業畜産局 (現地公用語) Division of Agriculture and Livestock				
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から 北西 方向 250 Km 西ハイランド州マウントハーゲン 主要都市(マウントハーゲン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ウェスタンハイランド州は人口約26万人で、任国では概ね平均的な人口を有し、本土内陸山岳部に位置する自然環境に恵まれた州である。同州は、7つの都市地区および15の地方地区(日本での郡)からなり、配属先はこれら全行政区での農畜産業の育成に向け、施策の策定およびその実施のための行政地区管理官の指導やモニターを主な業務としている。スタッフは7名で、年間予算は約102万キナ(約3500万円)である。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任国山岳部は、雨量、土壌、気候などの自然に恵まれ、小規模農家を主体とした農畜産業が広まっている。畜産業については、養鶏、養豚が比較的広まっており、同地域のみならず近隣州へも製品を供給している。しかし、家畜飼料は他州からの輸送に頼っており、かつ、その原材料の供給源および加工企業は全て外資からなっており、年々高くなる飼料の価格が小規模農家の大きな問題となっている。任地は、様々な食物(麦、とうもろこし、キャベツ、人参、等々)が収穫できることから、これらを利用した安価でしかも効率の良い飼料を作製し、ハイランド地域における交通の中心地であることから願わくば任国全体の飼料供給基地にまで展開したいとの希望から、飼料製作のための技術者が望まれ本要請に至った。				
	2) 期待される具体的な業務内容 同州には、任国の農業普及員を育成するための農業技術学校(HATI:Hagen Agriculture Training Institute)があり、州政府と同学校との連携で本要請に至っている。同学校の施設を利用し、カウンターパート(州政府畜産局職員)および学校教員と共に、同州の飼料自給を目指し、1)任地近辺で養鶏・養豚向け飼料に適する原材料を調査、2)最適な飼料製造プロセスの計画(乾燥、粉碎、混合等)、3)飼料製造のデモンストレーション、4)長期的に運用が可能となるための、原材料の調達から製造、供給までのビジネスサイクルの計画と実施、5)できれば、他州への供給を目指した飼料製造プロセスの設計、などの活動が期待されている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 サイロ3棟(2トン程度)、鶏舎・豚舎(各4房)、飼料製作作業場(1棟)				
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		6) 業務で使用する言語		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 男性 理由: 任国の治安安全上のため ● 運転免許 理由: ● 実務経験 理由: 実務的な経験が必要とされるため 		<ul style="list-style-type: none"> ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) <p>*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力</p>		
概 況	気候(熱帯雨林)	気温(20~33 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 152

記入日: 平成17年8月21日

調査者名: JICAシリア事務所

要請番号 (SL 146 - 05 - 1 - 15)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
シリア	職種 家畜衛生 (コード 147)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 ワクチン製造			1	年度 次隊	19年3月 から
	(現地公用語[語]) Vaccine Production			2	年度 次隊	
	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 経済・社会システムの近代化		プログラム名: 農業近代化		
中・小分類: 家畜衛生		課題: 産業の近代化				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業農地改革省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Agrarian Reform					
	2) 配属先名 (日本語) 家畜衛生局 (現地公用語) Vaccine Production Division, Directorate of Animal Health					
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km ダマスカス市 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 実施機関である農業農地改革省家畜衛生局は動物医薬品の品質検査を行いそれらの品質監視を行う役割を担っている。動物用医薬品の抗生物質及び一般薬の品質検査技術向上・確立のため、これまでJICAは「動物用医薬品品質検査改善計画」PhaseI、IIを通じて技術協力を行ってきた。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) これまでJICAは「動物用医薬品品質検査改善計画」PhaseI、IIを通じて技術協力を行ってきたが、これらの協力を通じて育成された人材の技術基盤のボトムアップを図るため、今後技術力豊かな日本の技術者による指導の要請に至った。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 過去の協力を通じて移転された技術の復習を指導する。 2. 旧式の施設、古い技術でのワクチン生産が行われているため、生産技術の更新を図る。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 細胞培養・細菌培養機器一式、鶏用アイソレーター、冷却高速遠心機、蛍光顕微鏡、ELISAリーダー等					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究所職員(獣医師他技術者) 学歴: 獣医学部卒レベル、獣医専門学校卒レベル 技術水準: 基礎的技術力はある。			6) 業務で使用する言語 ● 英語 (レベル: B) ○ アラビア語 (レベル: C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 獣医師 理由: 獣医師への指導を行なう ・					
概況	気候(大陸性乾燥気候)	気温(0 - 40 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 153

記入日: 平成18年7月14日

調査者名: 山本パトリシア

要請番号 (SL 301 - 06 - 1 - 14)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可					
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期			
アルゼンチン	職種 家畜衛生 (コード 147)	●新規 ○交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		SV/短期等	
	指導科目 胚子生産			1	年度 次隊		19年 3月 から
	(現地公用語 [西 語]) Produccion de Embriones			2	年度 次隊		
	3	年度 次隊					
大分類: 農林水産		分野: 経済開発		プログラム名: 小規模農家支援			
中・小分類: 家畜衛生		課題: 地域経済の活性化					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ブエノスアイレス大学獣医学部 (現地公用語) Univers. Nac. de Bs. Aires, Facult. de Cs. Veterinarias
	2) 配属先名 (日本語) 動物繁殖学科 (現地公用語) Area de Teriogenologia
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km ブエノスアイレス市内(首都) 主要都市(ブエノスアイレス市内までの交通手段及び所要時間()で約 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先では、獣医学分野の教育・研究開発活動とともに、普及などの指導業務も実施している。特に動物繁殖学科では牛、馬、ラクダ科動物および小動物のバイテクを用いた繁殖技術の教育・研究と普及を実施している。日本の協力実績として、1989~1995年にチリ国にて開催された家畜繁殖の第三国研修に5名の研究者が参加し、1994年には本邦集団研修(人工授精)に1名のC/Pが参加している。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 南米ラクダ科には4つの種が存在し、2種(リヤマ、アルパカ)は家畜化されており、他2種(グアナコ、ビクーニャ)は野生である。当国および中南米諸国では、家畜2種は肉質、繊維、皮革および運搬用として厳しい環境に耐えられる動物として生産されている。しかし、野生2種は乱獲により絶滅に近いほど数が激減している。そのため、当国北西部の州政府では繊維の質向上および加工品の価格向上を目指したリヤマ生産振興計画を策定している。配属先ではバイテクを用いた胚子生産および生殖子の凍結保存技術が強化できれば、リヤマ生産に加えてクアナコ、ビクーニャなども生産することができるとしており、同地域の活性化に貢献するほか、生物資源の保全にも大きく役立つことから、協力が求められた。	
	2) 期待される具体的業務内容 ①生殖子の成熟技術の指導 ②精子の凍結保存技術の確立 ③胚子の人工授精、顕微操作、ガラス化の技術指導 ④培地の準備等の助言 ⑤学部内およびセミナーなどでの講演発表	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 人工授精卵生産用の実験室、卵巣穿刺用手術室、超音波等	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 動物生殖学科には12名の博士、修士、大卒の研究者が所属している。(女性7名、男性5名、20~60歳代)	6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル: B) ● 又は 英 語 (レベル: A) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ バイテク生殖技術経験 . 理由: .
------	---

概況	気候(<input type="checkbox"/> 温暖) 気温(<input type="checkbox"/> 5~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----	--



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 154

記入日: 平成17年12月27日

調査者名: 赤木 幸次

要請番号(SL 361 - 06 - 0 - 09)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期	派遣希望時期		
パナマ	職種 家畜衛生 (コード 147)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目 畜産(受精卵移植) (現地公用語[西 語])			1	年度 次隊	19年 3月 から
	Cria de Animales (Zootecnica)			2	年度 次隊	
	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 地方貧困の削減	プログラム名: 地方農漁村開発プログラム				
中・小分類: 家畜衛生	課題: 地方貧困層の能力向上					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧研究所 (現地公用語) Instituto de Investigacion Agropecuaria de Panama (IDIAP)					
	2) 配属先名 (日本語) 農牧研究所グアラカ実験所 (現地公用語) IDIAP, Estacion Experimental de Gualaca					
	3) 配属先所在地 首都(パナマ市)から 西 方向 360 Km チリキ県グアラカ 主要都市(ダビッド市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧研究所は国内の小規模農家の生産量増加を目指して、これに係る調査・研究および生産者への指導を行う農牧省下部機関である。国内でも有数の牧畜地域に所在するグアラカ実験所では、肉牛・乳牛をはじめ、様々な家畜の肉質・生産性向上にかかる各種研究に取り組んでいる。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) グアラカ研究所では、2005年1月から肉牛の肉質改善プロジェクトを開始し飼料改良・人工授精等を行っているが、その一環として受精卵移植による根本的な品種改良も試みている。このため前任者の協力の下、アメリカ産黒牛の精子および受精卵が入手され、人工授精は終了し2006年5月には子牛誕生予定となっている。受精卵移植に関しては当初、中米地域内の技術者が実施予定として計画が進められていたが、この人材確保が困難となっている。このため、この実施と飼育管理の指導者として本要請があげられた。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 受精卵移植の実施とこの実施を通じた技術指導。 ・受精牛選定から直腸検査、発情周期の確認検査等。 ・受精卵移植の実施と妊娠診断。 2. 上記受精卵移植に係る一連の手順・手技・管理指導。 3. 人工授精・受精卵移植により誕生した子牛の飼育管理指導。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室、研究室機材、実験農場					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 50歳代、修士、動物遺伝研究歴20年、飼料化学研究5年 年齢層は様々であるが、同僚の学歴は大卒以上		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: C) <input checked="" type="radio"/> 又は 英 語 (レベル: C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 受精卵移植技術 理由: 重点業務となるため ・ 実務経験10年 理由:					
概況	気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度:
通番: 155	

記入日: 平成18年1月6日

調査者名: 杵鞭 政樹

要請番号 (SL 371 - 06 - 0 - 02)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		派遣希望時期		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
セントルシア	職種 家畜衛生 (コード 147)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 畜産衛生			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語 [英 語])			2	年度 次隊	
Veterinary Medicine	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 経済の構造改革		プログラム名: 産業の多様化への支援		
中・小分類: 家畜衛生		課題: 産業の多様化				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林水産省					
	(現地公用語) Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries					
	2) 配属先名 (日本語) 獣医・家畜サービス課					
	(現地公用語) Veterinary and Livestock Services Division					
配属先概要	3) 配属先所在地 首都 (カストリーズ) から 北 方向 5 Km					
	ユニオン 主要都市 (カストリーズ) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 1/4時間)					
配属先概要	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア)					
	牧畜産業発展のため、次のような業務を行っている。(1)民間および政府所有家畜に対して、獣医サービス(診療など)、(2)動物および畜産物を対象に輸出入検査、(3)人畜共通伝染病(ズーノーシス)の予防と対策、(4)家畜疾病の調査と予防に対する衛生プログラムの確立、(5)家畜人工授精プログラムによる家畜生産性の向上、(6)家畜疾病に関して、畜産農家を教育し、適切な予防プログラムの実施。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)					
	前任者の派遣により、寄生虫検査しか実施していなかった病性鑑定ラボを本来の目的である家畜伝染性疾病の診断および獣医公衆衛生の改善を図るために、正確な検査結果に基づく指導が可能になるように、当病性鑑定ラボの機能の充実が図られた。前任者は細菌学的検査の基本である培地の作成、染色、分離および同定について指導のほか、血液検査、生化学検査や寄生虫検査についても指導を行った。これらの分野での継続的な指導に加え、鶏卵のサルモネラ食中毒の主な原因菌であるサルモネラ・エンテリティディス(SE)対策への協力も望まれている。					
	2) 期待される具体的業務内容					
	配属先の病性鑑定施ラボにて、ラボの機能拡充を図ると共に細菌学的検査の技術指導をスタッフ等に対して行う。 (1)細菌学的検査技術の更なる向上 (2)鶏のサルモネラ対策・薬剤耐性試験の継続と発展 (3)家畜感染症の予防・診断などの知識向上					
要請概要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
	ラボ(オフィス)、電話、FAX、LAN回線、細菌検査用器具					
要請概要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル			6) 業務で使用する言語		
	獣医師6名、スーパーバイザー3名、オフィサー9名、秘書1名。 ラボ担当は獣医師1名(女性・コーディネーター・30代)、助手1名(女性・20代)。			<input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
	・ 獣医師 理由: 同配属先での活動に必須		・ 実務経験5年 理由: 経験に則った適切な指導が必要とされるため			
概況	気候 (熱帯性)		気温 (25-32 ℃位)		電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
現職教員特別参加制度:
通番: 156

記入日: 平成18年4月20日

調査者名: 児島 盛之

要請番号 (SL 040 - 06 - 1 - 01)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		記入日: 平成18年4月20日		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ネパール	職種 農業協同組合 (コード 151)	●新規 ○交替 1代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 協同組合研修			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度 次隊	
Trainer for Cooperatives	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 農業生産及び収入増大による生活水準向上		プログラム名: 農業収入向上プログラム		
中・小分類: 農業一般		課題: 農業収入の向上				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業協同組合省 協同組合同局 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Cooperative, Department of Cooperative					
	2) 配属先名 (日本語) 協同組合連合 (現地公用語) National Cooperative Federation of Nepal Ltd. (NCF)					
	3) 配属先所在地 首都(カトマンズ)から 方向 Km カトマンズ市 主要都市()までの交通手段及び所要時間(時間で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は1993年設立、約4千の協同組合が加盟するネパール最大の連合で、国際協同組合連盟に加入している国内唯一の組織である。その活動は組合活動の普及促進、政府への陳情、生活改善運動(例えばバイオガス、太陽光など代替エネルギーの普及)、組合関係者の教育訓練、また、ビジネスとしてセメント販売や海外出稼者の人材派遣事業も行っている。職員数は17名で、SV配属部署の研修教育課には研修と広報の担当者が各1名ずつおり、各種研修を企画・調整・実施している。同課の年間予算は約200万ルピー(約300万円)。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 国民の80%近くが農業従事者であるネパールでは、貧困対策における協同組合の果たす役割は大きい。しかし、現実には協同組合教育の不徹底、組合員のリーダーシップの欠如、専門的な経営能力の不足など、様々な問題を抱えている組合も多い。同連合の研修教育課では住民に対する組合設立のための啓発活動、組合運営健全化や事業強化のための教育カリキュラムの設定、教材の開発、各種能力開発のためのトレーニングを実施しているが、人材不足のために必要分野の全般をカバーできていない。SVにはスタッフと協力して、実効的なカリキュラム策定と適切なトレーニング・モデルを完成させることが求められている。なお、現在JICAでは政府機関の協同組合研修センターや地方協同組合事務所にSVやJOCVを派遣して、協同組合の組織・運営強化を支援しているが、これらの関係者との情報交換や連携協力を促進することにより、協力効果を高めることが期待される。					
	2) 期待される具体的業務内容 研修担当者及びスタッフと協力して、 (1) 現行トレーニングの評価・見直しと研修モデルの確立に努める。 (2) 実効的なカリキュラムの策定。特に、販売事業や小規模事業の起業・経営関連の研修の充実を図る。 (3) 現在実施中の各種研修(トレーナー育成、リーダーシップ・トレーニング、実務、組織運営等)へのサポートを行う。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、インターネット、電話、FAX					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研修担当(男性1名、経営学修士、32歳、勤務年数7年) 広報担当(男性1名、大卒、37歳、勤務年数7年)		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 組合教育経験10年 理由: 豊富な知識・経験が要求されるため ・					
概地域	気候(温帯) 気温(0 - 35 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 157

記入日: 平成18年7月12日

調査者名: 森田竜也

要請番号 (SL 349 - 06 - 1 - 05)		● JV⇔SV振替可		調査者名: 森田竜也		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ホンジュラス	職種 農業協同組合 (コード 151)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 協同組合運営強化			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
Cooperativa Agricola	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野:	プログラム名: 競争力強化				
中・小分類: 農業一般	課題: 競争力強化					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ランブータン生産者・輸出者協会 (現地公用語) Asociacion Hondurena de Productores y Exportadores de Rambutan					
	2) 配属先名 (日本語) 同上 (現地公用語) Asociacion Hondurena de Productores y Exportadores de Rambutan					
	3) 配属先所在地 首都(テグシガルバ市)から 北東 方向 345 Km ラ・セイバ市 主要都市(サンペドロスーラ市)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 3 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当協会は、1999年に設立されたものの、2003年まで本格的活動はされていなかった。協会の位置するアトランティダ県は、ランブータン(熱帯果物)の栽培に適しており、200~250の零細・中小農家が栽培に従事している。これら農民を組織化することにより、競争力を高め、輸出の促進を図ろうとしている。各農家から支払われる組合費(300~1000円/月)のみによって運営されているため、十分な資金があるとは言い難い。EUからの援助により梱包工場の建物及び機材の一部が整備されている。また、USAIDからの援助で、組合員のデータベース作成が近々実施される。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 設立からそれほど時間を経ていないため、組織としての体制ができていない。一方、ランブータン栽培は地域的比較優性を持ち、体制強化及びインフラ整備を行うことで、輸出への可能性が格段に拡大する。中小・零細企業支援を喫緊の課題としている当国には、これら企業への資金援助が十分用意されているものの、零細・中小農家が単独で融資を受けにくい状況にある。よって、協同組合としての体制を強化することにより、融資確保につなげ、更に輸出の増加を達成することを目的として、シニア海外ボランティアの要請がなされた。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・組合員への啓発活動補助 ・経理・運営指導 ・問題点の抽出 ・輸出を目的とした、経営方針等の助言					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 電話、ファックス					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 協会理事長 男性 50歳代 専門学校卒。 生産者 男性 20歳代~50歳代 主に小学校程度、読み書きできない者もいる。				6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ・					
概 地 況 域	気候(亜熱帯気候)	気温(25~35 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 158

記入日: 平成18年7月13日

調査者名: 近藤 恵美

要請番号 (SL 358 - 06 - 1 - 20)

JV⇔SV振替可

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
				JOCV	SV/短期等	
ニカラグア	職種 農業協同組合 (コード 151)	◎新規 ○交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	年度 次隊	19年 3月 から
	指導科目 農産物流通普及 (現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
	Cooperativa Agricola			3	年度 次隊	
大分類: 農林水産		分野: 農業・農村開発		プログラム名: 持続的農牧水産業生産技術支援		
中・小分類: 農業一般		課題: 農畜産物の生産性向上				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 (現地公用語) Ministerio de Relaciones Exteriores
	2) 配属先名 (日本語) 全国農業牧畜連盟 (現地公用語) Union Nacional de Agricultores y Ganaderos
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km マナグア県マナグア市 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 中小零細農民の人権を守る目的で1981年に設立された、全国17県121市町村に組合員の総数35,412名を数える同業者組合で、年間予算は262,000米ドルである。現在は組合員の農地の合法化・商品化の研修・競争力強化などを支援するとともに、組合の組織化・経済自立も視野に事業の展開をしている。外国からの援助は、JICA第3国専門家派遣、スイス・スウェーデン・デンマーク・英国・ドイツなどの援助団体から750,000米ドルの支援がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) これまで第3国専門家を通して、中小零細農民への自立と組織化を指導してきたが、全国農業牧畜連盟の上層部及び受講者へ同専門家の与えたインパクトは強く、今回は同業者組合としての組織力強化と経済調査を深めつつ、さらなる組合員への支援を願い要請が挙がった。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・小農や組合組織で実現可能な油脂関連産業(パーム油・ヒマワリ油その他)の生産・商品化の可能性を検討し、中小零細農民相手に妥当な計画を提示及び指導する。 ・青果物物流の改善。(主な作物はゴマ、カシューナッツ、パイナップル、パパイヤ、バナナ、キャッサバ) ・対外輸出に向けた青果物の付加価値の指導。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 P/C、プリンターなど。	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大卒 男女 5名(技術レベル 中)	6) 業務で使用する言語 ◎ 西 語 (レベル: C) ◎ 又は 英 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験5年 理由: 業務上不可欠 ・
------	---

概況	気候(亜熱帯) 気温(15~25 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----	--



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 159

記入日: 平成18年7月12日

調査者名: 小畑 けい子

要請番号(SL 028 - 06 - 1 - 15)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ラオス	職種 村落開発普及員 (コード 153)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	<input type="radio"/> 2年 <input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 一村一品開発			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[ラオ 語])			2	年度 次隊	
Technical Staff on Planning	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 農村地域開発・森林資源の持続的活用		プログラム名: 村落振興プログラム		
中・小分類: 農業一般		課題: 農村住民の生計向上、農村基盤施設・居住環境改善				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 投資計画委員会 (現地公用語) Committee for Planning and Investment					
	2) 配属先名 (日本語) ビエンチャン市投資計画局 (現地公用語) Department of Planning and Investment Vientiane City					
	3) 配属先所在地 首都(ビエンチャン市)から 北東 方向 2 Km ビエンチャン市 主要都市()までの交通手段及び所要時間(時間で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1994年に開設され、同局には4つの部門(公共投資計画部・統計部・査定監査部・国内外投資普及管理部)と2事務所(行政管理事務所、貧困削減対策事務所)があり、ビエンチャン市は9郡を管轄している。年間予算20,000米ドルあるが、ほとんど維持管理費である。タイ国NGOから郡の小学校建設、水道供給、トイレ設置の援助、韓国とUNFPAから村々の開発援助がある。過去に統計隊員(10/1次隊)が派遣されていた。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同局長は、2005年に日本の一村一品開発研修に参加して得たアイデアで、管轄する9郡の内、最低所得郡をモデルに一村一品運動の計画をしている。しかしながら、一村一品の実行計画方法の経験がないことから、村落開発・一村一品実行計画に助言・サポート可能な人材を求めている。モデル郡は37村を有し、4,947戸、住民は24,689人。2010年には首都からの道路が舗装される予定である。(首都から65km、車で約2時間)					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 一村一品プロジェクトの基本計画立案作成への助言 2. 一村一品プロジェクトに関する研修・講習会を行う 3. モデルケースとなる郡・村のリサーチをカウンターパートと共に 4. 村・郡の調査時には村に一週間程度の滞在となる 5. 稲作改良・木材加工・植林・地場果物(バナナ等)加工・竹細工・養蚕・織物等の地場産業の特色を生かしたプロジェクトを検討する					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ数43人: 男性24人、女性10人 局長: 社会経済学卒業、一村一品研修経験(日本) カウンターパート: 英語学学士、投資計画局勤務5年 郡長、村民等				6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> ラオ 語 (レベル:) * JVIは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 .					
概 況 地 域	気候(亜熱帯) 気温(20~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 160

記入日: 平成18年7月8日

調査者名: 丸田隆弘調整員

要請番号 (SL 328 - 06 - 1 - 14)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ドミニカ共和国	職種 村落開発普及員 (コード 153)	●新規 ○交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目 村落開発普及員 (現地公用語[西 語]) Desarrollo de la Comunidad Rural			1 年度 次隊	19年 3月 から
		2 年度 次隊			
		3 年度 次隊			
大分類: 農林水産		分野: 農業・牧畜・水産		プログラム名: 地方農村貧困撲滅	
中・小分類: 農業一般		課題: 地方貧困農村における農民の収入			
配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農地庁 (現地公用語) Instituto Agrario Dominicano				
	2) 配属先名 (日本語) 社会開発課 (現地公用語) Departamento Desarrollo Social				
	3) 配属先所在地 首都(サントドミンゴ)から 方向 Km サントドミンゴ市 主要都市(サントドミンゴ)までの交通手段及び所要時間(で約 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 今日までに507カ所・62万haの入植地を建設し、10万8000家族の入植を行った当国最大の農業生産組織である。今後も引き続き、①新規入植地の建設、②入植地の農道、かんがい施設などの農業基盤整備、③入植者に対する農業生産活動の支援などを行う。日本以外の外国からの援助はない。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農地庁では日本政府から供与された建設機械や井戸掘削機などを活用して旧さとうきび農場や中山間地域の農業基盤整備をすすめ、安定した収入源を確保して周辺農民の生活安定を図ることが重要な政策課題となっている。それらの生活及び農業生産基盤整備を柱とした、モデル農村の形成を中心とする政策を推進するため、経験豊富なSVの派遣が要請された。				
	2) 期待される具体的業務内容 モデル農村の形成を政策的に推進するため以下の事が期待される。①生活及び生産基盤整備の企画・立案に必要な調査および技術的・政策的助言。②政策実施に必要な財源確保についての助言 ③集落住民の合意形成に役立つ政策的助言 ④基盤整備工事の施工監理についての技術的助言				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 [利用できる機材] ピックアップ・トラック				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 社会開発部、企画部、工務部、井戸・ポンプ部の各部長・次長 (すべて大卒、男性、30~40歳代) 技術レベル: 実務経験おおむね10年以上			6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 配属先の重要政策立案に対応するため。 ・ 行政経験15年 理由: 配属先の重要政策立案に対応するため。				
概況	気候(亜熱帯海洋性気候)	気温(22~35℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 161

記入日: 平成18年7月14日

調査者名: 臼井 大二

要請番号 (SL 004 - 06 - 1 - 04)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ブータン	職種 農畜産物加工 (コード 161)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		19年 3月 から
	指導科目 農産品加工			1	年度 次隊	
	(現地公用語 [英 語]) Processing Fruits & Vegetables			2	年度 次隊	
			3	年度 次隊		
大分類: 農林水産		分野: 農業・農村開発		プログラム名: 農業技術開発・普及		
中・小分類: 農産加工		課題: 農業技術開発・普及および人材育成				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 (現地公用語) Ministry of Agriculture (MOA)					
	2) 配属先名 (日本語) ブータン農産品加工会社 (現地公用語) Bhutan Agro Industries Ltd.					
	3) 配属先所在地 首都(ティンブー)から 北西 方向 20 Km ワンチュタバ 主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業省100%出資の会社で、農家から果物・野菜を集荷し、加工後に国内販売や近隣国への輸出を行っている他、飲料水の瓶詰め加工など幅広く事業を展開している。市場開発部、製造・品質管理部、管理部の三部からなり、2006年の売り上げは約9000万円。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 既存の加工農産品の品質は必ずしも高くなく、特に輸出用品ではその向上が強く求められている。このため、既存製品を品質、市場価値といった面から分析し、国際標準の品質規格を満たして国際市場に受け入れられる製品の開発が求められる。このため、この分野で先行している日本を参考にして既存品の改良と新製品開発を行うためSVの協力要請となった。					
	2) 期待される具体的業務内容 1) 既存の加工農産品の品質状況を調べ、改良に協力する。 2) 国際品質基準を満たし、市場に受け入れられる加工農産品の新製品の開発に協力する。 3) 会社スタッフに対して上記1)および2)を指導する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 加工農産品製造の機械全般					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・スタッフ5名、25~38歳、修士および学士各1名、経験は10年、その他実験室の担当。 ・指導対象者は、開発・品質管理部門スタッフ。			6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 食品化学・栄養学分野の知識 理由: 製品の品質改善や分析・開発に必要 ・ 農製品加工分野での実務経験5年 理由: 品質改良指導に実務経験必須					
概況	気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5~30 ℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 162

記入日: 平成17年12月29日

調査者名: 庄司光一/安田治文

要請番号 (SL 149 - 06 - 0 - 14)

JV⇄SV振替可

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
				JOCV	SV/短期等	
チュニジア	職種 農畜産物加工 (コード 161)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	年度 次隊	19年 3月 から
	指導科目 商品開発(乾燥イチジク) (現地公用語[仏 語])			2	年度 次隊	
	Creation des Produits(Figue Seche)			3	年度 次隊	

大分類: 農林水産

分野: 地域間格差の是正と社会開発・人的

中・小分類: 農産加工

課題: 地域間格差是正

プログラム名: 一村一品を活用した地域振興

配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 科学研究・技術・能力開発省 (現地公用語) Ministère de la Recherche Scientifique, de la Technologie et du Developpement du	
	2) 配属先名 (日本語) 乾燥地研究所 (現地公用語) Institut des Regions Arides (IRA)	
	3) 配属先所在地 首都(チュニス)から 南 方向 600 Km メドニン県メドニン 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)	
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1976年創立。設立目的は乾燥地における以下4項目についての研究・実施。①農業セクター開発、②天然資源の保護・保存、③砂漠化防止、④砂漠化防止、乾燥地農業分野の研究者、技術者の研修・養成。活動内容としては以下の3項目。①砂漠化防止、乾燥地農業の技術研究、及び普及・啓発活動実施、②南部の総合開発プロジェクトの研究・実施、③乾燥地での関連工事の調整・活性化。欧州各国からの援助実績あり。<ホームページ> http://www.semide.tn/IRA.htm	
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) チュニジア東側沿岸部一帯では一般に工業化が加速度的に進展しているのに比して、南部乾燥地一帯の多くの地方都市においては未だ生産体制が伝統的手工業レベルに留まっており、都市-地方間の経済・社会格差は年々拡大する一方である。かかる状況の中、南部各地方都市においては地場産業活性化が焦眉の課題となっており、2004年にもJICA研修制度を通して「一村一品運動」に関する研修事業を大分県の協力を得て実施した実績がある(平松知事の来チュを含む)。今般、「一村一品」コンセプトのチュニジア南部3都市への導入計画が所轄組織ODS(南部開発公社)からJICAに対し提案され、各1品(計3品)に対し1SV(計3SV)、及び3品の市場調査を担当する1SVが要請された。本要請はこの内の一つ。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先である乾燥地研究所を拠点に、近郊の乾燥イチジクの生産地ベニ・ハダッシュを不定期に訪問しつつ、乾燥イチジク(又は生イチジク)を使った製品開発に係る以下の業務への助言・支援を行う。 ①市場調査担当SVとの協議を通じた商品群企画・コスト試算 ②乾燥地研究所又はCRDAの施設にて乾燥イチジクを使った新製品(例:食品、健康食品、飲料、調味料他)の開発・試作 ③現状の乾燥イチジクの品質向上、付加価値付与のための指導を生産地ベニ・ハダッシュの生産者に対し行う。 ④国内外への新製品のプロモーション協力(例:各種メディア、イベント、見本市・博覧会への出品他)	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター、インターネット、その他新商品試作のための機材	
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・同僚: 所長/50歳代/博士 ・配属先幹部スタッフ: 5名	6) 業務で使用する言語 ◎ 英 又は 語 (レベル: B) ◎ 仏 語 (レベル: B) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験10年 理由: ・	
概地域	気候(地中海性気候) 気温(5~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 163

記入日: 平成18年7月7日

調査者名: 安田 治文

要請番号 (SL 149 - 06 - 1 - 14)

JV⇔SV振替可

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
チュニジア	職種 農畜産物加工 (コード 161)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	年度 次隊
	指導科目 農産物加工(保守) (現地公用語[仏 語])			2	年度 次隊
	Agro-alimentaire			3	年度 次隊
大分類: 農林水産		分野: 全産業のレベルアップ		プログラム名: 科学技術・IT分野・高等教育支援	
中・小分類: 農産加工		課題: 先端技術分野の人材育成・研究支援			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 (現地公用語) Ministere de l'Enseignement Superieur
	2) 配属先名 (日本語) 技術研究高等専門学校スファックス校 (現地公用語) Institut Superieur des Etudes Technologiques (ISET) SFAX
	3) 配属先所在地 首都(チュニス)から 南 方向 270 Km スファックス市 主要都市(スファックス)までの交通手段及び所要時間(列車 で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1992年創立。同国内24都市に設置されている高等専門学校(短大相当)のスファックス校。以下の9学科から成る。①経営学科、②情報通信学科、③商業学科、④機械工学科、⑤土木工学科、⑥情報処理・統計学科、⑦農産物加工学科、⑧化学分析学科、⑨国際貿易学科。うち、今般⑦農産物加工学科からSV派遣の要請が挙がっている。同科では物理化学実験室にて食肉、保存食、ソフトドリンク、飲料水についての生産・品質管理手法、および都市・産業廃水リサイクル手法を指導している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ISETの農産物加工学科が保有する各種食品分析機器は質・量とも同国教育機関に中では充実したレベルにあると言われているものの、永年、メンテナンス要員の養成が滞っていたため、保有の分析機器はその多くが実用上使用不能となっている。 これに当たり、日本からの人材の派遣により、同科のメンテナンス要員に対するOJT指導を求めると共に、講演・セミナーを通じた日本の農産物加工の紹介を求めたいとしている。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・農産物加工学科のメンテナンス要員に対して各種食品分析機器のメンテナンス技術をOJT指導する ・農産物加工学科の研究者、学生に対して講演・セミナーを通じた日本の農産物加工の紹介を行なう。 ※初代派遣につきSV自身の活動環境整備も必要。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各種食品分析機器一式(脂肪抽出器、CPG他)、事務機器一式	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・学長(男、50代) ・農産物加工品学科教授 ・メンテナンス技術者3名	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ● 又は 仏 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・ 修士(関連分野) 理由: カウンターパートのレベルが修士以上	・ 関連分野の実務経験20年 理由: 広範かつ実践的な技術が要求されているため

概 地 況 城	気候(地中海性気候)	気温(5~40 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 164

記入日: 平成17年12月19日

調査者名: 近藤 恵美

要請番号 (SL 358 - 06 - 0 - 03)

JV⇄SV振替可

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
ニカラグア	職種 農畜産物加工 (コード 161)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	年度 次隊
	指導科目 品質管理 (現地公用語[西 語])			2	年度 次隊
	Comercio			3	年度 次隊
大分類: 農林水産		分野: 農業・農村開発		19年 3月 から	
中・小分類: 農産加工		課題: 農畜産物輸出促進		プログラム名: 生産物競争力強化プログラム	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 (現地公用語) Ministerio de Relaciones Exteriores				
	2) 配属先名 (日本語) ニカラグア輸出連合 (現地公用語) Asociacion de Productores y Exportadores de Nicaragua(APEN)				
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km マナグア県マナグア市 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ニカラグアの中小規模農家が生産物を国際市場で販売できるよう、さまざまな角度から支援するNGO団体で、年間予算は525,000US\$。米州開発銀行の支援で各分野の専門家を雇用している。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ニカラグア経済は、10年前の状態から比較すると大分改善したものの、輸出に比べ輸入の割合が2倍以上という状況は依然変わらない。また関税自由化に向け、今後更に貿易についての伸びが期待される反面、国際市場での競争力は著しく欠如している。その理由としては、1. インフラ未整備による商品取引のコスト高の問題。2. 品質向上のためのノルマ・基準の不備、などが挙げられる。そのため、同連合は生産品の付加価値を高め、ひいてはニカラグアの輸出振興を促すべく取り組んでいる。過去ニカラグア貿易投資振興庁に配属されていたSVと関わりがあり、今回の要請に繋がった。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・品質管理部全体の計画段階からの指導及び農産物輸出に係る国際基準、条件等の伝授。 ・国際市場に出荷するための、衛生面での最低限の配慮をC/Pとともに生産者に研修する。 ・食品検査の意味と結果の見方の指導。 ・HACCPとEUREGAPシステムなどの指導。 ・製品の梱包及びラベルの基本的指導。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長。 所員4名。(30歳代)			6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験5年 理由: ・				
概況	気候(亜熱帯)	気温(18~32 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

通番: 165

記入日: 平成17年12月28日

調査者名: 山本 パトリシア

要請番号(SL 301 - 06- 0- 14)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		記入日: 平成17年12月28日		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
アルゼンチン	職種 乳製品加工 (コード 165)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目 乳清加工			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語]) Procesamiento de Productos Lacteos			2	年度 次隊	
	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 経済開発	プログラム名: 小規模農家支援				
中・小分類: 畜産加工	課題: 地域経済の活性化					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国立ブエノスアイレス州中部大学 (現地公用語) Universidad Nacional del Centro de la Provincia de Buenos Aires					
	2) 配属先名 (日本語) 獣医学部 (現地公用語) Facultad de Ciencias Veterinarias					
	3) 配属先所在地 首都(ブエノスアイレス)から南方向 360 Km ブエノスアイレス州タンディール市 主要都市(ブエノスアイレス)までの交通手段及び所要時間(車で約5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はブエノスアイレス州中部地域の社会経済開発に向けた高等教育機関として、人材養成、研究及び普及を行なうとともに、産業界への指導業務も実施している。大学の予算は約150万ドルであり、獣医学部の予算は約5万米ドルとなっている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、マル&シェッラ酪農流域に位置しており、農家約300軒が60万リットル/日の牛乳を生産する地域である。そのうち、40%はチーズ製造に利用され、このチーズ製造から産出される乳清(ホエイ)は家畜の補給飼料として利用されるか河川に排出されている。環境汚染の制御と貴重なタンパク質利用のため、配属先では5年間、乳清の純化研究に取り組んでいた。この経験と知識を活かし、地域の主体産業である酪農から産出される乳清の環境問題を解決するために、大学内に乳清加工用のパイロットプラントを設置した。このプラント活用は初期段階にあり、現在1日5千リットルの乳清を加工しており、2005年6月頃には倍量を加工する予定である。このプラントの目的は、人体利用のための乳清成分であるタンパク質、乳糖及び水分の純化であるが、当国の乳工場では人体用に求められる高純度のタンパク質が抽出できないため、全てが輸入品である。乳清の有用成分の分離、凝縮及び乾燥技術が不十分であることから、本要請があげられた。					
	2) 期待される具体的業務内容 - 乳清タンパク質の凝縮並びに純化プロセス(ナフィルーション、膜分離精製、精密ろ過、限外濾過機等)の技術指導 - 純化分析技術並びに乾燥技術の指導 - タンパク質の生物学的機能の解析法の指導					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ステンレスタンク、遠心機、膜分離機、オゾン製造機、分光光度計、UV/VIS等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究者、30~50歳代、大学卒(獣医師、生物化学)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 又は 語 (レベル:A) <input checked="" type="radio"/> 西 語 (レベル:C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 乳製品の純化分析経験 理由: ・					
概地域	気候(温暖) 気温(5~35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 166

記入日: 平成18年7月13日

調査者名: 近藤 恵美

要請番号 (SL 358 - 06 - 1 - 21)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ニカラグア	職種 乳製品加工 (コード 165)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 牛乳衛生管理			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語]) Procesamiento de Productos Lacteos			2	年度 次隊	
	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 農業・農村開発	プログラム名: 持続的農牧水産業生産技術支援				
中・小分類: 畜産加工	課題: 農畜産物の生産性向上					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 (現地公用語) Ministerio de Relaciones Exteriores					
	2) 配属先名 (日本語) 地球に優しい生産センター (現地公用語) Centro de Produccion mas Limpia					
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km マナグア県マナグア市 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) '98年に国際連合工業開発機関の協力で設置された施設で、1年後の'99年からデモンストレーションプロジェクトとして始まったセンターである。「地球に優しい生産」をモットーに国際競争力を備えた製品の開発とともに、生産性の向上と低公害で効率性のよい方法を生産者向けに提供する。年間の予算は395,761米ドル。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 酪農加工に関しては、環境面に配慮した様々な提案をニカラグア全土の酪農生産者に実施し、成果も出ているが、搾乳から原乳を工場に搬送するまでの過程がクリアできず、特にその分野での技術指導と品質管理のための基準などについて要望され、要請に繋がった。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・畜産農家の要望に対して講習会などを開催する技術面での手伝い。 ・畜産農家、乳製品加工工場などの定期巡回における品質管理面での指導補助。 ・生産者向けに技術向上アドバイスの報告書の書き方の指南。 ・乳製品の質向上のため工場へのフォローアップの指導。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 P/C他事務機器。					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長 30歳代 男性 (液体力学修士) 次長 20歳代 女性 他コンサルタント 女7名 男2名(物理学、エネルギー効率額、経済学、工学などの専攻)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 語 (レベル: B) <input checked="" type="radio"/> 又は 英 語 (レベル: A) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 . .					
概況	気候(亜熱帯) 気温(25~35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 167

記入日: 平成18年6月21日

調査者名: 島口 秀男

要請番号 (SL 055 - 06 - 1 - 11)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		記入日: 平成18年6月21日		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
タイ	職種 水産物加工 (コード 166)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input type="radio"/> 2年 <input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目 魚油抽出技術			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[タイ 語])			2	年度 次隊	
Fish Oil Plant and Fish Oil Extraction	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 社会の成熟化に伴う問題への対応		プログラム名: 環境管理体制支援			
中・小分類: 水産加工	課題: 環境管理体制支援					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 工業省 (現地公用語) Ministry of Industry					
	2) 配属先名 (日本語) 国立食品研究所ラボサービス部 (現地公用語) Lab. Service Dept, National Food Institute(NFI)					
	3) 配属先所在地 首都(バンコク)から 方向 Km Bangkok Bangkeekhan 主要都市(バンコク市内)までの交通手段及び所要時間(で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国立食品研究所は1996年10月に工業省傘下の独立法人として設立され、食品の安全性確保のためのサービスを提供している。技術、情報、分析、計画研究、管理の5部門があり、職員数は約200名。 魚油パイロットプラントプロジェクト予算: 60百万円/2006年度 所在地: Charansanitwong 40, Bangkeekhan, Bangphad, Bangkok (ラマ8世橋の近く) Website: www.nfi.or.th					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 最近メコン川流域で養殖が盛んな鯰(Pangasius bocourti)の大量の廃棄物が引き起こす環境汚染が懸念されている。このため国立食品機構では、廃棄物の有効利用方法を研究調査するため、魚油などを生産する小規模パイロットプラントを、2007年にメコン河沿いのナコンパノム(Nakhon Phanom)に建設する予定である。最初は飼料などとして再利用することから始めて、最終的にはEPAやDHAなどの高付加価値植物の抽出を目的としている。しかし抽出技術と経験が充分にある人材がNFIにはいないことから、SVを要請してきたものである。					
	2) 期待される具体的業務内容 ① 魚油からEPAやDHAなどの有効成分を抽出する技術について指導・助言をする。(対象魚種: 主にPangasius bocourti) ② 魚油生産パイロットプラントの改良などについて指導・助言をする。 ③ 水産廃棄物の有効利用について指導・助言をする。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 魚油抽出用機器とパイロットプラント機材を選定中。					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 分析部スタッフ約80名(女性が過半数以上) 魚油パイロットプラントプロジェクトスタッフ76名(プロジェクトチーフは分析部チーフで 男性30代後半、M.Sc. inFood Technology, EPAやDHAなどの抽出技術知識はある。)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> タイ 語 (レベル: C) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(水産学系) 理由: 活動に必要なため ・ 実務経験15年 理由: 活動に必要なため					
概 況	気候(熱帯モンスーン)	気温(22 - 38 °C)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 168

記入日: 平成17年12月19日

調査者名: 金村 浩子

要請番号 (SL 149 - 06 - 0 - 07)

JV⇄SV振替可

国名	職種/指導科目 (コード 166)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
チュニジア	職種 水産物加工	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	年度 次隊
	指導科目 水産物加工 (現地公用語[仏 語]) Valorisation des Produits de la Mer			2	年度 次隊
				3	年度 次隊
大分類: 農林水産		分野: 全産業のレベルアップ		19年3月から	
中・小分類: 水産加工		課題: 工業製品の品質管理		プログラム名: 工業技術力強化・中小企業支援	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・水資源省 (現地公用語) Ministère de l'Agriculture, de l'Environnement et des Ressources Hydrauliques
	2) 配属先名 (日本語) 漁業生産業者協会 (現地公用語) Groupement Inter-Professionnel des Produits de la Peche (GIPP)
	3) 配属先所在地 首都(チュニス)から 方向 Km チュニス市 主要都市()までの交通手段及び所要時間(で約 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1995年設立の水産業者からなる独立団体。水産物市場の拡大、輸出促進、生産技術の向上、水産の標準化、水産物の付加価値化、各分野の監督および支援を行う。国連食糧農業機関(FAO)との青魚やウナギのプロジェクト、世界銀行との品質向上プロジェクト実施実績あり。JICA専門家およびボランティア派遣実績はないが、JICAチュニジア事務所では1978年より3度にわたり水産プロジェクトを実施しており、マグロ巻網漁業に関する協力に関わった実績がある。また、現在実施中の「沿岸水産資源の持続的管理計画(2005年~2010年)」の合同調整委員会のメンバーでもある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) チュニジアではEUとのパートナーシップ締結に伴い、2008年までに関税障壁の撤廃が予定されている。貿易自由化に向け、これまで保護政策の下に置かれてきた国内産業のレベルアップ、国際競争力の強化が課題となっている。主要輸出産業である水産についても同様であり、水産加工品の付加価値化が急務となっている。日本の持つ水産技術への関心は高く、加工技術向上への支援が求められている。	
	2) 期待される具体的業務内容 会員企業へのセミナーや工場訪問を通じ、水産加工品の生産性、品質向上、付加価値化を支援し、巡回指導により下記の実践的助言を行う。 ・冷凍、乾燥、マリネ、燻製などの生産技術 ・輸向向け加工品の梱包技術 ・新商品の開発 なお、各企業の規模は零細~中規模(従業員数5人~200人)と幅がある。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 共有パソコン	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 職員数: 約20名 同僚: 技術部長、男性、40歳代、経験15年	6) 業務で使用する言語 ● 英 又は 語 (レベル: B) ● 仏 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 水産物加工の技術経験 理由: ・
------	--

概地況域	気候(地中海性気候) 気温(°C位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------	--



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 169

記入日: 平成17年8月24日

調査者名: 木屋 信明

要請番号 (SL 367 - 05 - 0 - 01)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		記入日: 平成17年8月24日		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ペルー	職種 水産物加工 (コード 166)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 水産物加工			1	年度	次隊
	(現地公用語[西 語]) Tecnologia de Procesamiento de Productos			2	年度	次隊
大分類: 農林水産		分野: 経済基盤整備		SV/短期等		
中・小分類: 水産加工		課題: 農林水産業開発		プログラム名: 農林水産業開発		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 生産省 漁業庁 (現地公用語) Ministerio de la Produccion, Vice Ministerio de Pesqueria					
	2) 配属先名 (日本語) 水産加工センター(ITP) (現地公用語) Instituto Tecnologico Pesquero					
	3) 配属先所在地 首都(リマ)から 西 方向 5 Km カヤオ市 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 ()時間					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 水産加工センターは水産物の食用加工のための調査・研究開発・製造・普及を担う国立機関であり、ペルーの水産資源の有効利用とペルー人の食料保障のための水産物の消費促進を目指した業務を行っている。 現在生産省漁業庁開発企画総局に漁業政策アドバイザーを派遣中。同センターではかつて専門家チーム派遣及びその後の個別専門家派遣による協力がなされていた(1976~88)					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ペルー海域はフンボルト海流の影響により、アンチョビー、マイワシを中心にサバ、アジ、メルルーサなどの世界有数の漁場を形成している。しかしアンチョビー、マイワシの漁獲と非食用加工、その加工物である魚粉の輸出に偏りすぎた特殊な産業体質から、近年のエルニーニョ現象等による漁獲の激変が産業の展開に大きく影響されるという漁業構造となっている。また、漁業資源の持続的利用のためには、漁業管理体制の確立も求められている事から、漁獲の種類、漁、時期、大きさなどが制限されている。このような状況の中、これまで一部の魚主の食品加工についての研修開発と製造普及の役割を担ってきた同センターは、新たな漁業資源による新製品の開発・普及を迫られるようになった。また政府は非食用加工か					
	2) 期待される具体的業務内容 新たな水産加工商品の開発と生産性向上のための、水産物処理・加工技術と製造工程管理改善に関する助言・指導					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 すりみ製造プラント、ソーセージ製造プラント、フライ製造プラント、缶詰製造プラント、品質管理研究室					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同センター技術部漁業技術研究者 学歴: 水産大学卒業				6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:)	
	*JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概 況 域	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
	<ul style="list-style-type: none"> 実務経験 理由: . 中南米滞在経験 理由: 安全上の理由による . 					
概 況 域	気候(温暖)	気温(15~30 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成 18 年度 秋 募集 ボランティア 要望 調査 票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 170

記入日: 平成 18 年 8 月 17 日

調査者名: 渡辺 督郎

要請番号 (SL 404 - 05 - 1 - 01)

JV⇄SV振替可

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
				JOCV	SV/短期等	
フィジー	職種 水産物加工 (コード 166)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	年度 次隊	19 年 3 月 から
	指導科目 水産物加工 (現地公用語 [英 語])			2	年度 次隊	
	Seafood Technology			3	年度 次隊	
大分類: 農林水産		分野: 地方・離島開発		プログラム名: 水産資源利活用プログラム		
中・小分類: 水産加工		課題: 水産業への地元住民の参加と漁業				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 南太平洋大学 (現地公用語) University of the South Pacific (USP)
	2) 配属先名 (日本語) 南太平洋大学海洋研究学部 (現地公用語) Marine Studies Programme, the University of the South Pacific (USP)
	3) 配属先所在地 首都 () から 方向 Km スヴァ市ラウザラ・ベイ・ロード 主要都市 () までの交通手段及び所要時間 () で約 () 時間
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含む JICA 専門家、ボランティア) 当国に本部を置く南太平洋大学 (USP) は、1969 年に地域島嶼国 12 カ国によって設立された国際機関である。域内最高水準の総合大学として、農学部、法学部、人文学部、理学部及び社会経済学部を開設している。海洋学部では、水産物加工、養殖、水産資源管理、海洋生物等の水産学及び海洋学、海洋全般に関わる教育及び研究が行われている。しかし、教員不足のため、講義、実習の充実に支障を来している。今年 3 月、新副学長が着任し、組織改革に取り組んでいる。
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1996 年度無償資金協力「南太平洋大学海洋研究施設整備計画」により、配属先に対し、海洋研究センター、実験実習施設等の建設の他、海洋調査機器、水産加工機材、養殖関連設備等の整備を行った。これにより、研究、教育条件が改善され、同学部の社会的評価や位置付けは一層高まった。一方で、実施体制は、教員不足をはじめ十分とはいえず、関連設備の有効利用はもとより、水産加工分野の教育・研究活動の活性化も困難な状況にある。特に水産食品の鮮度保持管理と安全性確保の問題については、緊急な課題となっている。以上のことから、前任者を引継ぎ、同学部の水産加工分野の研究・教育機能の更なる強化のための指導協力を得たいとして要請されたものである。
	2) 期待される具体的業務内容 ① 水産食品の鮮度管理に関する共同研究。 ② ヒスタミン中毒等の食中毒防止のための安全性確立の共同研究 ③ 水産加工品製造技術の確立と見直しに関する指導。 ④ 日本における水産業及び日本人の水産物摂取に関する講義。 当該ボランティアはカウンターパートへの技術移転と同時に、カウンターパートとともに講義、実験及び実習等を行うことが求められる。なお域内での水産加工品の流通は冷凍品と缶詰が主で、これら以外に食品の保存性を高める水産加工品の流通はまったく無いに等しい。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 燻製品製造装置、乾燥機、ヒスタミン計、鮮度計、パソコン、冷蔵庫
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 水産加工スタッフ、(ソロモン人講師 1 名及びフィジー人実習補助員 1 名計 2 名) スタッフは、日常的に講義、実験、実習等を行っており、一定の知識や技術力は有するが、水産加工技術および食品化学分析技術に関しては乏しい。
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) * JV は派遣前訓練指定言語をチェック * SV は選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 大学卒 理由: 配属先からの提示条件 ・ 経験 20 年 理由: 配属先からの提示条件
概 地 況 域	気候 (熱帯海洋性) 気温 (20 - 32 ℃位) 電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

通番: 171

記入日: 平成17年8月26日

調査者名: 谷村 啓匠

要請番号(SL 413 - 05- 1 - 21)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		記入日: 平成17年8月26日		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
パプアニュー ギニア	職種 水産物加工 (コード 166)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目 水産物加工			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度 次隊	
Fish Processing	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 農村開発	プログラム名: 食糧自給の改善				
中・小分類: 水産加工	課題: 食糧自給の改善					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国立水産公社 (現地公用語) National Fisheries Authority					
	2) 配属先名 (日本語) 国立漁業大学 (現地公用語) National Fisheries College					
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から 北 方向 500 Km ケビエン 主要都市(ケビエン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) NFCはNFAの下部組織であり、漁具漁法及び水産加工の2つのコースの他、職業訓練校教員の再教育、水産ビジネス、有害物質等に関する短期プログラムも実施している。同大学から5キロほど離れたところに埠頭があり、実習船の他、漁船や冷凍設備の維持管理指導のためのワークショップ、漁具を保管する倉庫等の施設も所有する。また、AusAIDによる水産加工工場が建設されており、民間企業にリースする一方で、NFC水産加工の実習施設としての活用も期待されている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 国立漁業大学(NFC)は、当国唯一の漁業専門学校であり、1975年に日本の無償援助により設立された。当国の水産業会を担う人材の育成という要望に応じて、NFCは2001年に全面的なカリキュラムの改革、スタッフの入れ替えを実施した。現在は、水産加工(Post Harvest Operation)、及び漁具・漁法(Fishing Operation)の2コースを提供している。生徒数は一昨 years が300人、昨年が430人、今年は500人近くが見込まれ、生徒数の増加に伴う講師陣の拡充が求められている。特に、水産加工コースは、プログラム・リーダーと講師の3名でレベル1~3までのコース運営を行っているが、講師陣が絶対的に不足していることから、水産加工の専門知識を有する講師が求められており、今回の要請に至った。					
	2) 期待される具体的業務内容 抜本的な改善により一般漁民を受講対象者とするようになり、学術性よりも実務性をより重視するようになった。したがって実務的な指導が基本的に求められ、①水産業界における水産加工ニーズを探り、現在のカリキュラムの改善点を示唆すると同時に、適切なコースやプログラムを開発、②水産コースの実習講師を務めると同時に他の講師の講義支援を実施する、③できれば水産コースの講義を勤める、などの活動が期待されている。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 構内に水産加工実習棟2棟があり、冷凍庫、冷蔵庫、ミキサー、燻製機、ブレンダー、ソーセージメーカー、レトルト食品メーカー、缶詰機等の機材が利用可能					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 水産加工コースのプログラム・リーダー、および講師が指導対象となる。リーダーは大学卒業後、食品業界で7年の実務経験がある。					
	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概 地 況 域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 任国の治安安全上のため ・ 運転免許 理由:					
気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)						



平成 年度 募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 172

記入日: 平成18年7月13日

調査者名: 定免 茂昭

要請番号(SL 361 - 06 - 1 - 06)		● JV⇄SV振替可		要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) CEDESAM事務所及び周辺地域は約7000ヘクタールの旧米軍及びパナマ軍の訓練場であったが、約20年前より環境庁の管理下におかれ、国内最大級の植林試験場として運営されている。敷地内には試験場開始時から複数種の植林が実施されており、この成長に伴った間伐材が発生しているが、この有効利用に必要な豊富な知識・経験を持った人材が不足しているため本案件が要請された。なお、同試験場には約10年前にJICA専門家による技術協力プロジェクトが実施され、一定の植林指導が行われている。また、配属先は国内複数地域にも対象植林地帯を所有している。	
要請概要	1) 受入省庁名 (日本語) 環境庁 (現地公用語) Autoridad Nacional de Ambiente (ANAM)	2) 配属先名 (日本語) 持続的環境開発センター (現地公用語) Centro para el Desarrollo Sostenible Ambiental (CEDESAM)	3) 配属先所在地 首都(パナマ市)から 西 方向 180 Km リオアト 主要都市(ベノメ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 環境庁はパナマ国内全域(都市部から地方部まで)の環境汚染から環境保護までの全てを管理する行政機関である。CEDESAMはこの中で森林保護・保全部門での調査・研究及びこれに係る人材育成等を実施する機関である。	6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル: C) ● 又は 英 語 (レベル: B) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) CEDESAM事務所及び周辺地域は約7000ヘクタールの旧米軍及びパナマ軍の訓練場であったが、約20年前より環境庁の管理下におかれ、国内最大級の植林試験場として運営されている。敷地内には試験場開始時から複数種の植林が実施されており、この成長に伴った間伐材が発生しているが、この有効利用に必要な豊富な知識・経験を持った人材が不足しているため本案件が要請された。なお、同試験場には約10年前にJICA専門家による技術協力プロジェクトが実施され、一定の植林指導が行われている。また、配属先は国内複数地域にも対象植林地帯を所有している。	2) 期待される具体的業務内容 ・対象地区で植林されている木材の有効利用に関する調査・助言。 ・今後発生する間伐材の利用に関する一連の技術的助言 (木材加工に適した間伐材の取扱等) ・今後の活用を考慮した植林用品種選定に係る調査・指導 現在、植林されている品種は杉・松類及びチーク材 指導対象者には場合によっては民間の加工業者も含まれる。	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 小型製材機: KAKUBIKIKUN510GK、執務室、執務机など	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 3名の常勤スタッフ 男性、20~40歳代、大学卒(農学系)	6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル: C) ● 又は 英 語 (レベル: B) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(林業系) . 理由: 指導対象者に大卒が含まれるため .				
概況	気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 173

記入日: 平成18年7月10日

調査者名: 松井 信晃

要請番号 (SL 419 - 06 - 1 - 03)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		記入日: 平成18年7月10日		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
サモア	職種 林産加工 (コード 177)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目 木材加工			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語 [英 語])			2	年度 次隊	
Carpentry	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 環境	プログラム名: 自然環境保全				
中・小分類: 林産加工	課題: 自然環境保全					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 天然資源環境気象省 (現地公用語) Ministry of Natural Resources, Environment and Meteorology (MNREM)					
	2) 配属先名 (日本語) 森林局 (現地公用語) Forestry Division, MNREN					
	3) 配属先所在地 首都 (アピア中心) から 南 方向 3 Km アピア市ヴァイリマ地区 主要都市 (アピア中心部) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 1/4時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) 任国の林業一般の業務を所管する。商業伐採の管理、植林、全国4箇所での育苗施設の管理運営などが主な業務。植林する樹種は生育が早い水源等に影響の多いユーカリ種から、マホガニーや在来種で利用価値の高いものなどに変更し、持続的な林産資源の管理を目指している。現在はAusAIDの資金協力による個々の農家の植林支援プロジェクト(実績100ha)やFAOとのNational Forest Inventoryの作成プロジェクト等を行っている。年間予算1.2百万タラ(約48百万円)					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任国山林は農地開発や過去の伐採のために縮小を続けており、水源の保全や生物多様性の保護のために森林資源の保護が課題となっている。現在、任国では2社の地元業者が直径40cm以上の木材を対象とする択伐を行っており、主に国内需要に供されている。しかし、樹種にかかわらず、粗放な加工で一般建築材料に使われるなど、利用価値の高い樹種を十分活かしてきていない。配属先では、木材の乾燥技術や加工法の改良などにより、より付加価値の高い製材を生産することができれば、伐採量を増やすことなく収益を高められるとし、限られた森林資源を持続的に活用していくための知識と技術をもつ人材が必要とされて、本件要請にいたった。					
	2) 期待される具体的業務内容 1) C/Pと共に資源状況、業界の状況及び市場を調査し、樹種と需要に適した加工法について提言する。 2) ワークショップなどを通じて、関係者に対して品質向上のための技術指導をおこない、必要な資機材導入についても助言を行う。また、配属先の執行管理を支援する。 3) 環境保全プログラムとの整合性を常に心がけ、持続的森林資源管理一般についての助言も行う。 4) 木材の乾燥度合いと時間、樹種による適正含水量などの調査 5) 端材の再加工による商品化のために必要な機材、技術についての助言					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 含水量計、車、育苗所、執務室					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Diploma of Forestry (PNG)、男性、40代、研究利用開発課長、製材・加工についての知識はほとんどない			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: A) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験15年 理由: 民間への指導協力も必要となるため ・ 製材、乾燥、加工の知識 理由: 端材の有効利用のためにぜひ必要					
概況域	気候 (熱帯海洋性)	気温 (25-32 ℃位)	電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 174

記入日: 平成18年8月17日

調査者名: 渡辺 督郎

要請番号(SL 404 - 06 - 0 - 04)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可					
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期			
フィジー	職種 漁業生産 (コード 181)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		SV/短期等	
	指導科目 漁業技術教育			1	年度 次隊		19年 3月 から
	(現地公用語[英 語]) Fishery Production			2	年度 次隊		
3	年度 次隊						
大分類: 農林水産		分野: 地方・離島開発		プログラム名: 水産資源利活用プログラム			
中・小分類: 水産		課題: 水産業への住民の参加と漁業収入					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 漁業林業省 (現地公用語) Ministry of Fisheries and Forests						
	2) 配属先名 (日本語) 水産局 (現地公用語) Fisheries Department						
	3) 配属先所在地 首都(スヴァ)から 西 方向 8 Km ラミ 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 水産セクターにおける国家開発計画の策定、計画実施及び監督官庁としての役割を担い、主な業務は、水産行政の策定、水産関係者への技術指導、水産施設の整備、水産資源調査及び管理、水産物輸出の振興、自給型漁業から沿岸商業漁業への転換奨励、水産教育推進である。このうち、独自で成果を上げている事業もあるが、漁業施設整備等の大規模な資金を必要とする事業に関しては、外国あるいは国際機関からの援助に頼らざるを得ない。						
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 水産局は、1999年より珊瑚礁及び珊瑚礁内の漁業資源を守るために、沿岸零細漁民を珊瑚礁外の水域で操業するように指導している。この方針に沿った施策として当局は、フィジー海域に25個の表層型浮漁礁を敷設したがサイクロン等で流失した。このため、前任SVは中層型浮漁礁2基をスヴァ沖合に敷設した。フィジー技術学院海事学部においても、GPS及び魚探の操作を指導し、上述の中層型浮漁礁に到達できるようにした。今後も、当局スタッフと様々な中層型浮漁礁を試作し、研究調査を重ね、水産業振興を図る事が期待されている。						
	2) 期待される具体的業務内容 ① 中層浮漁礁の試作、設置、調査に関する助言・指導。 ② 中層浮漁礁での曳き縄及び釣り漁の実習支援。 ③ フィジー技術学院と水産局が共同で実施する漁業訓練センターでの漁業教育支援。						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 1980年日本の水産無償供与船:ファイバークラス製30GT 主機Yamaha280HP。 小型ボート(船外機40HP)。漁礁用の資材(ロープ、フロート等)						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパートは3名。内1名は大卒。2名は高卒程度。		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 2級海技士 理由: ・ 大学卒(水産学系) 理由: 効果的な指導実践に必要						
概況	気候(熱帯海洋性気候) 気温(20~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)						



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: 通番: 175
--------	-------------------------------

記入日: 平成18年7月12日

調査者名: 市川勝洋

要請番号(SL 031 - 06- 1 - 04)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		記入日: 平成18年7月12日		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
マレーシア	職種 養殖 (コード 182)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 養殖			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[マレイ 語])			2	年度 次隊	
Aquaculture	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 経済競争力強化		プログラム名: 賦存資源を利用した産業の育成強		
中・小分類: 水産		課題: 賦存資源を利用した産業の育成強化				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) サバ大学 (現地公用語) University of Malaysia Sabah					
	2) 配属先名 (日本語) ボルネオ海洋研究所 (現地公用語) Borneo Marine Research Institute					
	3) 配属先所在地 首都(クアラルンプール)から 東 方向 2000 Km サバ州コタキナバル 主要都市(コタキナバル)までの交通手段及び所要時間() 時間					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サバ大学ボルネオ海洋研究所は1995年に研究ユニットとして設立され、2000年に研究所となり、養殖漁業、海洋学等の分野において学部生(約180)院生(約40)の育成を行なっている。配属先の研究分野としては、海洋バイオテクノロジー、海藻類の生産、養殖漁業、海洋生態学、サンゴ礁保全等多岐にわたる。年間予算RM316万(約9480万円)。過去にSV2名(養殖、水産化学)、JOCV1名の派遣あり。近畿大、北大等と協力あり。 http://www.ums.edu.my/ipmb/bmribblue.php					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同海洋研究所はサバ大学の主要研究機関の一つに位置づけられており、設立10年とまだ歴史も浅く、豊富で多様な海洋生態系を有するサバ州では、同研究所の更なる発展が期待されている。前任は、紅藻ソノ属のハロゲン化酵素遺伝子の系統分析、海洋微生物の分類と同定等遺伝子分析の手法の導入や、海藻発酵の産業応用、紅藻ソノ属寄生藻類の防除等地域水産業のための技術開発指導などを行なっており、こうした活動が高く評価され、引き続き海洋化学分野のシニア海外ボランティア(SV)の要請が出された。同大学はサバ州の水産産業をリードしており、当研究所の研究成果はサバ州の水産産業の発展に直接的に寄与していることから、SV派遣の意義は高く、また期待も大きい。					
	2) 期待される具体的業務内容 <input type="radio"/> 遺伝子手法を導入した養殖技術・水産化学分野の指導 <input type="radio"/> 地域水産産業発展のための水産・養殖技術開発指導 <input type="radio"/> 学部生・院生に対する講義、論文作成指導、評価 <input type="radio"/> 地元水産業界と大学、及び日本の同分野における大学・研究所等との連携促進 今まで養殖、水産化学のSVの協力等で、一般的な養殖技術については問題ないが、魚類病理学、赤潮対策、養殖施設の水質管理、海藻類など、ある特殊分野における専門的知識があるとなお良い。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各種分析・実験器具類(蒸留器、培養機等)・養殖施設					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教授、講師、博士、20名 学部生、院生等			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: A) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> 試験研究機関等20年 理由: 同僚と同等それ以上の経歴が必要 博士(関連分野) 理由: 大学生、院生の指導にあたる為 					
概況	気候(熱帯雨林)	気温(25~30 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 176

記入日: 平成17年12月28日

調査者名: 中野直美

要請番号 (SL 301 - 06 - 0 - 13)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		調査者名: 中野直美			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期			
アルゼンチン	職種 養殖 (コード 182)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV			
	指導科目 海水魚養殖(貝類)			1	年度	次隊	19年3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度	次隊	
Piscicultura (Acuacultura)	3	年度	次隊				
大分類: 農林水産		分野: 経済開発		プログラム名: 小規模農家支援			
中・小分類: 水産		課題: 地域経済の活性化					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国立パタゴニア大学 (現地公用語) Universidad Nacional de la Patagonia						
	2) 配属先名 (日本語) 国立パタゴニア大学 (現地公用語) Universidad Nacional de la Patagonia						
	3) 配属先所在地 首都(フエノスアイレス)から南方向 1720 Km チュブ州コモドロ・リバダビア市 主要都市(ラウソン市(州都))までの交通手段及び所要時間(バスで約5時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はパタゴニア地域の社会経済開発に向けた高等教育機関として、人材養成、研究及び普及を行なうとともに、産業界への指導業務も実施している。当該分野は大学の優先的な課題であり、年間予算は約6万ドル、既に貝類(ムール貝)の生物・生態的研究、海藻の生態研究などを実施している。						
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先が位置するC.リバダビア市の人口は約22万人であり、主な産業は石油の抽出及びサン・ホルヘ湾での漁業(特にエビ、カニ、イカ、メルルーサ)である。漁業では、メルルーサ及びエビは天候、乱獲による資源の減少により捕獲量が安定していない状況である。近年では貝類(ムール貝)の海水養殖を5件の業者が5ha程度の面積で生産を開始している。なお、貝類のみでなく輸出を目指した魚類(リング、ミナミアシナガダラ等)の生息地域であることから、資源の保全も考慮した養殖も可能である。しかし、本地域での新事業であるため、大学における海水養殖センター設計に関するノウハウも経験がないことから、本要請があげられた。						
	2) 期待される具体的業務内容 一 価値ある魚類の養殖に関連する知識移転 一 魚類設定によりパイロット的な養殖試験の計画立案 一 種苗生産技術の指導 一 生物餌料生産技術の指導 一 二枚貝の養殖方法(特につるし養殖)に関する指導 一 養殖技術の比較試験に関する指導						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ゴムボート等						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生物学者 男女4名、30~60歳代、大学卒(海洋学系)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 又は 語 (レベル:A) <input checked="" type="radio"/> 西 語 (レベル:B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 海面養殖場設計の経験 理由: ・ 貝類養殖の経験 理由:						
概地域	気候(寒冷) 気温(0~25 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)						



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 177

記入日: 平成18年1月4日

調査者名: 近藤 貴之

要請番号 (SL 319 - 06 - 0 - 02)		● JV⇔SV振替可		記入日: 平成18年1月4日		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
コロンビア	職種 養殖 (コード 182)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 淡水養殖			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
Piscicultura(Acuacultura)	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 平和構築		プログラム名: 国内避難民等社会的弱者支援		
中・小分類: 水産		課題: 国内避難民等社会的弱者支援				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練庁 (現地公用語) SENA(Servicio Nacional de Aprendizaje)					
	2) 配属先名 (日本語) マグダレナ支局ガイラ訓練所 (現地公用語) SENA Magdalena, Centro de Gaira					
	3) 配属先所在地 首都(ボゴタ)から 北 方向 950 Km マグダレナ県サンタマルタ 主要都市(サンタマルタ)までの交通手段及び所要時間(で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) SENAは国内避難民および投降兵士などを含む貧困層(社会的弱者)に対し、各業種の職業訓練を行うと共に個人やグループに対するマイクロクレジット等を行っている政府機関であり、年間予算約300万米ドルは所得税とは別途徴収している負担金(給与の1%)から賄われていることから予算的にも安定した組織と言える。なお、SENAの訓練センターは全国で100箇所以上存在するが、今回の要請はカリブ沿岸地域マグダレナ支局(所在地: サンタ・マルタ市)からのものである。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) コロンビアでは200万人を超える国内避難民(IDP)が発生しているが、うちカリブ沿岸地域では50万人を超えるIDPが流入していると報告されている。その中でもマグダレナ県は国内避難民の流入が激しい地域(約11万人)の一つであり、喫緊の課題としてIDPの職の確保に加え、食糧確保の問題が挙げられている。マグダレナ県にはSENAのセンターが2箇所存在しているが、ガイラセンターは農牧水産業の研修を担っており(全国に展開するSENAの各センター中最大となる147haの敷地面積を有する)、上記課題への対処の一つとして淡水魚養殖への取り組みを進めているが、養殖にかかるコスト削減など技術的な課題を残している点があり、本件の要請に至った。					
	2) 期待される具体的業務内容 下記課題への対応 ①ティラピア、ブルーティラピア、ニジマス、ボカチコ(コイ科)、などのリプロダクション(食糧確保に加え種の保存の意義がある) ②衛生確保(養殖魚の病気に対する対応) ③養殖のための水循環システム整備 ④養殖コスト削減(餌代削減)。この中でも、使用している養殖魚の餌はペルー、ベネズエラからの輸入品がほとんどであり、餌代が全養殖コストの約60%占めていることから、餌代コスト削減を中心とし協力ニーズが強い。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Alfonzo Escobar Nieves (Gaira副所長) 専属エンジニアおよびインストラクター総勢46名 その他、契約によるインストラクター等スタッフ多数		6) 業務で使用する言語 ● 西 又は 語 (レベル:C) ● 英 語 (レベル:B) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 .					
概況	気候 (熱帯)	気温 (27 ℃位)	電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話 (<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 178

記入日: 平成17年12月11日

調査者名: 池田 昭調整員

要請番号(SL 328 - 06 - 0 - 21)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ドミニカ共和国	職種 養殖 (コード 182) 指導科目 養殖 (現地公用語[西 語]) Piscicultura (Acuacultura)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	年度 次隊
				2	年度 次隊
				3	年度 次隊
大分類: 農林水産		分野: 農業・牧畜・水産		プログラム名: 地方農村貧困撲滅プログラム	
中・小分類: 水産		課題: 地方貧困農村における農民の収入			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農務省 (現地公用語) Secretaria				
	2) 配属先名 (日本語) 農牧林研究所 (現地公用語) Instituto Dominicano de Investigaciones Agropecuarias y Forestales (IDIAF)				
	3) 配属先所在地 首都(サントドミンゴ)から 北西 方向 150 Km サンティアゴ 主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) IDIAFは、1985年農務省の一機関として設立され、農産物・畜産・林業に関する調査・研究を目的とする。主たる業務は、新しい農業技術の導入、開発及び普及、生産農家への技術普及などである。サントドミンゴ本部の下に、北部事務所、南部事務所、中央畜産センターがあり、各事務所の管理下に各分野ごとの試験場が配置されている。日本、台湾、スペインなどの援助を受けており、SVの職場となる養殖場は農業大学キャンパス内にスペインの協力で設立された。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国の養殖分野は、1953年の開始以来多くの浮き沈みを経験してきたが、現在はIDIAFが主体となり、この分野の確固たる推進力となるべく研究が行われている。2004年の「魚類病理と養殖環境管理」、2005年の「持続的な養殖開発」に関するJICA研修に参加した2名のスタッフによる帰国報告会において、IDIAFの養殖試験場強化のために、「他のテーマに関する専門家もしくはSVの協力が必要である」旨の提案を受け要望調査を行った結果、今回の要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 ● 水質検査とプランクトンの生産 ・プランクトン(植物・動物)の識別・同定 Identificacion de Plancton (Fito y Zoo) ・プランクトンの培養 Produccion de Planton (Fito y Zoo) ・研究業務 Laboratorio (Identificacion y Produccion) ● 大学での講義に関する指導・助言				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 250m x 300mの敷地に36面の養殖池を有する。また、研究室には顕微鏡・スペクトル光度計、その他研究室で使用するガラス器具類が使用可能。				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 養殖研究の責任者: 40歳代 女性 C/P: 男性 漁業・養殖分野の経験12年 養殖研究経験3年 JICA研修経験者 その他: 大学の実習生5名程度、技術者3名		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: C) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 指導対象が大学卒以上である ・ 実務経験10年 理由: C/Pの経験に見劣りしない経験年数				
概況	気候(熱帯海洋性) 気温(18~33 ℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
現職教員特別参加制度:
通番: 179

記入日: 平成18年1月27日

調査者名: 長谷川 辰雄

要請番号 (SL 355 - 05 - 0 - 02)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
メキシコ	職種 養殖 (コード 182)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目 養殖(タイ)			1 年度 次隊	19年3月 から
	(現地公用語[西 語]) Acuicultura(Besugo)			2 年度 次隊	
	3 年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 人間の安全保障の向上と貧困削減	プログラム名: 貧困集落の総合的な開発			
中・小分類: 水産	課題: 農村地域社会支援				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧農村開発漁業食料省 (現地公用語) Secretaria de Agricultura Ganaderia Desarrollo Rural, Pesca y Alimentacion				
	2) 配属先名 (日本語) 漁業総局ラパス支部 (現地公用語) Instituto Nacional de la Pesca, Centro Regional de Investigacion Pesquera-La Paz				
	3) 配属先所在地 首都(メキシコシティ)から 北西 方向 1300 Km パツハカリフォルニア州ラパス市 主要都市(メキシコシティ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約2時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 全国に8地域支部、4水産試験場、8隻の調査船を保有し、当国の水産業に関する調査研究、技術の普及、資源管理、マーケティングといった水産業全般の運営を担っている。ラパス支部では、魚介類主要約6品目(マグロ、エビ、貝類、etc.)の種別ごとの担当部に別れ、資源調査、増殖・採取技術の研究・普及を行っている。90年代初頭にJICA個別専門家派遣の実績あり。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 漁業資源の減少により、メキシコの漁獲高は年々減少し環境に対する懸念も年々増大してきており新しい次の世代につながる漁業のあり方が求められている。また、フォックス政権が打ち出した主要農水産業政策である「食料増産計画2001～2006年」をうけて採る漁業から作る漁業への変革を目指した政策の一貫としての要請である。当ラパス市が所在する長さ約1500Kmに及ぶパツハカリフォルニア半島は、ほぼ全域が乾燥(砂漠)地帯に属し、地域経済は海洋資源に依存している。当支部では、市場価値の高い鯛海面生け養殖を試行しているが、十分な経験の蓄積がないために本要請がなされた。また、他の太平洋岸2～3支部においても同様の鯛養殖を試みており、ノウハウの普及効果が期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 タイ類生質養殖技術全般の研究及び普及。現在は、稚魚を外洋から採取し肥育しているが、天然稚魚が少なくなっているため、①養殖場における採卵、稚魚肥育が最優先課題となっている。②環境収容量に適した持続的な養殖技術、③上記に関する漁業者及び漁業者グループへの技術普及、④民間の養殖施設に関する助言等を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 生け簀(約1辺5m立方)、稚魚増殖に係る基本的な設備(タンク類、プランクトン増殖機器、他)、光学顕微鏡、船外機				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先研究員(3名)及び地域の漁民。 研究員1名は経験25年で、他の魚種については養殖に関する採卵、稚魚肥育といった一連の知識・技術を身につけている。		6) 業務で使用する言語 ● 西 又は 語 (レベル: C) ● 英 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ タイの養殖経験 理由: ・				
概況	気候 (乾燥)	気温 (15～38 ℃位)	電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 180

記入日: 平成18年1月27日

調査者名: 長谷川 辰雄

要請番号 (SL 355 - 05 - 0 - 03)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
メキシコ	職種 養殖 (コード 182)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 養殖(ニジマス)			1	年度 次隊	19年3月 から
	(現地公用語[西 語]) Acuicultura(Trucha Arcoiris)			2	年度 次隊	
	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 人間の安全保障の向上と貧困削減	プログラム名: 貧困集落の総合的な開発				
中・小分類: 水産	課題: 農村地域社会支援					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧農村開発漁業食料省 (現地公用語) Secretaria de Agricultura Ganaderia Desarrollo Rural, Pesca y Alimentacion					
	2) 配属先名 (日本語) 漁業総局 (現地公用語) Instituto Nacional de la Pesca, Centro Acuicola-El Zarco					
	3) 配属先所在地 首都(メキシコシティ)から 西 方向 35 Km メキシコ州エル・サルコ 主要都市(メキシコシティ)までの交通手段及び所要時間(バスで約1時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 全国に8地域支部、4水産試験場、8隻の調査船を保有し、当国の水産業に関する調査研究、技術の普及、資源管理、マーケティングといった水産業全般の運営を担っている。当エル・サルコ養殖場は、1940年初頭に設立された、当国最大級の虹鱒養殖場で、全国の種苗生産の半分以上を担っている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現フォックス政権は、主要農水産業政策である「食料増産計画2001~2006年」を打ち出し、採る漁業から作る漁業への変革を目指している。当エル・サルコ養殖場は、高地で冷涼な気候で当国のほぼ中央に位置すると言った立地条件に恵まれ、大衆魚化した虹鱒の一大稚魚供給拠点となっている。しかしながら、他の先進国(米国、日本等)では一般化している通年繁殖技術は導入されておらず、市場のニーズに答えきれていないことなどから、施設の有効利用を図る目的も含め、「日長調整」による周年繁殖技術の支援を求めている。					
	2) 期待される具体的業務内容 当養殖場では、繁殖期(約2ヶ月間)をずらす技術(通年繁殖)の導入を試行している。現在最も適切と考えられているのは、他国で導入されている「日長調整」によるものであるが、当該技術に関する専門家が存在しない。よって、当地に適した当該技術の確立及びマニュアル作成等が主な業務となる。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 稚魚増殖に係る基本的な設備(タンク類、光学顕微鏡、他)					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先研究員及び地域の養殖業者。大卒、大学院卒。20~65歳。 周年繁殖技術は持ち合わせていないが、通常的人口繁殖技術(稚魚生産)は確立されている。		6) 業務で使用する言語 ● 西 又は 語 (レベル: C) ● 英 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ ニジマス養殖経験 理由: ・					
概況	気候(温帯) 気温(0~30 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

通番: 181

記入日: 平成18年8月17日

調査者名: 渡辺督郎

要請番号(SL 404 - 06 - 0 - 01)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		調査者名: 渡辺督郎		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
フィジー	職種 養殖 (コード 182)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 養殖			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度 次隊	
Aquiculture	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 地方・離島開発	プログラム名: 水産資源利活用プログラム				
中・小分類: 水産	課題: 水産業への地元住民の参加と漁業					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education					
	2) 配属先名 (日本語) 南太平洋大学海水実験施設 (現地公用語) Seawater Laboratory, Marine Studies Programme (MSP), University of South Pacific					
	3) 配属先所在地 首都(スヴァ)から 方向 Km 主要都市()までの交通手段及び所要時間(時間で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国に本部を置く南太平洋大学(USP)は、1969年に地域島嶼国12カ国によって設立された国際機関である。域内最高水準の総合大学である。海洋研究学部では、水産加工、養殖、資源管理、海洋生物等の水産及び海洋全般に関わる教育・研究を行っている。当研究施設では、養殖及び生物生態研究を行っている。施設は日本の水産無償援助により建設された。MSPには、JICA派遣の沿岸資源管理専門家と水産加工SVが派遣されている。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ニュージーランド人の養殖シニア講師が勤務している。予算は講師給料と施設維持費しかないが、民間からテナガエビ種苗生産委託費として350万円(内訳は技術者2名の給料とテナガエビ種苗生産用経費)が入る。MSP校舎及び当海水実験施設についても日本の水産無償援助で建設されたものであるが、海水給水システムに不具合が生じており、現在短期SV(養殖施設改善)を要請中である。南太平洋諸国は養殖発展を切望しているが、小国が故に研究開発は進展していない。MSPは当地域の水産分野の人材育成のみならず研究開発の今後の中心的機関として位置づけられている。しかし、MSPには海洋生物(魚類、エビ類)の種苗生産技術を指導できる人材が欠乏している。					
	2) 期待される具体的業務内容 ①有用海洋生物(観賞魚、甲殻類等)の種苗生産に関する研究、研修及び生産の支援。 ②カウンターパートに対する海産魚類及び甲殻類の種苗生産技術の指導。 ③海水実験施設の維持管理計画の作成、及び管理能力強化支援。 ④学生及び研究生に対する海産魚類・甲殻類の飼育及び種苗生産に関する、講義及び実習指導。 ⑤MSPが検討中の屋外養殖施設設計に関する助言及び協力。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 海水用水中ポンプ(5.5kw,2機、EMI製、CSE-815ET)、圧力式砂ろ過器、紫外線滅菌装置(0.44kW)、ブロワー(2機)、コンプレッサー(3.7kW,2機)、FRP飼育水槽(1t×24個、2t×2個)、海水貯水タンク(10t×3個)、海水循環式用タンク(2t×6個)、					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル シニア講師/養殖マネージャー(NZ人、博士、男性、45才)、主席技師(海事技術士、Diploma、男性、50才)、助手(修士、男性、26才)、飼育技師(大卒、男性2名、女1名、24-26才)、助手と技師各1名(男性)			6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験15年 理由: 効果的な協力活動に必要 ・					
概況	気候(熱帯海洋性気候)	気温(20~35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 182

記入日: 平成17年8月26日

調査者名: 谷村 啓匠

要請番号 (SL 413 - 05 - 1 - 20)

JV⇄SV振替可

国名	職種 / 指導科目 (コード 182)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
パプアニュー ギニア	職種 養殖 指導科目 淡水養殖 (現地公用語[英 語] Aquaculture)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	年度 次隊
	2			年度 次隊	
				3	年度 次隊
大分類: 農林水産		分野: 農村開発		プログラム名: 食糧自給の改善	
中・小分類: 水産		課題: 食糧自給の改善			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業畜産省 (現地公用語) Department of Agriculture and Livestock
	2) 配属先名 (日本語) 農業畜産省ハイランド地域事務所 (現地公用語) Highlands Regional Office, Department of Agriculture and Livestock
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から北西方向 200 Km ゴロカ 主要都市(ゴロカ)までの交通手段及び所要時間(車で約 0.1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業畜産省は全国に4つの地域事務所を有しており、配属先はその1つである。ハイランド5州の農畜産物生産の振興を図ることが主な業務で、農家に対して、米、胡椒、蜂蜜、養豚、養鶏等の指導を行っている。年間予算は約1000万円で任地となるゴロカから100キロ程離れたアイユラにあるハイランド養殖開発センターも同局の所管となっている。また、2000年から実施されているJICAによる養殖の現地国内研修は同局が実施機関となっている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国は、国民のタンパク源の多くを魚缶と輸入肉に頼っている。国民の80%以上を占める自給自足農民のタンパク質摂取状況を改善し、食糧の自給率を向上させるため、JICAは1993年からハイランド地域において淡水養殖に係る技術協力を行っている。種苗生産基地としてハイランド養殖開発センターが設立され、淡水養殖の普及を目的として専門家が派遣された結果、淡水養殖はハイランド地域のみならず、沿岸地域の農民も興味を示すなど全国的な広がりを見せている。さらなる淡水養殖の普及を図るため、2003年からシニア海外ボランティアが派遣され、鯉の養殖飼料の開発、種苗配布基地の立ち上げを行ってきた。同SVの活動を定着させ淡水養殖をさらに普及させるため、後任要請に至った。
	2) 期待される具体的業務内容 カウンターパートとともに、①種苗配布基地の管理・運営に関する指導を行う、②飼料作成、養魚試験を通じて研究指導能力の向上を図る、③淡水養殖に関連した新規事業の企画等を通じて、経営、組織の維持管理能力を高める、④鯉、ニジマス、ティラピアの淡水養殖技術の向上を図る、⑤業畜産省に対して任国全体での養殖技術普及に向けた技術的助言を提唱する、などの活動が期待されている。
資 格 条 件	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 飼料製造のための混合機および造粒機(JICAフォローアップ提供機材)、個室、コンピュータ、プリンタ、デジタルカメラ、養殖用タンク等
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同事務所の養殖担当アドバイザー、および養殖補助スタッフ。ともに全ボランティアと共に養殖普及活動を進めており、基本的な知識は所有する。
概 地 況 域	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 任国の治安安全上のため ・ 運転免許 理由:

概 地 況 域	気候(熱帯雨林) 気温(15~28 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度:
通番: 183	

記入日: 平成17年8月25日

調査者名: 谷村 啓匠

要請番号 (SL 413 - 05 - 0 - 03)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
パプアニュー ギニア	職種 養殖 (コード 182)	◎新規 ○交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目 養殖 (現地公用語[英 語]) Aquaculture Officer			1 年度 次隊	19年 3月 から
2 年度 次隊	3 年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 農村開発		プログラム名: 食糧自給の改善	
中・小分類: 水産		課題: 食糧自給の改善			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ウェスタン州農畜水産局 (現地公用語) Division of Agriculture Livestock and Fisheries, North Fly, Western Provincial				
	2) 配属先名 (日本語) 北フライ地区事務所 (現地公用語) North Fly District Office				
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から 西 方向 500 Km タブビル 主要都市(タブビル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ウェスタン州は、北フライ、中部フライ、南フライ地区の3つの地区からなり、各地区事務所には、教育、保健医療、農畜産などの事務局が設置されている。中でも北フライ農畜産事務局は、州政府に委譲される予定で現在地元鉱山会社が運営する地域開発基金からの経済的および技術的な支援の下で、実質的にウェスタン州全体の農畜産普及のための活動を実施する。特に2011年に閉山が予定されているため、その経済的影響が憂慮され、食糧自給の施策に力を入れている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地区には、当国国内総生産の約20%に及ぶ生産高を誇る鉱山会社(政府資本比率30%)があり、水道、電気、道路、住居、医療等で経済的に地域住民と深い関わりを持つ。しかし、鉱山は2011年に閉鎖される予定で、州政府や地域住民は、閉山後の地域社会・経済に与える影響に対して大きな危機感を抱いている。同社は、閉山後の地域発展のために地域開発基金を設立し、2006年の政府移譲を前提に、教育や食糧安全などの分野で州政府と協力し、地域開発を支援している。中でも、蛋白源の自給に向け、内陸部での鯉、ティラピア、鱒などの養殖普及に力を入れており、養殖試験場も設置している。州政府も養殖研究・普及センターの設立を進めており、その運営のための専門の人材が求められ、要請に至る。				
	2) 期待される具体的業務内容 農畜水産局の水産担当所員に対して管理指導を行いつつ、共に以下の活動を行う。①養殖農家を対象とした技術指導、及び鉱山会社(OTML)運営の養殖試験場内における地域養殖普及指導員に対する技術指導、②州内全体の養殖普及に向け、州政府がキウंगाに設立を進めている「養殖研究・普及センター(LARDEC)」の設備設定や管理運用に関する技術的助言、③同センター所長に対する運営指導およびスタッフに対する技術指導				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務所内設備(ファックス、コピー、電話等)以外に、地域開発基金事務局内の設備、またスコップ、リヤカーなどの養殖池運営資機材				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農畜水産局の水産担当所員(養殖5年程度の経験があり、基本知識を持つ)、および鉱山会社が出資運営する地域開発基金の地域養殖普及指導員(養殖経験は2年程度)が対象となる。				6) 業務で使用する言語 ◎ 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 任国の治安安全上のため ・ 運転免許 理由:				
概 況 域	気候(熱帯雨林) 気温(25~33 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 184

記入日: 平成17年12月28日

要請番号 (SL 301 - 06 - 0 - 15)

JV⇄SV振替可

調査者名: 中野直美

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
アルゼンチン	職種 水産資源管理 (コード 193)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	年度 次隊
	指導科目 水産資源管理 (現地公用語[西 語])			2	年度 次隊
	Control de los Recursos Pesqueros			3	年度 次隊
大分類: 農林水産 分野: 環境保全		19年 3月 から			
中・小分類: 水産 課題: 自然環境保全		プログラム名: 自然環境保全			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ネウケン州環境局 (現地公用語) Direccion Provincial de Medio Ambiente, Provincia de Neuquen				
	2) 配属先名 (日本語) 州立生態応用センター (現地公用語) CEAN, Estacion de Captura de Salmonidos				
	3) 配属先所在地 首都(ブエノスアイレス)から 南西 方向 1500 Km サン・マルティン・デ・ロス・アンデス市 主要都市(ネウケン市(州都))までの交通手段及び所要時間(車 で約 4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は100年前に北半球から移入したサケマス類の養殖業を州内にて振興させるため、フニン・デ・ロス・アンデス市に設立された機関であり、1988~1996年にわたってJICAの技術協力を実施した。この協力により天然資源の管理及び養殖業に関わる分野(種苗生産、魚病、人工餌料、水質等)の人材が育成された。本事業の一環として、産卵期における密漁及びラーカル湖の水質汚染によりサケマス類の資源が減少したため、2000年に近隣のサン・マルティン・デ・ロス・アンデス市に水車式の捕獲装置を設置し、水車式サケマス類捕獲センターとして、ラーカル湖の資源回復及び環境教育を実施している。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サン・マルティン・デ・ロス・アンデス市はアンデス山脈の麓に位置し、冬季にはスキー、夏季にはスポーツフィッシングの観光業を主要産業とする人口約3万人の地方都市である。市内に位置するラーカル湖(5,200ha)では密漁並びに富栄養化・汚水の流入により水質が悪化していたため、湖の辺にサケマス捕獲装置を設置した。年間約1400尾の親魚から人工採卵し、孵化後、50万尾の稚魚を放流している。ラーカル湖沼の魚類相の資源評価をもとに資源管理計画を立てることが急務となっているが、資源調査を実施するための適切な技術が確立されていないことから、本要請があげられた。				
	2) 期待される具体的業務内容 - 湖沼の再生産力評価(水質調査、水深測量等) - 魚類の生産容量評価(魚群の動態調査) - 天然餌料の調査 - 水底生物(ベントス)活用評価(構成及びバイオマス等)				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ゴムボート、天秤、酸素計、DOメーター、等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ 男女3名、40~50歳代、大学卒(養殖学、生物学)				
6) 業務で使用する言語 ● 英 又は 語 (レベル: B) ● 西 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 内水面漁業管理 理由: ・ 大卒(水産工学) 理由: ・ 陸水学の知識 理由:				
概地域	気候(寒冷) 気温(0~25 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 185

記入日: 平成18年7月11日

調査者名: 岡 裕子

要請番号 (SL 416 - 06 - 1 - 04)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		記入日: 平成18年7月11日		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
トンガ	職種 水産資源管理 (コード 193)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 水産開発			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度 次隊	
Fisheries Development Advisor	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 経済成長		プログラム名: 公共サービス整備		
中・小分類: 水産		課題: 公共機関のサービス改善機能の向上				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林食糧水産省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Food, Forestry and Fisheries					
	2) 配属先名 (日本語) 水産局ババウ支局 (現地公用語) Fisheries Department					
	3) 配属先所在地 首都(ヌクアロファ)から北西方向 230 Km ババウ島ネリアフ地区 主要都市(ネリアフ)までの交通手段及び所要時間(徒歩)で約 0.2 時間					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2006年7月、水産省から農林食糧水産省水産局への組織替えが行われ、ババウ島の主要産業の一つである漁業・水産資源の開発と管理・運営を行う。魚市場の管理、真珠の養殖および研究開発、漁業ライセンスの認定、漁労組合の管理、船舶エンジニアリング施設管理と運営等事業を実施中。JICAボランティアについては生態調査、漁具漁法、船外機、養殖の派遣実績がある。現在スタッフは11名、ババウ支局の年間予算は約4万ドル。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ババウ島は水産資源が主な島民の国内食料供給源となっており、零細沿岸漁業の振興と改善および強化は同地域水産業の大きな課題となっている。水産業は同地域の主要産業であるが、漁民の漁業生産技術や漁業計器や漁船の維持管理方法、生産設備の整備・管理方法等技術や知識のレベルは低い。2006年3月にババウ底魚漁業協同組合を設立し、漁業生産技術の向上に取り組む一方、水産省ババウ支局は同組合の運営管理の指導を担うところ、同支局のスタッフの指導の知識と技術が低いことから同支局への新規ボランティアの要請となった。					
	2) 期待される具体的業務内容 ① 零細漁業振興アドバイス ② 水産沿岸資源開発調査への指導 ③ 水産物の市場促進と開発支援 ④ 真珠養殖事業の改善と開発支援					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ4台、FAX機、テレビ1台、HF & SSB 無線機、OHP					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 支局長 テクニカルオフィサー グレード1 女性 50歳				6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) * JVIは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 海外での実務経験 理由: ・					
概 況 域	気候(亜熱帯)	気温(18~28 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 186

記入日: 平成18年7月4日

調査者名: 大熊 裕司

要請番号 (SL 010 - 06 - 1 - 12)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
カンボジア	職種 農業生産技術 (コード 195)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	JOCV 年度 次隊	
	指導科目 農業生化学分析			2	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語]) Bio Chemistry			3	年度 次隊	
大分類: 農林水産	分野: 農業・農村開発	プログラム名: 灌漑農業・営農改善				
中・小分類: 農業一般	課題: 農業生産の振興					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林水産省 (現地公用語) Ministry of Agriculture, Forestry and Fishery					
	2) 配属先名 (日本語) 王立農業大学 (現地公用語) Royal University of Agriculture					
	3) 配属先所在地 首都(プノンペン)から 南 方向 12 Km プノンペン市郊外 主要都市(プノンペン市街地)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当国の農業教育機関としては最高位にあり、学長以下常勤スタッフ約100名、非常勤講師約50名が従事している。農学、農業経済、農業工学、食品加工、畜産、水産、林学、土地管理の学士8学科に加えて、2005年度に第一回修了生を送り出した6コースの修士課程がある。学生総数は、学部、大学院、週末コース、訓練課程を含めて約2,000名。JICAは短期専門家派遣の後、2001年よりシニアボランティアの派遣が開始され、現在は1名(食品微生物検査)が活動中。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先大学にあるフンセン研究所には、これまでに派遣されたSVIにより、主に土壌分析と穀物分析を目的とした最低限の分析機器が整備された実験室が設置されている。それらの機器を効果的に活用しつつ、今後はさらに生化学分析の分野にて主に農産物の成分抽出、分離、検出などの基礎的手法に関する技術的な協力や、必要な環境整備について支援し、派遣中の他のSVと協力して、大学内の研究所の機能を高めることが求められている。さらに将来的には、より高度な農産物の安全性検査が出来るような体制の構築も期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 - 農産物の成分抽出、分離、検出等の手法の指導 - 上記に必要な環境整備および運用に関するアドバイス - 研究業務全般に対するアドバイス - 外部からの依頼分析サービス体制の確立					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 カートリッジ純粋器(オルガノB-5型)、携帯pHメータ(東亜電波HM-20P)、化学天秤、乾燥機、ガラス器具類、比色計 等					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル - 大学内フンセン研究所副所長(修士、50代男性) - 教授、助手、研究生(男女20~50代) いずれも当配属先大学卒であり、英語の意思伝達は可能。化学・数学に関する基礎学力が不足する傾向がある。			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVIは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験10年 理由: 講義や実習指導に必要であるため ・					
概 地 況 域	気候(熱帯モンスーン)	気温(25~40 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 187

記入日: 平成17年7月25日

調査者名: 井坪 豊明

要請番号(SL 052 - 05- 1 - 06)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可					
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期			
スリランカ	職種 農業生産技術 (コード 195)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV			
	指導科目 植物検疫(植物病理)			1	年度	次隊	19年3月 から
	(現地公用語[英 語])			2	年度	次隊	
Plant Quarantine (Plant Pathology)	3	年度	次隊				
大分類: 農林水産	分野:	プログラム名: 農林水産					
中・小分類: 農業一般	課題: 貧困対策支援						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・土地・灌漑省 (現地公用語) Ministry of Agriculture, Livestock, Land and Irrigation						
	2) 配属先名 (日本語) 国立植物検疫所 (現地公用語) National Plant Quarantine Service						
	3) 配属先所在地 首都(コロンボ)から 北 方向 30 Km ガンパハ県カトゥナヤケ 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 種苗の輸入時における病害虫の侵入を未然に予防するとともに、輸出される農産物の病理検定、害虫検定、消毒処理等を適切に実施し、証明書を発行することが主要業務である。年間予算は約500万円。1994~1999年までJICAの技術協力プロジェクトが実施され、長期専門家6名、短期専門家24名が派遣され、効率的に援助が行われた。現在はUSAIDによる援助が行われている。						
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国において農業は基幹産業であり、中でもEU諸国や日本等への観葉植物の輸出は大きな割合を占めている。輸出に際し、ウイルス、細菌、菌類等の病理検定や線虫、昆虫、ダニ類等の害虫検疫とその証明が必要となる。本シニア海外ボランティアには植物病理検定全般に関する協力が求められているが、今回新たにPCR装置が導入されたため、特にPCR装置の操作方法、及びそれを用いた植物病理検定方法に関する技術指導が求められている。						
	2) 期待される具体的業務内容 ・植物検疫、特に観葉植物の輸出時検定において、病理検定に協力する。 ・PCR装置の使用方法及びPCR装置を用いた病理検定の技術を指導する。						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PCR装置(Vilber Lourmat 製 ECX-20.M他)、オートクレーブ、遠心分離機、インキュベーター、冷凍庫、実体顕微鏡、システム生物顕微鏡など必要な設備・機材は揃っている。						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・リサーチオフィサー(1名、男性、55歳、経験20年以上、理学修士) ・オフィサー(1名、男性、32歳、経験5年、理学修士) ・インストラクター(1名、男性、30歳、経験5年)			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒(理学、農学) 理由: 専門知識を必要とするため ・実務経験10年 理由: 現場に応じた技術指導が必要なため						
概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(28 °C位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)						



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

通番: 188

記入日: 平成17年6月7日

調査者名: 島口 秀男

要請番号(SL 055 - 05- 1 - 06)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
タイ	職種 農業生産技術 (コード 195)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目 分子遺伝学			1 年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[タイ 語]) Molecular Population Genetics of Tropical			2 年度 次隊	
3 年度 次隊					
大分類: 農林水産	分野:	プログラム名: 環境管理体制支援			
中・小分類: 農業一般	課題:				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 天然資源・環境省 (現地公用語) Ministry of Natural Resources and Environment				
	2) 配属先名 (日本語) 国立公園野生動植物局 (現地公用語) Forest Genetic Conservation and Biotechnology Research Division Forest and Plant				
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km バンコク市パホンヨーティン通り61 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国立公園野生動植物局は、野生動植物保全に関する業務をしている。予算:約219億円 森林・野生植物保全研究所の森林遺伝子保全・研究班では、森林遺伝子保全に関する業務を担当している。 研究スタッフ10名、カセサート大からの研究生3名。www.thaiforestgenetics.com				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 過度の伐採などによる熱帯林の枯渇がタイでも問題になっている。多くの種は、生息地が分断・減少されたことで、環境の変化、生息数減少、遺伝的多様性の減少などの危機に瀕している。熱帯森林樹木の遺伝子資源の遺伝的変異や交配システムを詳しく調査することで、その保全と利用に役立てることが出来るため、樹種間の遺伝的変異・分布を調査することが重要である。最近では、樹木や植物の遺伝的多様性の調査に、遺伝的変異のDNAマーカー技術やソフトが開発されている。施設、新しい機材や研究予算はあるが、最新のDNAシーケンスや遺伝子データ分析技術のノウハウを持つ人材がいないため、SVの要請となったものである。				
	2) 期待される具体的業務内容 熱帯樹木・植物について ①DNAシーケンスと分析技術にかかる指導・助言を行う。 ②遺伝子情報の統計解析にかかる指導・助言を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 DNA sequencer(ABI-3104), Deep Freezer (-80 C), Horizontal laminar flow, Fume hood, realtime DNA fragment (analysis) Gel scan 2000, 3000, Centrifuge(Hitachi, CH15B), DNA photodocumentation(UVP), Fluorescence insitu hybridization				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究スタッフ10名、カセサート大からの研究生修士3名。 指導対象者: 修士と博士、年齢: 25-50歳代, 男女 配属先技術レベル: AFLP's と microsatellite markers で研究中である。			6) 業務で使用する言語 ● 英語 語 (レベル: B) ○ タイ 語 (レベル: C) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 修士(分子遺伝学) 理由: 指導対象者が、修士と博士であるため ・ 実務経験15年 理由: 指導対象者が、修士と博士であるため				
概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 189

記入日: 平成17年11月29日

調査者名: 金剛寺 一雄

要請番号 (SL 055 - 06 - 0 - 07)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
タイ	職種 農業生産技術 (コード 195)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input type="radio"/> 2年 <input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 農業指導			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[タイ 語])			2	年度 次隊	
Agriculture Extension	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 持続的成長のための競争力強化		プログラム名: 農産生産性向上		
中・小分類: 農業一般		課題: 農業生産性向上				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・協同組合省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Cooperatives					
	2) 配属先名 (日本語) 第2地方土地開発事務所 (現地公用語) Land Development Regional Office 2, Land Development Department					
	3) 配属先所在地 首都(バンコク)から 南東 方向 110 Km チョンブリ県シーラチャ郡 主要都市(パタヤ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 .4 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同事務所は農業協同組合省・土地開発局傘下の機関で、全国に 12か所存在する事務所の1つで、近隣の7県を管轄している。農業生産性向上に向けての農地利用政策の策定、土地、水利の管理、改良、土壌、水、有機肥料、作物と農業微生物産品の研究、開発と同技術の農家への移転、普及を行っている。同事務所の人数: 約40名、予算: 約274百万円(2005、内半分が水源ダム建設用)所在地: 184/3 Moo 8, Thung Sukhla, Sriracha District, Chonburi Province 20230 http://www.idd.go.th					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同事務所での研究支援並びに管轄の下記7県の土地開発ステーションに対し、各農民リーダーを対象に土壌、水、有機肥料、作物に関するノウハウ、技術の移転、普及活動をしているが、これらの活動の更なるレベルアップに向けて、当該分野で豊富な知識、技術、経験のあるSVを要請してきたものである。①チョンブリ、②チャンタブリ、③チャチェンサオ、④ラヨン、⑤トラト、⑥サケオ、⑦プラチンブリ の7県					
	2) 期待される具体的業務内容 ①土壌、水、作物に関する研究支援(対象者は同事務所のスタッフ) ②管轄の近隣の7県の土地ステーションでの指導活動支援(対象者は農業リーダー)					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 共用パソコン、プリンター、インターネット、カメラ、スライド等ある。					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同事務所のスタッフ: 数名、男性、年齢40代、 指導対象者の技術レベル: 修士、アグロノミスト、フィールド研究歴20年超		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input type="radio"/> タイ 語 (レベル: C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(農業土壌分野)以上 理由: 活動に必要なため ・ 実務経験10年 理由: 活動に必要なため ・ 男性 理由: 活動に必要なため					
概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22-38 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 190

記入日: 平成18年4月28日

調査者名: 島口 秀男

要請番号 (SL 055 - 06 - 1 - 12)

JV⇔SV振替可

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
タイ	職種 農業生産技術 (コード 195)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 養液栽培			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[タイ 語])			2	年度 次隊	
Soiless Culture System	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 持続的発展のための競争力の強化	プログラム名: 農業生産品質向上				
中・小分類: 農業一般	課題: 農業生産品質向上					

配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・協同組合省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Cooperatives
	2) 配属先名 (日本語) 農業振興局野菜生産促進班 (現地公用語) Vegetable Production Promotion Group, Vegetable Flower and Herb Production
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km バンコク カセサート大学講内 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業振興局野菜生産促進班(9名)は、野菜生産技術の普及活動をしている。(園芸研究センターがサムットサコンにある。) 振興局2005年予算約23億円、振興局にはSV2名の派遣実績がある。(農産加工2001~3、農民組織強化2002~5) 所在地: 2143/1 Pahonyothin Road, Ladyao, Chatuchak, Bangkok

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 養液栽培(無土壌栽培)で生産される清浄サラダ野菜の需要がスーパーマーケットやレストラン用などで高まっているので、野菜生産促進班では土壌病害や食品安全の面からも、この栽培法を需要の多い地方で普及させたいとしている。しかし輸入養液栽培システムは生産コストが非常に高いため、導入できる一般農業生産者はまだ極めて少ない。このためタイの資材を利用した低生産コストシステムの開発を目指して、ヤシ殻、ヤシ繊維等を利用した点滴養液栽培等も研究しているが、なかなか進展していないため養液栽培法に実務経験のあるSVを要請してきたものである。	
	2) 期待される具体的業務内容 ① タイの資材を利用した低生産コスト養液栽培システムの開発について指導・助言をする。 (ヤシ殻、ヤシ繊維、モミカウなどの利用したシステムの開発、高温障害、液肥調合や栽培法等) ② 園芸研究センターや地方の農業普及技師に養液栽培法を指導・助言をする。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 共有パソコン、プリンタ、コピー機	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ9名(女性6、男性3) 同僚: 女性 40歳代 経験19年 修士(農業普及) 園芸学科卒 技術レベル: 園芸学科卒で農業普及経験19年あるが、養液栽培法の基本栽培知識がある程度。	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 (レベル: B) <input type="radio"/> タイ語 (レベル: C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 活動に必要なため ・ 実務経験10年 理由: 活動に必要なため
------	---

概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----	--



平成18年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 191

記入日: 平成18年6月16日

調査者名: 西谷 知佐子

要請番号 (SL 055 - 06 - 1 - 16)		○ JV⇄SV振替可		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
タイ	職種 農業生産技術 (コード 195)	● 新規 ○ 交替 代目	○ 2年 ● 1年 ○ ヶ月	
	指導科目 微生物研究			派遣希望時期
	(現地公用語 [タイ 語]) Biotechnology			JOCV SV/短期等
大分類: 農林水産	分野: 持続的成長のための競争力強化	プログラム名: 産業振興のための基盤整備		
中・小分類: 農業一般	課題: 産業振興のための基盤整備			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 科学技術省 (現地公用語) Ministry of Science and Technology			
	2) 配属先名 (日本語) バイオテック (現地公用語) National Centre for Genetic Engineering and Biotechnology (BIOTECH)			
	3) 配属先所在地 首都(バンコク)から 北 方向 35 Km パトゥンタニ県クロンルアン地区 主要都市(バンコク)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) タイ国の遺伝工学、生物工学の開発、キャパシティー改善のために1983年設立。19の研究室からなるタイ国随一のバイオテクノロジー研究センター。職員数は約300名。年間予算は約24億円(組織全体) SV1名(2001-2003、微生物研究)、直接雇用外国人5名			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タイでは、乳酸菌を外国製品に依存していることから、配属先の食品バイオテクノロジー研究室においては、タイ国産の乳酸菌開発に取り組んでいる。現在、低温保存の粉末乳酸菌は開発済みであるが、エンドユーザーの利便性を考慮し、室温で保存できる(貯蔵期限を確保できる)品質の乳酸菌の研究開発に努めている。この分野に詳しく、経験豊富なシニアボランティアの要請があった。			
	2) 期待される具体的業務内容 ① 常温保存の粉末乳酸菌の研究支援 ② 微生物/生物活性物質の効果的な保存、形成への助言、指導 ③ 部門スタッフへの研究指導 ④ その他: 菌の有効利用に関する助言			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 スプレッドライヤー、その他ベーシックな研究器具(攪拌器、保存器、分析器等)多数。			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 食品生物研究室 (PHd6名、修士6名、学士約6名+学生インターン)のうち 生物加工技術班 (PHd 1名 女性30代、修士2名、学士1名、インターン3名) 主なC/Pは生物工学博士、30代女性、在勤8年、生物加工技術班班長		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:A) ○ タイ 語 (レベル:C) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 修士(生物工学等の関連分野) 理由: 活動に必要なため ・ 研究経験10年(関連分野) 理由: 活動に必要なため			
概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:
通番: 192

記入日: 平成18年7月7日

調査者名: 安田 治文

要請番号 (SL 149 - 06 - 1 - 10)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
チュニジア	職種 農業生産技術 (コード 195) 指導科目 プロテオミクス (現地公用語[仏 語]) Proteomics	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 2 3	JOCV SV/短期等 年度 次隊 年度 次隊 年度 次隊 19年 3月 から
大分類: 農林水産		分野: 全産業のレベルアップ		プログラム名: 科学技術・IT分野高等教育支援	
中・小分類: 農業一般		課題: 先端技術分野の人材育成・研究支援			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 科学研究・技術・能力開発省 (現地公用語) Ministère de la Recherche Scientifique, de la Technologie et du Developpement du				
	2) 配属先名 (日本語) ボルジュセドリア・テクノパーク (現地公用語) Borj Cedria Science and Technologie Park (BC-STP)				
	3) 配属先所在地 首都(チュニス)から 南東 方向 50 Km ハマムリーフ市ボルジュセドリア 主要都市(ボルジュセドリア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ボルジュセドリア・サイエンス&テクノロジー・パーク(BC-STP)計画は総額約80億円の円借款(JBIC)を主たる財源として建設中(2005年-2010年)の、水資源研究、バイオテクノロジー研究、エネルギー研究の3分野(3センター+運営部門)で産学協同を目指す学術・産業都市である。バイオテクノロジー研究センター(CBBC)は更に5つの研究室から成り、今般、ブドウ分子生理学研究室(LPMV)から本要請が挙がっている。尚、CBBCと筑波大とは共同研究体制にある。 <ホームページ> http://www.ecopark.mrtn.tn				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国においては国土の半分以上が乾燥地であり、農業生産に対する大きな制約条件になっている。そのためCBBCにおいては作物植物の乾燥地環境への適応が重要課題であり、LPMVはブドウの乾燥地適応メカニズムの解明、農業生産向上への利用のための研究を始めたばかりである。これに当たり、日本からの人材の派遣により、主に分析機器(LC-MS/MS)の操作法、メンテナンス法について技術支援を求め一方、プロテオミクス全般、及び分析機器(LC-MS/MS)による測定データ分析について指導を受けたいとしている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・LC-MS/MS測定データ分析に係る技術指導(特に物質同定、物質特性調査、蛋白質データを基にした探査) ・若い研究者へのLC-MS/MS使用法、メンテナンス、トラブル・シューティングの指導 ・プロテオミクス全般、特に質量分析器(LC-MS/MS)を用いた解析(タンパク質の同定・分析)の研究指導 ・プロテオミクス専攻の修士課程、博士課程の学生へ研究指導 ・プロテオミクス研究成果のパブリケーションへの支援 ・植物プロテオミクス関連の日本の研究室との協力関係構築 ・CBBCでのプロテオミクス関連プロジェクトについての講演(講座、セミナー) ※初代派遣につきSV自身の活動環境整備も必要。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各種分析機器一式、(LC-MS/MSについては2006年12月末納品予定)				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・ブドウ分子生理学研究室(LPMV)室長(男、40代)教授 ・常勤研究者 13名 ・技術補佐員 5名 ・大学院生 18名		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: B) <input checked="" type="radio"/> 又は 仏 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 修士(関連分野) 理由: カウンターパートのレベルが修士以上 ・ 関連分野実務経験20年 理由: 広範囲での経験に基づいた指導が求められている				
概況	気候(地中海性気候)	気温(5~40 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 18 年度 秋 募集 ボランティア 要望 調査 票

長期 (JOCV 日青 SV 日 S)短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 193

記入日: 平成 18 年 7 月 7 日

調査者名: 安田 治文

要請番号 (SL 149 - 06 - 1 - 11)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		派遣希望時期	
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	JOCV	SV/短期等
チュニジア	職種 農業生産技術 (コード 195)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	年度 次隊
	指導科目 生物資源探査 (現地公用語[仏 語])			2	年度 次隊
	Bioassay for Bioprospecting Research			3	年度 次隊
大分類: 農林水産		分野: 全産業のレベルアップ		19 年 3 月 から	
中・小分類: 農業一般		課題: 先端技術分野の人材育成・研究支援		プログラム名: 科学技術・IT分野高等教育支援	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 科学研究・技術・能力開発省 (現地公用語) Ministère de la Recherche Scientifique, de la Technologie et du Développement du				
	2) 配属先名 (日本語) ボルジュセドリア・テクノパーク (現地公用語) Borj Cedria Science and Technologie Park (BC-STP)				
	3) 配属先所在地 首都(チュニス)から 南東 方向 50 Km ハムマリフ市ボルジュセドリア 主要都市(ボルジュセドリア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ボルジュセドリア・サイエンス&テクノロジー・パーク(BC-STP)計画は総額約80億円の円借款(JBIC)を主たる財源として建設中(2005年-2010年)の、水資源研究、バイオテクノロジー研究、エネルギー研究の3分野(3センター+運営部門)で産学協同を目指す学術・産業都市である。バイオテクノロジー研究センター(CBBC)は更に5つの研究室から成り、今般、アロマ・薬用植物研究ユニット(UPAM)から本要請が挙げられている。尚、CBBCと筑波大とは共同研究体制にある。 <ホームページ> http://www.ecopark.rnrt.tn				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国においては、特徴的な気候分布が独特の植生を生み出していること、植物が乾燥、強い日射、高塩濃度の土壌といった厳しい環境ストレスに耐えるためのメカニズムを有していることから、有用な生物資源の「宝の山」と目されている一方、CBBCにおいては実験手法が「古典的」段階に留まっているため、遺伝子・分子レベルでの詳細な解析等実験手法の技術移転に対して強い要望が寄せられている。今般、筑波大との共同研究体制に加え、JICA研修事業の一環としてもUPAM他CBBCの若手研究者を筑波大に派遣して生物資源探査に必要な実験技術習得を進めているが、これに当たり、同国へのSV派遣により、同実験手法の現地適用、波及について技術支援を求める他、同定分子のメカニズム解明についても指導を受けたいとしている。				
	2) 期待される具体的業務内容 アロマ・薬用植物関連の生物資源探査に係る以下の業務 ・動物培養細胞を用いた植物生体成分の生理活性の検出(バイオアッセイ)のための環境整備、設備機器設置への支援 ・細胞培養および既存の実験環境に即したバイオアッセイのための実験要綱作成への支援 ・動物細胞培養に関する実験手法の波及、および帰国後のJICA研修生と共同でのバイオアッセイ指導 ・分子遺伝学、分子生理学的実験手法の指導 ・バイオアッセイ、その他分析の実験結果の解釈に関する指導 ※初代派遣につきSV自身の活動環境整備も必要。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 バイオアッセイ機器(クリーンベンチ、CO2インキュベーター、細胞用遠心分離機、顕微鏡、分光光度計)、オイル抽出器、TLDシステム、超遠心分離機、遠心分離機、ガス・クロマトグラフィー、HPLC、GC-MS、核酸電気泳動装置、回転式蒸発乾燥器、熱循環器など。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル		6) 業務で使用する言語		
・アロマ・薬用植物研究ユニット(UPAM)室長(男、40代)教授 ・常勤研究者 11名 ・非常勤研究者 7名 ・技術補佐員 1名 ・大学院生 14名		● 英 語 (レベル: B) ● 又は 仏 語 (レベル: B) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	・ 修士(関連分野) 理由: カウンターパートのレベルが修士以上		・ 関連分野実務経験20年 理由: 広範囲での経験に基いた指導が求められている		
概況	気候(地中海性気候)	気温(5~40 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 194

記入日: 平成18年7月7日

調査者名: 安田 治文

要請番号 (SL 149 - 06 - 1 - 12)

JV⇄SV振替可

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
				JOCV	SV/短期等	
チュニジア	職種 農業生産技術 (コード 195)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	年度 次隊	19年 3月 から
	指導科目 細胞分子生理学			2	年度 次隊	
	(現地公用語[仏 語]) Cell Molecular Biology			3	年度 次隊	

大分類: 農林水産

分野: 全産業のレベルアップ

中・小分類: 農業一般

課題: 先端技術分野の人材育成・研究支援

プログラム名: 科学技術・IT分野高等教育支援

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 科学研究・技術・能力開発省 (現地公用語) Ministère de la Recherche Scientifique, de la Technologie et du Développement du
	2) 配属先名 (日本語) ボルジュセドリア・テクノパーク (現地公用語) Borj Cedria Science and Technologie Park (BC-STP)
	3) 配属先所在地 首都(チュニス)から 南東 方向 50 Km ハマムリフ市ボルジュセドリア 主要都市(ボルジュセドリア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ボルジュセドリア・サイエンス&テクノロジー・パーク(BC-STP)計画は総額約80億円の円借款(JBIC)を主たる財源として建設中(2005年-2010年)の、水資源研究、バイオテクノロジー研究、エネルギー研究の3分野(3センター+運営部門)で産学協同を目指す学術・産業都市である。バイオテクノロジー研究センター(CBBC)は更に5つの研究室から成り、今般、オリーブ油品質分析研究室(LCGH)から本要請が挙がっている。尚、CBBCと筑波大とは共同研究体制にある。 <ホームページ> http://www.ecopark.mrt.tn

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国においては、特徴的な気候分布が独特の植生を生み出していること、植物が乾燥、強い日射、高塩濃度の土壌といった厳しい環境ストレスに耐えるためのメカニズムを有していることから、有用な生物資源の「宝の山」と目されている一方、CBBCにおいては実験手法が「古典的」段階に留まっているため、遺伝子・分子レベルでの詳細な解析等実験手法の技術移転に対して強い要望が寄せられている。今般、筑波大との共同研究体制に加え、JICA研修事業の一環としてもLCGH他CBBCの若手研究者を筑波大に派遣して生物資源探査に必要な実験技術習得を進めているが、これに当たり、同国へのSV派遣により、同実験手法の現地適用、波及について技術支援を求める他、同定分子のメカニズム解明についても指導を受けたいとしている。
	2) 期待される具体的業務内容 ・同研究室のバイオアッセイ環境整備への助言 ・帰国後のJICA研修員と共に、in vitroバイオアッセイおよびプロテオミクス分析手法の研究室スタッフへの波及支援 ・オリーブ由来の生体成分(オリーブ油、実あるいは葉からの抽出物)の有用生理活性の探索および当該生理活性の作用メカニズムの解析に関する研究指導 ※初代派遣につきSV自身の活動環境整備も必要。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 バイオアッセイに必要な機器一式(オイル抽出器、TLDシステム、超遠心分離機、遠心分離機、ガス・クロマトグラフィー、HPLC、GC-MS、核酸電気泳動装置、回転式蒸発乾燥器、熱循環器、その他)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル

- ・オリーブ油品質分析研究室(LCGH)室長(男、50代)教授
- ・常勤研究者 10名
- ・非常勤研究者 2名
- ・技術補佐員 2名
- ・大学院生 17名(博士課程 14名、修士課程 3名、PFE 2名)

6) 業務で使用する言語

● 英 語 (レベル: B)

● 又は 仏 語 (レベル: B)

* JVは派遣前訓練指定言語をチェック
* SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	・ 修士(関連分野) 理由: カウンターパートのレベルが修士以上	・ 関連分野実務経験20年 理由: 広範囲での経験に基いた指導が求められている

概 地 況 城	気候(地中海性気候)	気温(5~40 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 18 年度 秋 募集 ボランティア 要望 調査 票

長期 (JOCV 日青 SV 日 S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 195

記入日: 平成18年1月30日

調査者名: 中野直美

要請番号 (SL 301 - 05 - 1 - 17)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		記入日: 平成18年1月30日		
国名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
アルゼンチン	職種 農業生産技術 (コード 195)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 植物資源超低温保存			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語]) Crioconservacion de Germoplasma Vegetal			2	年度 次隊	
	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野:		プログラム名: 自然環境保全		
中・小分類: 農業一般		課題:				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 北東部植物学研究所 (現地公用語) Instituto de Botanica del Nordeste-IBONE					
	2) 配属先名 (日本語) 北東部植物学研究所 (現地公用語) Instituto de Botanica del Nordeste-IBONE					
	3) 配属先所在地 首都(ブエノス・アイレス)から 北東 方向 930 Km コリエンテス州コリエンテス市(州都) 主要都市(コリエンテス市)までの交通手段及び所要時間(時間で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 北東植物学研究所は、1977年、国立北東大学と国立科学研究審議会との協定に基づいて同大学の農学部内に設置され、分類学、遺伝学、植物解剖・生理学の研究室からなる植物学研究所である。また、当国北部において最も大きな植物学専門図書館と植物の乾燥標本を運営している。研究者50人、研修員20人、技術スタッフ20人を擁し、2005年の活動予算は約67,500ドル/約700万円である。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブラジル、パラグアイ両国南部と接する当国北東部は、生物多様性豊かな亜熱帯林、湿地帯等が多く存在し、植物遺伝資源の宝庫である。人口の増加、地球の温暖化、土壌の劣化、森林の伐採などによる自然環境の劣化により、貴重な遺伝資源の減少が危惧されている。また、野生種は病虫害や環境ストレス耐性を有する新品種の開発において、最も貴重な育種素材であることから、これら遺伝資源の収集・分類・保存が急務となっている。同事業に積極的に取り組んでいる配属先では、最近、液体窒素を用いた超低温保存用設備を整備したが、植物遺伝資源超低温保存技術に精通した人材がいなく、同設備が十分に活用されていないため、人材育成に向けたボランティア派遣が要請された。					
	2) 期待される具体的業務内容 ① 配属先の研究者、スタッフに対し、液体窒素を用いた遺伝資源の超低温保存(-196℃)技術に関する研修を実施する ② 超低温保存が可能な野生種の同定について指導する ③ 遺伝資源の超低温保存を実施するために必要な設備などについて助言する					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 液体窒素を用いた遺伝資源の超低温保存装置(Gordiner, Mod. 9000)					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 担当スタッフ6名(農業技師、植物学士、遺伝学士、20~50歳代)			6) 業務で使用する言語 ● 英 又は 語 (レベル:A) ● 西 語 (レベル:B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大学卒(農学系) 理由: 配属先が研究機関であるため ・ 超低温保存装置の実務 理由: 装置に関する全般的な指導が求められているため					
概況	気候(亜熱帯) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 196

記入日: 平成18年1月30日

調査者名: 佐野雄一

要請番号 (SL 322 - 05 - 1 - 13)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可	
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
コスタリカ	職種 農業生産技術 (コード 195)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月
	指導科目 発酵(微生物)		1 年度 次隊
	(現地公用語[西 語]) Fermentacion		2 年度 次隊
			3 年度 次隊
大分類: 農林水産		分野: 環境保全	
中・小分類: 農業一般		課題: 環境保全技術の向上	
プログラム名: 地域経済開発につながる環境保			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 生物多様性機関 (現地公用語) Instituto Nacional de Biodiversidad
	2) 配属先名 (日本語) 生物多様性機関 (現地公用語) Instituto Nacional de Biodiversidad
	3) 配属先所在地 首都(サンホセ)から 北 方向 10 Km サントドミンゴ、エレディア 主要都市(サンホセ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 生物多様性機関は、1989年にコスタリカ国の多様性生物の調査・研究を行なうために設立したNGOである。コスタリカ人の生活環境改善、向上を図ることを目的に多様性生物の調査・研究を実施している。これらの研究・調査は、国内外の公共機関、大学、民間企業等に対して多大な貢献をしている。年間予算は、500万米ドルであり、その50%は配属先の活動から得るものである。職員数は、2005年6月現在197名である。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 国内産業界に有益となる「商品を創り出す」及び「品質の向上」を目的にプロジェクトが立ち上がった。商品に化学薬品(農業内等に)の混入を避けるため、コスタリカ国の生物の多様性を尊重しながら自然界からの微生物の発酵によって創り出す環境に優しい新たな商品開発(微生物の発酵)が重要となっている。創り出された商品は、特に中小企業や教育関係者に還元されることになる。生物多様性機関では、同研究に対して優秀な人材と多くの予算を投入してきたが、現状維持の状態を打開するために更なる上位の知識と技術が必要となっている。レベルをアップ図るには、知識、経験豊富な人物からの知識や技術移転が重要であると、シニア海外ボランティアの要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先研究者に対して、生物発酵について、アドバイザーとして、また研究仲間として、新たな商品の研究開発を支援する。 ①細胞の分析試験 ②細胞培養 ③生物病原菌の分別	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Bio-freezer(-70℃), Low Temperature Incubator Precision, Orbital Incubator Shaker Hotech, Orbital Shaker Hotech Purifier Class Biosafety Cabinet Labconco, Sterilizer Yamato SM510 & SM52, Purifier Clean Bench Labconco等	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究スタッフ 女性11名、男性4名/修士課程修了者4名 学士課程修了者 11名 20~40歳代	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 または 語 (レベル: B) <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル: A) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> 環境微生物学の博士号 理由: 生物の発酵研究の経験 理由: 生物産業の経験 理由: 分子生物学の博士号 理由:
------	--

概況	気候(温暖) 気温(18~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----	--



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄
 現職教員特別参加制度:
通番: 197

記入日: 平成18年1月5日

調査者名: 佐野雄一

要請番号(SL 322 - 06 - 0 - 03)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		調査者名: 佐野雄一	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
コスタリカ	職種 農業生産技術 (コード 195) 指導科目 バイオテクノロジー (現地公用語[西 語]) Plant Biotechnology	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	年度 次隊
	2			年度 次隊	19年 3月 から
3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 環境保全		プログラム名: 地域経済開発につながる環境保	
中・小分類: 農業一般		課題: 環境保全技術の向上			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 熱帯農業研究教育センター (現地公用語) Centro Agronomico Tropical de Investigacion y Ensenanza (CATIE)				
	2) 配属先名 (日本語) 同上 (現地公用語) Centro Agronomico Tropical de Investigacion y Ensenanza (CATIE)				
	3) 配属先所在地 首都(サンホセ)から 北東 方向 70 Km トゥリアルバ市 主要都市(サンホセ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 熱帯農業研究教育センター(CATIE)は、OEAの支援によって設立されたNGOであり、現在は中米、メキシコ、パナマなど12カ国がメンバーとなっている。同センターで開発研究された新種微生物などによる産業技術はメンバー国に共有されることになっている。また、同センターは、修士及び博士号を取得することが可能であるため外国からも多くの学生が留学して勉学に励んでいる。職員数は657人 2005年の予算は外国からの支援による約115万ドル、技術協力支援で外国から15名の専門家がきている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 熱帯農業研究教育センターでは、農業開発分野に於ける協力支援がもっと重要であるとし、特にトロピカルPlant(コーヒー、バナナ、カカオなど)のバイオテクノロジーの研究を進めているが、新しい技術や知識に乏しいことからシニア海外ボランティアの要請となった。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. Plant cryopreservation 低温度による保存法の指導 2. Tissue culture ビーカー内での栽培法の指導 3. Molecular biology 細胞分子組み換え指導 4. 研究作業への参加及び支援 5. 学生への協力支援 6. 必要に応じ学会への参加				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 研究に必要な機材が揃っている。pHメーター-Corning 430, Precisa pH900, 攪拌器Cole Parmer4812, 電子天秤 PC220, オービタルシェーカー-KBM-6/223, 液体注入装置、ウィルティックミキサー、液体窒素槽、温度調節付冷凍機、顕微鏡Nikon、遺伝子解析器、遠心分離機、化学天秤、電流流動装置など。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 研究センター勤務10年 28歳 女性		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 又は 語 (レベル: A) <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 修士取得者 理由: 修士・博士号の取得が可能な教育センターのため ・				
概地域	気候(亜熱帯) 気温(20~33 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度:
グループ派遣	通番: 198

記入日: 平成18年6月26日

調査者名: 定免 茂昭

要請番号(SL 361 - 06 - 1 - 05)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
パナマ	職種 農業生産技術 (コード 195)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目 有機農業			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
Agricultura Sostenible	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 経済社会の持続的成長	プログラム名: 経済振興及び経済基盤整備				
中・小分類: 農業一般	課題: 地域経済格差是正と対外競争力のあ					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 協同組合庁 (現地公用語) Instituto Panameno Autonomo Cooperativo (IPACOOOP)					
	2) 配属先名 (日本語) 協同組合庁 ベラグアス県支所 (現地公用語) IPACOOOP, Oficina Regional de Veraguas					
	3) 配属先所在地 首都(パナマ)から 西 方向 250 Km サンティアゴ市 主要都市(パナマ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国内各地に設立された協同組合を一括して事業調整する組織であり、協同組合設立に係る法的代行権を有するとともに、農牧・林業・漁業・消費等の協同組合に対する様々な技術支援も行っている。これまでIPACOOPIには農業指導、経営指導、園芸指導分野において複数の協力隊員やシニア海外ボランティアが派遣されている。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ベラグアス県はパナマ国内でも最も貧困度の高い県である。同県には約20の農業関連協同組合が組織され、組合員数は5000名以上を数えるが、その大半は零細農家であり、狭く痩せた土地、病虫害、資金不足といった問題を常に抱えている。同地区では主に米、豆類、とうもろこし、イモ類を中心として生産しているが、生産物の大半は自家消費用であり、少量の余剰作物が近隣の小売業者に販売されるのみである。各協同組合はこのような状況を改善するために有機農業の導入・定着に積極的であり、地区によっては前任者によって有機農業の導入・指導が立ち上げられたが、更なる普及に向けて継続協力が必要とされている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・協同組合庁ベラグアス支部職員に対する有機農業を用いた収穫量指導に係る助言・指導 ・巡回指導による対象組合員への直接的な農業指導 ・組合員対象のセミナー実施における技術的助言・指導					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 巡回用ピックアップトラック(運転手は配属先職員)、執務室、執務机、基本的農機具					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長: 男性、大卒(農業系)、40歳代 農業普及員4名: 男性、高卒～大卒(農業系)、20～50歳代 その他、事務員数名		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 語 (レベル: C) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(農学系) . 理由: 大卒者への指導があるため .					
概地域	気候(熱帯) 気温(25～35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

通番: 199

記入日: 平成18年6月11日

調査者名: 松本博富

要請番号 (SL 364 - 06 - 1 - 01)		○ JV⇔SV振替可		記入日: 平成18年6月11日		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 農業生産技術 (コード 195)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 農業普及			1	年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[西 語])			2	年度 次隊	
Extencion Agraria	3	年度 次隊				
大分類: 農林水産		分野: 貧困層への社会サービスの充実		プログラム名: 小農自立化支援		
中・小分類: 農業一般		課題: 農産物の多様化・付加価値化				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura y Ganaderia					
	2) 配属先名 (日本語) 農業普及局 (現地公用語) Direccion de Extencion Agraria					
	3) 配属先所在地 首都(アスンシオン)から 東 方向 12 Km サン・ロレンソ市 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧省農業普及局は全国に144ヶ所の普及事務所と17ヶ所の監督事務所、580名の職員を有する。同局では主要な業務として、農家への生産改善にかかる技術普及や栽培技術に関する研修会などを開催している。農牧省関係機関には、JICAから政策アドバイザー専門家の他、SV、JOCVが派遣されている他、同普及局に対しては平成18年度から「南東部小農協強化計画」が実施される予定である。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農牧省農業普及局は同国の小農の経営安定化を図るために、農作物の多様化を目標としており、小農の技術および経営レベルに則した作物を選定し、効果的に普及するための活動を行ってきた。農業普及分野の初代SVとなった前任者は、モデル農場を設置し、栽培技術の指導を行う傍ら、農業普及にかかるテキスト作成をカウンターパートと共に進めてきた。このモデル農場を拡充し、地方における普及活動に対する助言・指導を継続する必要性から、経験豊かな後任ボランティアの派遣が求められている。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 土壌改善、播種、灌水、施肥、病虫害駆除等にかかる技術移転 2. 年間を通じた作物栽培管理指導 3. 普及技術の開発、立案、実施にかかる指導助言 4. 有機農業に係る栽培技術指導					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、デジタルカメラ、コピー機、噴霧器、移動用ピックアップトラック					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 普及局主任(女性、40歳後半)、修士卒、本邦、ブラジル他で研修経験有。 農業技師(女性、40歳後半)、大学卒、台湾プロジェクトの経験有。 農業経営(男性、30歳代)大学卒		6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル:C) ● 又は 英 語 (レベル:C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 農業普及員資格 理由: 普及活動に必要となる。 ・					
概況	気候(亜熱帯)	気温(5~40 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 200

記入日: 平成18年1月31日

要請番号 (SL 364 - 05 - 1 - 14)

JV⇄SV振替可

調査者名: 大河原洋一

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
パラグアイ	職種 農業生産技術 (コード 195)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	年度 次隊
	指導科目 育種 (現地公用語[西 語])			2	年度 次隊
	Mejoramiento Genetica			3	年度 次隊
大分類: 農林水産 分野:		プログラム名: 生産技術の教育、農産物の多様			
中・小分類: 農業一般 課題:					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Ministerio de Agropecuario y Ganaderia				
	2) 配属先名 (日本語) 国立農業研究所 (現地公用語) Instituto Agronomico Nacional				
	3) 配属先所在地 首都(アスンシオン)から 東 方向 49 Km カアクベ市 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧省に所属するパラグアイで唯一の国立の農業研究機関。野菜、果樹、バイオテクノロジー、土壌、線虫、病害、虫害等の部門がある。対象作物は、トマト、メロン、イチゴ、バナナ、マンゴ、アボカド、マカダミア、ステビア等である。学問的な研究は行っておらず、生産の現場で役立つ実用技術の開発が求められている。台湾の援助で花卉生産のプロジェクトを実施中。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイの農業生産者の83%を占める小農は、近年の綿花の国際価格の低迷により厳しい状況に置かれた。このため、生産性の向上・安定供給及び高品質化を目的とした小農野菜生産技術改善計画が、1997年より2002年まで、国立農業研究所(IAN)において実施された。同プロジェクトでは、育種、栽培、病害防除、虫害防除の実験室が整備され、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の活動と、開発された技術の普及が行われた。現在研究所の自助努力で活動を継続しているが、トマト及びイチゴの品種開発に補完的な技術移転が必要となっており、当該分野での研究アドバイザー派遣が要請されるに至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 ① 小農野菜生産技術改善計画によって交配・選抜されたイチゴ及びトマトの選抜系統の圃場栽培試験、種子生産、苗増殖技術の指導				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 網室、ビニールハウス、冷蔵庫、冷凍庫、冷蔵室、実体顕微鏡、耕運機、トラクター、パソコン、生物顕微鏡、土壌分析メータ、温度記録計、デジタル糖度計				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 育種研究室研究員(アスンシオン大学農学部卒、専門家のカウンターパート経験、日本での研修経験有)を指導対象とする。		6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル: C) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 育種の経験5年 理由: ・				
概況	気候(亜熱帯性) 気温(2~40 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度秋募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

通番: 201

記入日: 平成17年6月24日

調査者名: 谷村 啓匠

要請番号 (SL 413 - 05 - 1 - 09)

JV⇔SV振替可

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
パプアニュー ギニア	職種 農業生産技術 (コード 195) 指導科目 農業教育(コロン)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1 年度 次隊	19年 3月 から
	(現地公用語[英 語]) Agriculture Practical Lecturer			2 年度 次隊	
3 年度 次隊					
大分類: 農林水産		分野: 教育		プログラム名: 初等・中等教育の授業改善	
中・小分類: 農業一般		課題: 初等・中等教育の授業改善			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Department of Education
	2) 配属先名 (日本語) ゴロカ大学理学部 科学・農学科 (現地公用語) Science & Agriculture Section, Faculty of Science, University of Goroka
	3) 配属先所在地 首都(ポートモレスビー)から 北西 方向 200 Km 東ハイランド州ゴロカ 主要都市(ゴロカ市)までの交通手段及び所要時間(バスで約0.2時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) パプアニューギニア大学教育学部が発展し、教育学部、理学部、人文学部を持つ総合教育大学として1997年に独立した。国内唯一の高校教員養成の大学で、高校の教員のみならず技術大学(国内7校)、職業訓練センター(国内132校)などの教員も養成する。学生数約1,600名、年間予算800万キナ(約3億円)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任国では、初等、中等、高等の教育機関は整備されているものの、高額な学費、教員の教授技術の低質などの理由で、Grade12(日本での高校3年生レベル)まで進学する学生は、全体の3%に満たない状況である。これを背景に、基礎教育の質の向上の重要性が任国中期国家開発計画に謳われ、JICAの国別事業実施計画にも開発課題項目として掲げられている。具体的にも、2005年にJICAの無償資金協力として約1億8千万円ほどの教育機材が同大学の様々な学科に提供され、その内5000万円ほどの実験器具などが農業の授業に当てて供与された。しかし、機材を活用して効果的な実習を行える教員が不足しているため、実習授業を支援する技術者が求められ、今回のボランティア要請に至った。
	2) 期待される具体的業務内容 農業(野菜、稲作、畜産、漁業等一次産業全般)は、任国の輸出基盤産業としてのみならず、食糧補償の上で最も重要な産業で、初等から高等での必修教育科目となっている。要請元は、同分野の教師を養成する機関として最も重要な位置付けにあり、より質の高い授業を展開できる教師を育成するために、JICA提供の新しい機材(特に各種成分分析機器)を利用して、稲作、野菜、畜産、養殖等の分野で以下の活動が期待されている。1)生徒を対象とした効果的な実習授業の計画、2)生徒を対象とした実習授業の補佐、3)これら計画と実習授業に関する講師への技術的指導、4)実習機材および実験室の管理方法の確立、5)その他、学科に関する適時の支援依頼への対応。なお、各種成分分析機器の取り扱い指導ができればよいが、農業実習を目的としているため、農業に関する知識があればなお望ましい。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 導入された主な機材は、蒸留水精製器、ラボ用乾燥機、定温式培養器、遠心分離機、真空ポンプ、顕微鏡、各種シェーカー、pHメータ、イオン濃度計、土壌試験用し岐篩分器、水質計、植物用伸張率計、TDE土壌分析器、トラクタ、等。
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農学セクションには、5人の講師およびアシスタントが所属する。各々、熱帯性植物、畜産、漁業などの担当分野を持っており、ほとんどが地元大学あるいはオーストラリアの大学の学士で、教科書を基本とした机上の授業は可能ではあるが、実習授業は不得意である。
6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大学卒 理由: 教員養成のため学術的な説明が求められるため ・ 男性 理由: 任国の治安安全上のため ・ 各種分析機器利用経験 理由: 実習が主な業務となるため ・ 運転免許 理由:
	概地 況域 気候(熱帯雨林) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)